

平成24年度
市民意識調査結果
報告書

平成25年3月
恵那市

●● 目 次 ●●

1	回答者について	1
(1)	性別について	1
(2)	年齢について	1
(3)	居住地について	2
(4)	職業について	3
(5)	居住年数について	4
(6)	居住形態について	5
(7)	家族構成について	6
(8)	同居家族について	7
2	調査結果の要旨	8
(1)	施策の満足度・重要度について	8
(2)	個別施策について	10
3	施策の満足度・重要度について	12
(1)	全57施策の満足度(今回調査一覧)	12
(2)	全57施策の重要度(今回調査一覧)	14
4	分野別施策満足度の経年比較について	16
(1)	健康福祉分野	16
(2)	生活環境分野	17
(3)	都市・交流基盤分野	18
(4)	産業振興分野	19
(5)	教育・文化分野	20
(6)	市民参画分野	21
5	分野別施策重要度の経年比較について	22
(1)	健康福祉分野	22
(2)	生活環境分野	23
(3)	都市・交流基盤分野	24
(4)	産業振興分野	25
(5)	教育・文化分野	26
(6)	市民参画分野	27
6	求められるまちづくりの方向性について	28
(1)	満足度・重要度の上位10項目	28
(2)	年齢別の上位10項目	29
(3)	居住地別の上位10項目	35
(4)	居住意向による「満足度」の違い	48
(5)	居住意向による「重要度」の違い	49
(6)	全施策マトリックス図	50
(7)	分野別施策マトリックス図	51
7	個別施策について	58
(1)	リニア中央新幹線の整備	58
(2)	市からの情報発信	64
(3)	市民参加・市民協働	76
(4)	読書及び恵那市中央図書館の利用	82
(5)	今後の居住意向	96
8	自由回答について	102

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市のこれまでの取り組みに対する市民の評価と、これからのまちづくりに対する考えを把握し、今後の市政運営の基礎資料とするため実施しました。その調査結果については、今後の施策の達成度を測る指標とし、市民が満足する市政の実現に向けて活用することを目的としています。

2. 調査地域

恵那市全域

3. 調査対象者

市民（20歳以上）：2,500人（住民基本台帳より無作為抽出）

4. 調査の方法と期間

本調査は郵便による送・返信での質問紙調査法により、平成24年12月7日から平成24年12月21日までの期間で実施しました。

【アンケート回収状況】

	発送数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)	有効回答数※ (C)	有効回答率 (C/A)
今回調査	2,500件	1,413件	56.5%	1,411件	56.4%
参考：前回調査 (平成23年度)	2,500件	—	—	1,479件	59.2%

※全ての設問に回答がない2件を無効回答としました。

5. 表記方法

単数回答の集計にあたっては、原則として小数点以下第2位を四捨五入したうえで、割合の合計が100.0%になるように調整しています。一方、複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定条件に該当する人）を表しています。

各設問のクロス集計表においては、上位1位、2位の数値を太線とし、なおかつ上位1位は濃い網かけ、上位2位は薄い網掛けで表記しています。

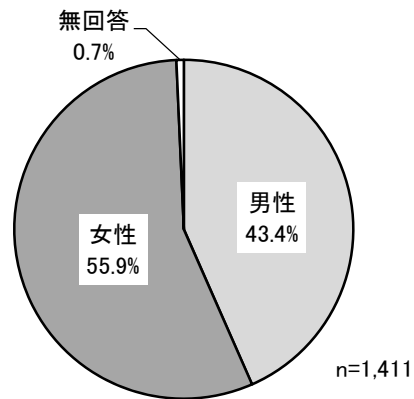
1 回答者について

(1) 性別について

【問 1】 あなたの性別は次のどちらですか。

性別では「男性」が43.4%、「女性」が55.9%と、女性の回答者が半数以上を占めています。

図1-1 性別（単数回答）

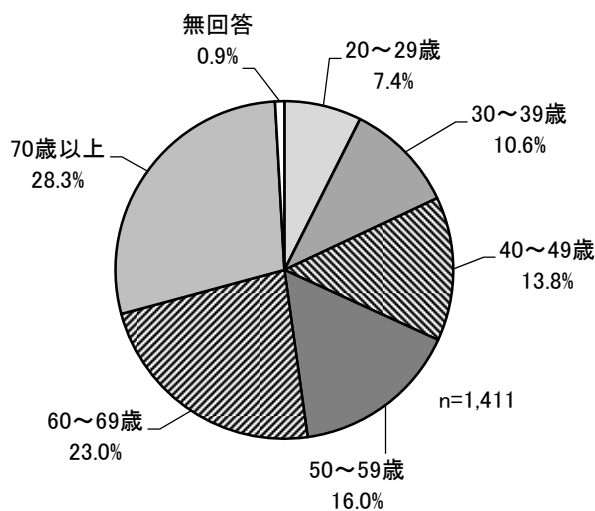


(2) 年齢について

【問 2】 あなたの年齢は次のどの区分に該当しますか。（12月1日現在）

年齢では「70歳以上」が28.3%と最も多く、次いで「60歳代」が23.0%、「50歳代」が16.0%と、年齢層が低くなるにつれ回答者の割合は低くなっています。

図1-2 年齢（単数回答）



(3) 居住地について

【問3】あなたのお住まいは、どの地区にありますか。

全体では「大井町」が19.7%と最も多く、次いで「長島町」が17.1%、「明智町」が12.6%の順となっています。

性別でみると、男女を問わず、「大井町」が最も多くなっています。

年齢別でみると、30歳代は「大井町」と「長島町」が同数で最も多く、他の年代は「大井町」が最も多くなっています。

図1-3 居住地（単数回答）

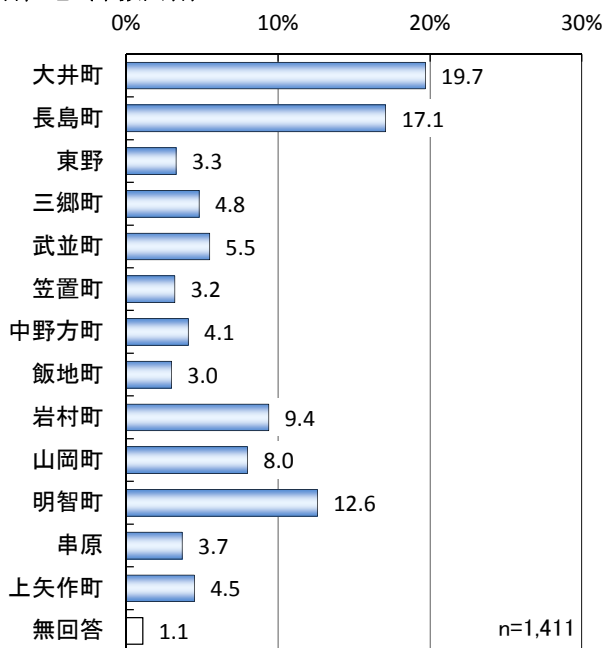


表1-1 性別、年齢別にみた居住地（単数回答）

		大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町	無回答
全体 (n=1,411)		19.7	17.1	3.3	4.8	5.5	3.2	4.1	3.0	9.4	8.0	12.6	3.7	4.5	1.1
性別	男性 (n=613)	18.9	16.3	3.1	4.6	6.4	3.1	3.8	2.8	9.6	10.0	12.9	3.4	4.6	0.5
	女性 (n=788)	20.7	17.9	3.4	5.1	4.8	3.3	4.4	3.2	9.4	6.6	12.6	3.8	4.4	0.4
年齢別	20歳代 (n=105)	23.6	19.0	3.8	4.8	4.8	1.0	4.8	1.0	12.4	8.6	8.6	3.8	1.9	1.9
	30歳代 (n=150)	23.3	23.3	5.3	3.3	6.0	4.0	4.0	2.0	8.7	6.0	10.7	1.3	0.7	1.4
	40歳代 (n=195)	26.4	18.5	3.1	5.1	4.6	2.1	3.6	2.6	10.3	6.2	12.3	2.1	3.1	0.0
	50歳代 (n=226)	17.7	16.4	4.0	4.4	7.1	2.2	4.4	1.3	10.6	11.1	12.4	3.5	4.9	0.0
	60歳代 (n=324)	18.2	15.4	3.1	5.6	7.1	3.4	4.3	3.1	8.3	9.3	14.2	3.7	4.3	0.0
	70歳以上 (n=398)	17.3	15.6	2.3	4.8	3.8	4.5	4.0	4.8	8.8	7.0	13.8	5.5	7.3	0.5

(4) 職業について

【問4】あなたの職業は、次のうちどれに該当しますか。

全体では「無職」が25.4%と最も多く、次いで「会社員、団体職員」が23.0%、「パート、アルバイト」が14.3%の順となっています。

性別でみると、男性では「会社員、団体職員」、女性では「無職」、年齢別では20歳代から50歳代は「会社員、団体職員」、60歳代以上は「無職」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地別でみると、飯地町、串原では「農林漁業」の割合が他の地区に比べ高くなっています。

図1-4 職業（単数回答）

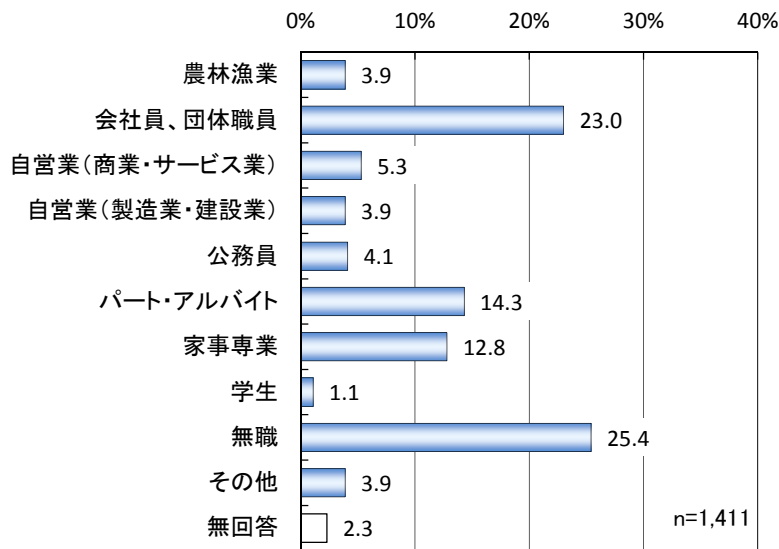


表1-2 性別、年齢別、居住地別にみた職業（単数回答）

	農林漁業	会社員、団体職員	自営業(商業・サービス業)	自営業(製造業・建設業)	公務員	パート・アルバイト	家事専業	学生	無職	その他	無回答
全体(n=1,411)	3.9	23.0	5.3	3.9	4.1	14.3	12.8	1.1	25.4	3.9	2.3
性別											
男性(n=613)	6.5	36.9	6.7	7.0	5.9	5.9	0.8	0.5	25.3	3.4	1.1
女性(n=788)	1.8	12.4	4.3	1.5	2.8	21.1	22.3	1.5	26.0	4.3	2.0
年齢別											
20歳代(n=105)	0.0	49.4	0.0	2.9	4.8	12.4	7.6	13.3	4.8	4.8	0.0
30歳代(n=150)	1.3	38.7	4.0	4.7	8.0	20.7	19.3	0.0	1.3	2.0	0.0
40歳代(n=195)	0.5	42.6	4.6	4.6	6.2	27.2	7.2	0.0	4.6	1.5	1.0
50歳代(n=226)	0.4	38.6	9.7	3.5	10.2	18.1	8.8	0.0	4.9	4.9	0.9
60歳代(n=324)	5.6	13.3	7.4	5.2	1.9	16.7	19.1	0.0	24.9	3.7	2.2
70歳以上(n=398)	8.3	0.3	3.3	2.8	0.0	2.5	12.1	0.0	62.6	5.3	2.8
居住地別											
大井町(n=280)	1.1	21.8	6.1	3.2	2.9	20.7	15.4	0.7	23.4	3.6	1.1
長島町(n=241)	0.8	23.3	6.2	4.6	4.1	14.1	17.4	1.7	21.6	5.0	1.2
東野(n=46)	2.2	26.1	4.3	0.0	6.5	19.6	13.0	0.0	19.6	6.5	2.2
三郷町(n=68)	1.5	23.5	7.4	1.5	4.4	13.2	14.7	4.4	20.6	4.4	4.4
武並町(n=77)	3.9	28.5	3.9	2.6	6.5	9.1	14.3	1.3	27.3	2.6	0.0
笠置町(n=45)	6.7	20.0	0.0	6.7	4.4	8.9	17.8	0.0	28.9	4.4	2.2
中野方町(n=58)	5.2	25.8	3.4	5.2	0.0	19.0	13.8	0.0	25.9	1.7	0.0
飯地町(n=42)	16.7	9.5	2.4	4.8	2.4	9.5	9.5	2.4	38.0	0.0	4.8
岩村町(n=133)	6.0	27.7	7.5	3.8	8.3	11.3	9.8	1.5	20.3	2.3	1.5
山岡町(n=113)	5.3	30.2	4.4	7.1	3.5	12.4	9.7	0.0	23.0	3.5	0.9
明智町(n=178)	2.8	21.3	6.7	4.5	2.8	12.4	8.4	0.6	37.1	2.8	0.6
串原(n=52)	19.2	11.5	1.9	3.8	9.6	13.5	3.8	0.0	21.3	9.6	5.8
上矢作町(n=63)	4.8	17.5	3.2	0.0	1.6	12.7	12.7	1.6	33.2	7.9	4.8

(5) 居住年数について

【問5】 あなたの恵那市での居住年数（通算）は、何年になりますか。

全体では「20年以上」の居住年数が81.6%と8割以上を占めており、次いで「15～19年」が5.0%、「10～14年」が4.3%の順となっています。

年齢別で見ると、30歳代は「5～9年」、40歳代は「10～14年」の割合がそれぞれ1割強と他の世代に比べ高くなっています。

図1-5 居住年数（単数回答）

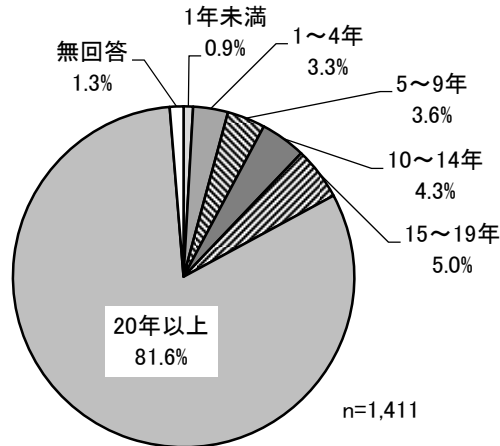


表1-3 性別、年齢別、居住地別にみた居住年数（単数回答）

		1年未満	1～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
全体 (n=1,411)		0.9	3.3	3.6	4.3	5.0	81.6	1.3
性別	男性 (n=613)	0.8	2.3	3.8	3.8	5.2	83.4	0.7
	女性 (n=788)	1.0	4.1	3.6	4.7	4.8	81.2	0.6
年齢別	20歳代 (n=105)	2.9	10.5	2.9	3.8	12.4	67.5	0.0
	30歳代 (n=150)	2.0	13.3	14.0	6.0	6.0	58.7	0.0
	40歳代 (n=195)	3.1	3.1	7.2	10.8	7.2	68.6	0.0
	50歳代 (n=226)	0.4	1.8	3.1	4.0	5.8	84.5	0.4
	60歳代 (n=324)	0.0	0.6	0.6	1.9	4.0	92.9	0.0
	70歳以上 (n=398)	0.0	0.8	1.0	2.5	2.0	91.7	2.0
居住地別	大井町 (n=280)	1.4	4.3	3.9	5.7	4.6	79.4	0.7
	長島町 (n=241)	0.8	5.4	6.6	5.8	8.3	73.1	0.0
	東野 (n=46)	0.0	2.2	2.2	4.3	8.7	82.6	0.0
	三郷町 (n=68)	0.0	1.5	1.5	5.9	10.3	79.3	1.5
	武並町 (n=77)	2.6	2.6	3.9	2.6	7.8	80.5	0.0
	笠置町 (n=45)	2.2	2.2	2.2	4.4	2.2	86.8	0.0
	中野方町 (n=58)	0.0	3.4	1.7	1.7	3.4	88.1	1.7
	飯地町 (n=42)	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	95.2	0.0
	岩村町 (n=133)	0.8	1.5	4.5	9.8	3.0	78.9	1.5
	山岡町 (n=113)	0.9	2.7	0.9	1.8	3.5	90.2	0.0
	明智町 (n=178)	1.1	2.2	3.4	1.7	3.9	87.1	0.6
	串原 (n=52)	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	90.5	1.9
	上矢作町 (n=63)	0.0	3.2	3.2	1.6	1.6	88.8	1.6

(6) 居住形態について

【問6】あなたのお住まいの形態は、次のうちどれにあたりますか。

全体では「1戸建て(持ち家)」に住む方が89.7%と9割を占めており、次いで「民間アパート・マンション」が3.6%、「市営住宅・雇用促進住宅など」が2.4%の順となっています。

年齢別でみると、20歳代、30歳代では「民間アパート・マンション」の割合が他の年代に比べて高くなっています。

居住地別でみると、大井町、長島町では「民間アパート・マンション」の割合が他の地区に比べ高くなっています。

図1-6 居住形態 (単数回答)

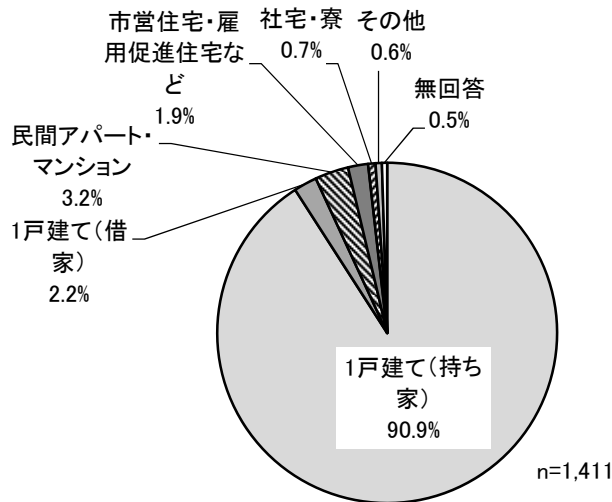


表1-4 性別、年齢別、居住地別にみた居住形態 (単数回答)

	(1戸建て持ち家)	(1戸建て借家)	民間マンション	市営住宅・雇用促進住宅	社宅・寮	その他	無回答
全体(n=1,411)	89.7	1.6	3.6	2.4	0.6	0.8	1.3
性別	男性(n=613)	90.9	1.8	3.4	1.8	1.0	0.0
	女性(n=788)	90.0	1.4	3.8	2.8	0.4	1.1
年齢別	20歳代(n=105)	77.0	1.0	12.4	5.7	1.9	1.0
	30歳代(n=150)	84.1	3.3	9.3	1.3	1.3	0.0
	40歳代(n=195)	87.2	2.1	5.1	3.1	1.5	0.0
	50歳代(n=226)	92.6	1.3	3.1	1.8	0.4	0.4
	60歳代(n=324)	94.8	0.9	0.9	2.5	0.3	0.6
	70歳以上(n=398)	92.7	1.5	1.0	2.0	0.0	1.0
	居住地別	大井町(n=280)	83.5	2.9	10.0	2.1	0.7
長島町(n=241)		83.8	1.7	6.6	5.0	0.4	2.1
東野(n=46)		95.6	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2
三郷町(n=68)		94.0	1.5	0.0	0.0	1.5	1.5
武並町(n=77)		98.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
笠置町(n=45)		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中野方町(n=58)		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飯地町(n=42)		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岩村町(n=133)		92.5	3.0	3.0	1.5	0.0	0.0
山岡町(n=113)		95.5	0.0	0.0	2.7	0.0	1.8
明智町(n=178)		89.3	1.7	0.0	5.1	1.7	0.0
串原(n=52)		86.7	0.0	3.8	1.9	1.9	1.9
上矢作町(n=63)		95.2	1.6	0.0	1.6	1.6	0.0

(7) 家族構成について

【問7】あなたの同居している家族構成は、次のうちどれですか。

全体では「親子(2世代)」が42.6%と最も多く、次いで「親・子・孫(3世代)」が27.1%、「夫婦(子どもなし)」が18.5%の順となっています。

年齢別で見ると、60歳代以上では「夫婦(子どもなし)」の割合が他の年代に比べて高くなっています。

居住地別で見ると、山岡町、串原では「親・子・孫(3世代)」、その他の地区は「親子(2世代)」が最も多くなっています。

図1-7 家族構成（単数回答）

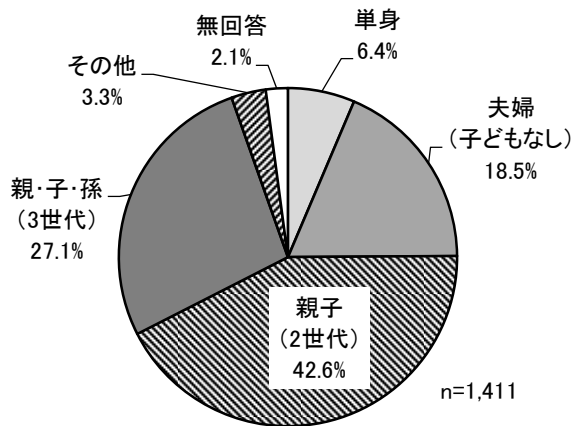


表1-5 性別、年齢別、居住地別にみた家族構成（単数回答）

	単身	も夫 な婦 し(子 ど)	(親 2子 世代)	(親 3・ 世代 ・孫)	そ の 他	無 回 答	
全体(n=1,411)	6.4	18.5	42.6	27.1	3.3	2.1	
性別	男性(n=613)	5.9	22.2	45.3	23.8	2.0	0.8
	女性(n=788)	7.0	15.9	41.0	29.9	4.3	1.9
年齢別	20歳代(n=105)	9.5	4.8	41.9	40.0	1.9	1.9
	30歳代(n=150)	2.7	5.3	56.6	30.7	2.7	2.0
	40歳代(n=195)	2.1	3.1	58.9	32.8	2.6	0.5
	50歳代(n=226)	3.5	15.5	50.4	27.9	2.7	0.0
	60歳代(n=324)	6.8	29.9	38.8	20.1	2.2	2.2
	70歳以上(n=398)	10.8	27.4	29.2	25.1	5.5	2.0
	居住地別	大井町(n=280)	7.1	21.4	49.1	18.9	2.1
長島町(n=241)		6.2	22.4	46.6	20.7	3.7	0.4
東野(n=46)		0.0	17.4	43.5	34.8	4.3	0.0
三郷町(n=68)		5.9	13.2	38.2	35.3	5.9	1.5
武並町(n=77)		3.9	15.6	46.7	28.6	3.9	1.3
笠置町(n=45)		4.4	15.6	42.3	31.1	4.4	2.2
中野方町(n=58)		0.0	17.2	43.2	29.3	8.6	1.7
飯地町(n=42)		7.1	23.8	33.3	28.6	4.8	2.4
岩村町(n=133)		9.0	17.3	35.3	34.6	3.0	0.8
山岡町(n=113)		4.4	16.8	34.5	38.1	3.5	2.7
明智町(n=178)		9.6	15.2	43.2	27.0	2.2	2.8
串原(n=52)		11.5	15.4	32.7	34.7	1.9	3.8
上矢作町(n=63)		4.8	22.2	44.4	28.6	0.0	0.0

(8) 同居家族について

【問8】あなたの同居家族に次の方はいますか。(該当するすべてに○)

全体では「65歳以上」が53.9%と最も多く、次いで「小学生」が14.9%、「就学前(0~5歳)」が13.0%の順となっています。

年齢別でみると、30歳代では「就学前(0~5歳)」が50.0%、「小学生」が36.0%と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、中野方町は「65歳以上」の割合が75.9%と、他の地区に比べ高くなっています。

図1-8 同居家族 (複数回答)

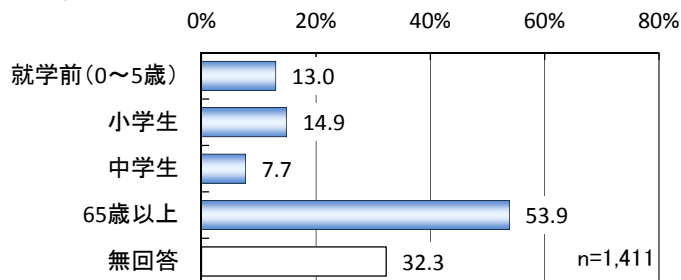


表1-6 性別、年齢別、居住地別にみた同居家族 (複数回答)

		5歳以下	小学生	中学生	65歳以上	無回答
全体(n=1,411)		13.0	14.9	7.7	53.9	32.3
性別	男性(n=613)	11.6	13.7	8.3	56.4	30.3
	女性(n=788)	14.2	16.0	7.4	52.5	33.0
年齢別	20歳代(n=105)	13.3	1.9	3.8	46.7	41.0
	30歳代(n=150)	50.0	36.0	7.3	39.3	12.7
	40歳代(n=195)	17.4	32.8	22.1	55.9	17.9
	50歳代(n=226)	6.2	6.2	4.9	50.9	42.0
	60歳代(n=324)	9.0	13.9	4.6	57.7	35.5
	70歳以上(n=398)	4.0	7.8	6.0	59.5	35.2
居住地別	大井町(n=280)	12.9	17.5	5.0	44.3	38.2
	長島町(n=241)	19.9	15.4	8.7	43.2	35.7
	東野(n=46)	13.0	6.5	10.9	65.2	21.7
	三郷町(n=68)	10.3	13.2	5.9	60.3	26.5
	武並町(n=77)	15.6	10.4	1.3	51.9	36.4
	笠置町(n=45)	11.1	17.8	13.3	60.0	28.9
	中野方町(n=58)	19.0	13.8	5.2	75.9	15.5
	飯地町(n=42)	7.1	9.5	14.3	66.7	31.0
	岩村町(n=133)	14.3	19.5	11.3	58.6	28.6
	山岡町(n=113)	4.4	11.5	6.2	66.4	25.7
	明智町(n=178)	12.4	16.9	10.7	52.8	32.6
	串原(n=52)	7.7	11.5	9.6	65.4	28.8
	上矢作町(n=63)	6.3	14.3	4.8	63.5	30.2

2 調査結果の要旨

市民意識調査結果の要旨を以下に整理します。

(1) 施策の満足度・重要度について

医療、防災、道路整備、雇用、行政改革などが今後の重点課題

満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」などとなっており、不満度の高い施策は、「魅力ある働く場の確保」「商店街のにぎわい」「段差や道幅など歩道の安全性」などとなっています。

前回調査(平成23年度)と比較すると、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」「図書館(室)の設備と蔵書数」「し尿収集と処理サービス」などで満足度が高まっています。

年齢別でみると、20歳代では「買い物の便利さ」、30歳代、40歳代では「図書館(室)の設備と蔵書数」、70歳代では「健康診断・相談、保健予防」で満足度が上位になっています。

居住地別でみると、長島町・岩村町では「買い物の便利さ」、上矢作町では「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」で満足度が上位になっています。また、武並町・上矢作町では「買い物の便利さ」、三郷町では「バスの便利さ」、飯地町・串原では「幹線道路(国道・県道など)の整備」で不満度が上位になっています。

重要度の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「健康診断・相談、保健予防」などとなっています。

前回調査と比較すると、ほとんどの施策で重要度が高まっています。

年齢別でみると、20歳代では「地震・災害に対する安心感」、30歳代では「保育サービス・子育て支援」、40歳代、50歳代では「魅力ある働く場の確保」、70歳代では「上水道・簡易水道の整備」で重要度が上位になっています。

居住地別でみると、東野では「生活支援・介護など高齢者福祉」、三郷町では「上水道・簡易水道の整備」、武並町では「買い物の便利さ」、飯地町では「消防体制(署の配置など)」、山岡町では「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、明智町では「魅力ある働く場の確保」、串原では「幹線道路(国道・県道など)の整備」「地震・災害に対する安心感」で重要度が上位になっています。

満足度が低く、重要度が高い施策は、医療、防災、道路整備、雇用、行政改革などの分野に関する項目となっており、満足度の向上につながるよう、今後も重点的に推進していく必要があります。

(2) 個別施策について

▶ リニア中央新幹線の整備について

「リニア中央新幹線整備」について知っている市民が8割強

「リニア中央新幹線整備」について、「よく知っている」「なんとなく知っている」を合わせると82.1%となっています。一方、「あまり知らない」「まったく知らない」を合わせると17.2%となっています。

居住地別でみると、知っている割合が最も高い「武並町」で9割、最も低い「串原」で7割と、地域によりばらつきがみられます。

「観光や仕事・通学で東京・名古屋へ行きやすくなること」に期待が5割弱

リニア中央新幹線整備への期待は、「観光や仕事・通学で東京・名古屋へ行きやすくなること」が47.9%と最も多く、性別、年齢別、居住地別においても概ね同様の傾向となっています。

年齢別でみると、年代が下がるほど「観光や仕事・通学で東京・名古屋へ行きやすくなること」の割合が高くなっています。

リニア開業後に向けて充実してほしい内容は、「地元で働く場所がある」が5割弱

リニア開業後に向けて充実してほしい内容は、「地元で働く場所がある」が45.3%と最も多く、性別においても同様の傾向となっています。

年齢別でみると、「子育てがしやすい」の割合が20歳代では3割強、30歳代では5割弱と、他の年代に比べて高くなっています。また、50歳代以上の4割程が「高齢者が暮らしやすい」をあげています。

➤ 市からの情報発信について

情報取得手段は、「市の発行する広報紙」が8割弱

情報取得手段は、「市の発行する広報紙」が78.9%と最も多く、性別、年齢別、居住地別でも同様の傾向となっています。

性別でみると、男性では「市のウェブサイト(ホームページ)」、女性では「自治会の回覧など」の割合が他方に比べてやや高くなっています。

市ウェブサイトは、利用経験のある市民が約4分の1

「利用しやすい」が5.0%、「利用しにくい」が2.1%となっています。「利用したことがない」と「無回答」を除く利用経験のある方は25.4%となっています。性別、年齢別、居住地別でも概ね同様の傾向となっています。

居住地別でみると、利用経験のある方は、最も高い笠置町では4割弱、最も低い飯地町では2割弱と、地域における違いがありました。

ケーブルテレビは、加入している市民が約6割

ケーブルテレビの加入状況について、「加入している」が61.1%と多く、性別、年齢別でも同様の傾向となっています。

居住地別でみると、大井町、長島町、東野の3地区では「加入している」割合より「加入していない」割合が高いなど、地域における違いがありました。

「えなっコチャンネル」を視聴している人は約5割

「えなっコチャンネル」の視聴状況は、「よく見る」と「時々見る」を合わせると51.5%となっています。性別、居住地別でも同様の傾向となっています。

年齢別でみると、「よく見る」と「時々見る」を合わせた割合は、年代が上がるほど高くなっています。

「えなっコチャンネル」で視聴する番組は、「天気予報」が4割強

「えなっコチャンネル」で視聴する番組は、「天気予報」が42.4%と最も多く、性別でも同様の傾向となっています。

年齢別でみると、30歳代では「保育園・幼稚園番組」が7割弱、70歳以上では「恵那彩百景」が5割強と、他の年代に比べ高いなど、年齢層における違いがありました。

居住地別でみると、東野では「保育園・幼稚園番組」、笠置町では「ほっと in えな(恵那市の情報番組)」、上矢作町では「恵那彩百景」の割合が他の地区に比べ高いなど、地域における違いがありました。

「えなっコチャンネル」で視聴したい番組は、「医療・健康関係」が約3割

「えなっコチャンネル」で視聴したい番組は、「医療・健康関係」が30.8%と最も多くなっています。

性別でみると、女性では「高齢・介護関係」の割合が男性の2割弱に対し高くなっています。

年齢別でみると、30歳代では「子育て・子ども向け」、70歳以上では「高齢・介護関係」の割合が他の年代に比べて高くなっています。

居住地別でみると、山岡町と串原では「ニュース・天気予報」の割合が他の地区に比べ高いなど、地域における違いがありました。

▶ 市民参加や市民協働について

地域協議会の周知度は、「知られていない」が市民の4割弱

地域協議会の周知度は、「一部にしか知られていない」が48.1%と最も多くなっています。「知られている」が7.8%、「知られていない」が35.9%となっています。性別、居住地別でも概ね同様の傾向となっています。

年齢別でみると、年代が下がるにつれ、「知られていない」割合が高くなっています。

地域協議会活動参加状況は、「参加したことがある」が市民の2割弱

「活動は知っているが参加したことはない」が38.5%、「まちづくり活動を知らない」が38.6%と、ほぼ同じ割合で多くなっています。「参加したことがある」は17.4%となっています。性別でも概ね同様の傾向となっています。

年齢別でみると、年代が下がるにつれ、「まちづくり活動を知らない」の割合が高くなっています。

居住地別でみると、武並町、飯地町、串原では「参加したことがある」の割合が他の地区に比べ高いなど、地域における違いがありました。

まちづくりに必要な取り組みが必要だと思うのは、「地域自治区制度の地域住民への周知」「行政から地域自治区への積極的な支援」がともに約4割

まちづくりに必要な取り組みが必要だと思うのは、「地域自治区制度の地域住民への周知」「行政から地域自治区への積極的な支援」の割合がともに高く、性別でも同様の傾向となっています。

年齢別でみると、20歳代、30歳代では「青年層や子育て世代のまちづくり活動への参加」の割合が他の年代に比べてやや高くなっています。

居住地別でみると、東野と笠置町では「青年層や子育て世代のまちづくり活動への参加」の割合が他の地区に比べて高くなっています。

▶ 読書活動や恵那市中央図書館について

読書の状況は、男女を問わず、年間「10冊以下」の割合が最も高い

読書の状況について、年間「10冊以下」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、年代が上がるにつれ「読まない」の割合が高くなっています。

居住地別でみると、中野方町、飯地町、明智町では「読まない」の割合が他の地区に比べ高いなど、地域における違いがありました。

読んだ本の種類は、「趣味の本」「雑誌・コミック」がともに6割弱

読んだ本の種類について、「趣味の本」「雑誌・コミック」の割合が高く、性別、年齢別、居住地別においても概ね同様の傾向となっています。

年齢別でみると、30歳代では「育児」「絵本・児童書」の割合が他の年代に比べて高くなっています。

読んだ本の入手先は、「主に購入して読む」が7割強

読んだ本の入手先について、「主に購入して読む」の割合が最も高く、性別、年齢別、居住地別においても概ね同様の傾向となっています。

恵那市中央図書館を利用する主な目的は、「本を借りる・返す」が3割弱

恵那市中央図書館を利用する主な目的は、「本を借りる・返す」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、30歳代、40歳代を除く年代で「利用したことがない」の割合が最も高くなっています。

居住地別でみると、大井町、長島町、東野、三郷町、武並町の5地区では利用経験がある割合が5割以上と、他の地区より高くなっています。

恵那市中央図書館でもっと充実してほしいサービスは、「本の冊数・種類」が2割強

恵那市中央図書館でもっと充実してほしいサービスは、「本の冊数・種類」の割合が最も高く、性別、年齢別においても概ね同様の傾向となっています。

居住地別でみると、長島町、東野、武並町、笠置町の4地区では「イベントや企画展」の割合が他の地区に比べて高いなど、地域における違いがありました。

恵那市中央図書館ウェブサイトの周知度は、「知っている」が市民の約4分の1

恵那市中央図書館ウェブサイトの周知度は、「知らない」と「無回答」を除いた「知っている」割合は、25.8%となっています。「知っているが利用したことがない」が18.3%となっています。

居住地別でみると、「知っている」割合は、地域によりばらつきがみられます。長島町で32.8%と他の地区に比べて最も高く、中野方町で17.2%と最も低くなっています。

地区コミュニティセンターでの図書サービスの利便性については、「利用したことがない」が8割強

地区コミュニティセンターでの図書サービスの利便性について、「利用したことがない」と「無回答」を除いた「利用したことがある」人は15.1%となっています。「利用しやすい」が6.9%となっています。性別、年齢別においても概ね同様の傾向となっています。

居住地別でみると、明智町、串原では「利用しやすい」の割合が他の地区に比べて高いなど、地域における違いがありました。

▶ 今後の居住意向について**定住を希望している市民は6割強**

居住意向の有無について、「ずっと恵那市で暮らしたい(いったん市外に出ても恵那市に戻ってきたい場合を含む)」が63.5%となっている一方、「市外で暮らしたい」は5.1%となっています。

居住地別でみると、岩村町では「ずっと恵那市で暮らしたい(いったん市外に出ても恵那市に戻ってきたい場合を含む)」、上矢作町では「市外で暮らしたい」の割合が最も高くなっています。

定住を希望する理由については、「家・土地があるから」が約9割

住み続けたい理由について、「家・土地があるから」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、年代が上がるにつれ、「家・土地があるから」の割合が高くなる傾向がみられます。また、30歳代、40歳代では「仕事があるから」、60歳代では「居住環境が良いから」の割合が他の年代に比べて高くなっています。

定住を希望しない理由については、「日常生活が不便だから」が約5割

住み続けたくない理由について、「日常生活が不便だから」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、男女ともに「日常生活が不便だから」の割合が最も高く、次いで男性では「居住環境が悪いから」「その他」、女性では「通勤・通学に不便だから」の割合が高くなっています。

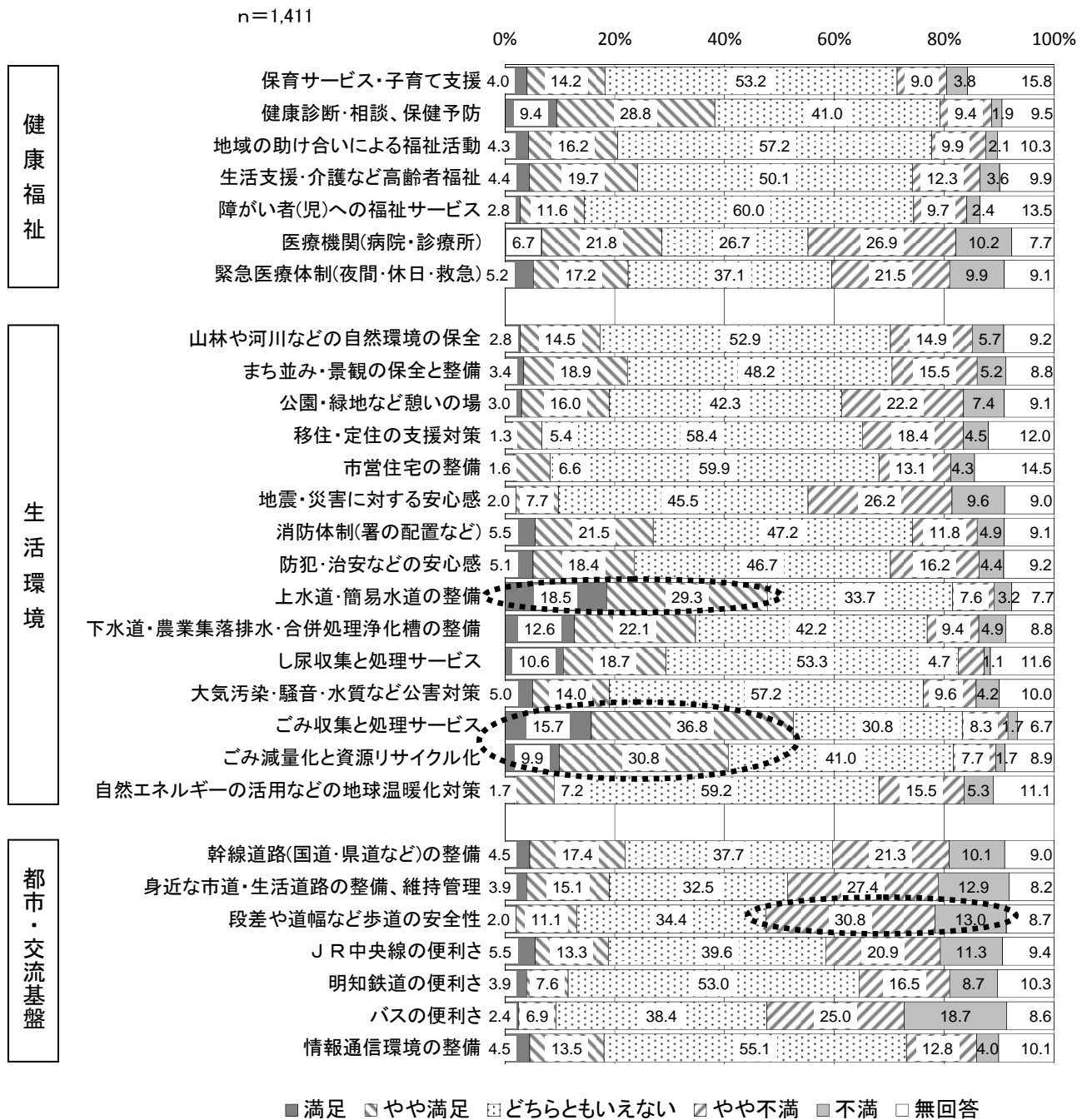
3 施策の満足度・重要度について

(1) 全57施策の満足度（今回調査一覧）

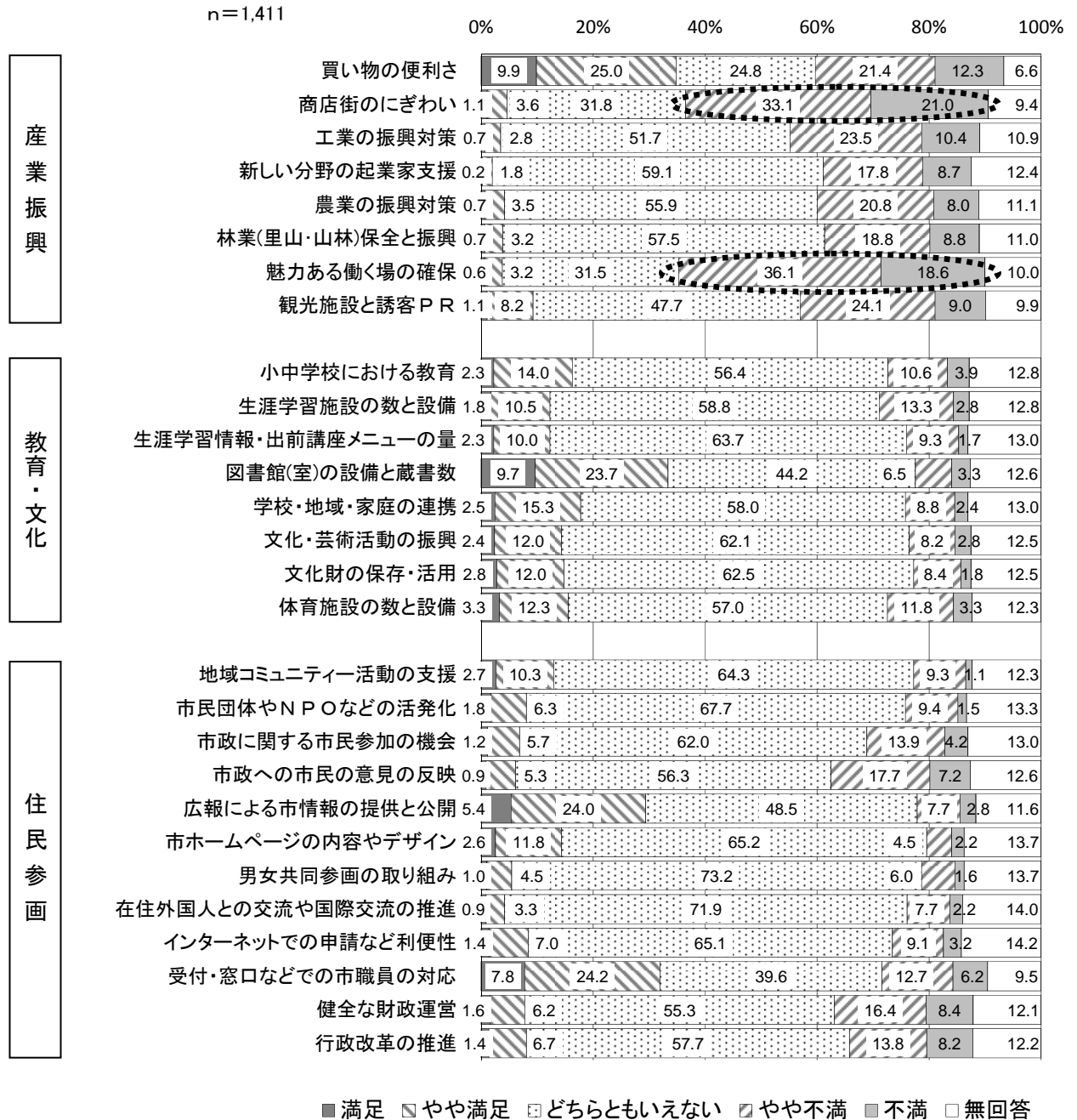
【問9】「1」～「57」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに○印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに○印を付けてください。

満足度（「満足」と「やや満足」の合算）の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」が52.5%、「上水道・簡易水道の整備」が47.8%、「ごみ減量化と資源リサイクル化」が40.7%となっています。

図3-1 全57施策の満足度（単数回答）



また、不満度（「やや不満」と「不満」の合算）の高い施策は、「魅力ある働く場の確保」が54.7%、「商店街のにぎわい」が54.1%、「段差や道幅など歩道の安全性」が43.8%となっています。

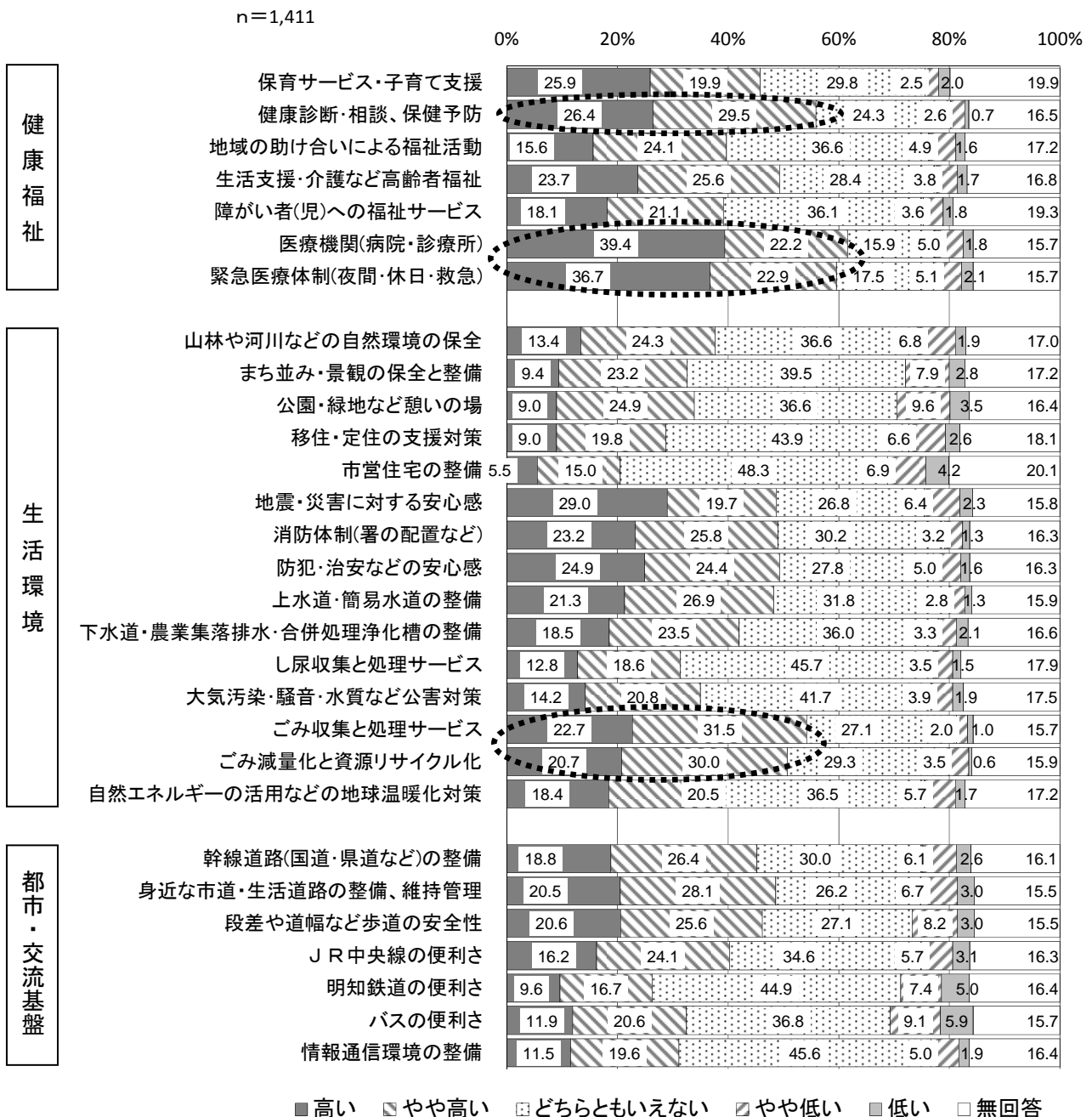


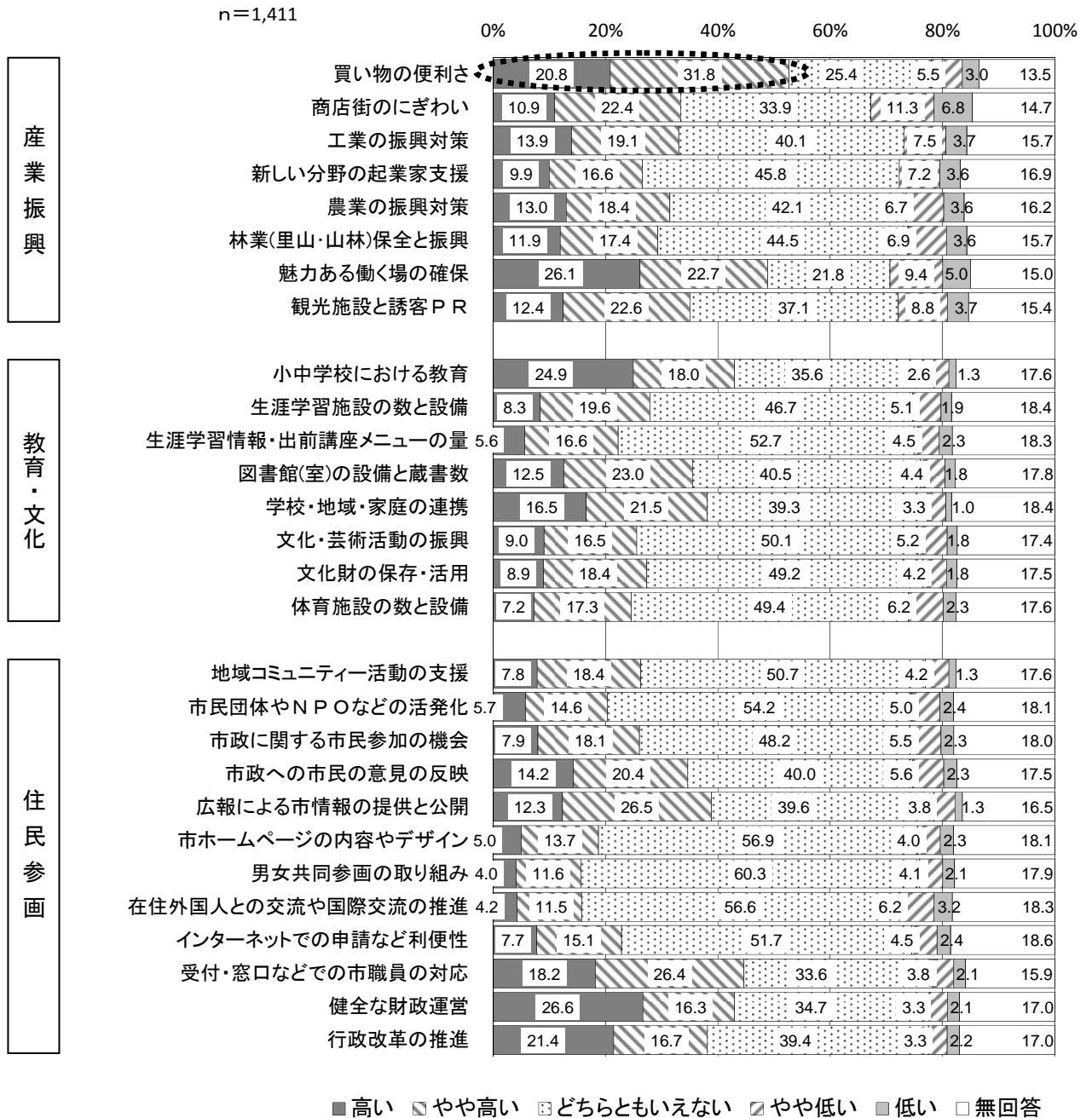
(2) 全57施策の重要度（今回調査一覧）

【問9】「1」～「57」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに○印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに○印を付けてください。

重要度（「高い」と「やや高い」の合算）の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」が61.6%、「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」が59.6%、「健康診断・相談、保健予防」が55.9%、「ごみ収集と処理サービス」が54.2%、「買い物の便利さ」が52.6%、「ごみ減量化と資源リサイクル化」が50.7%となっています。

図3-2 全57施策の重要度（単数回答）





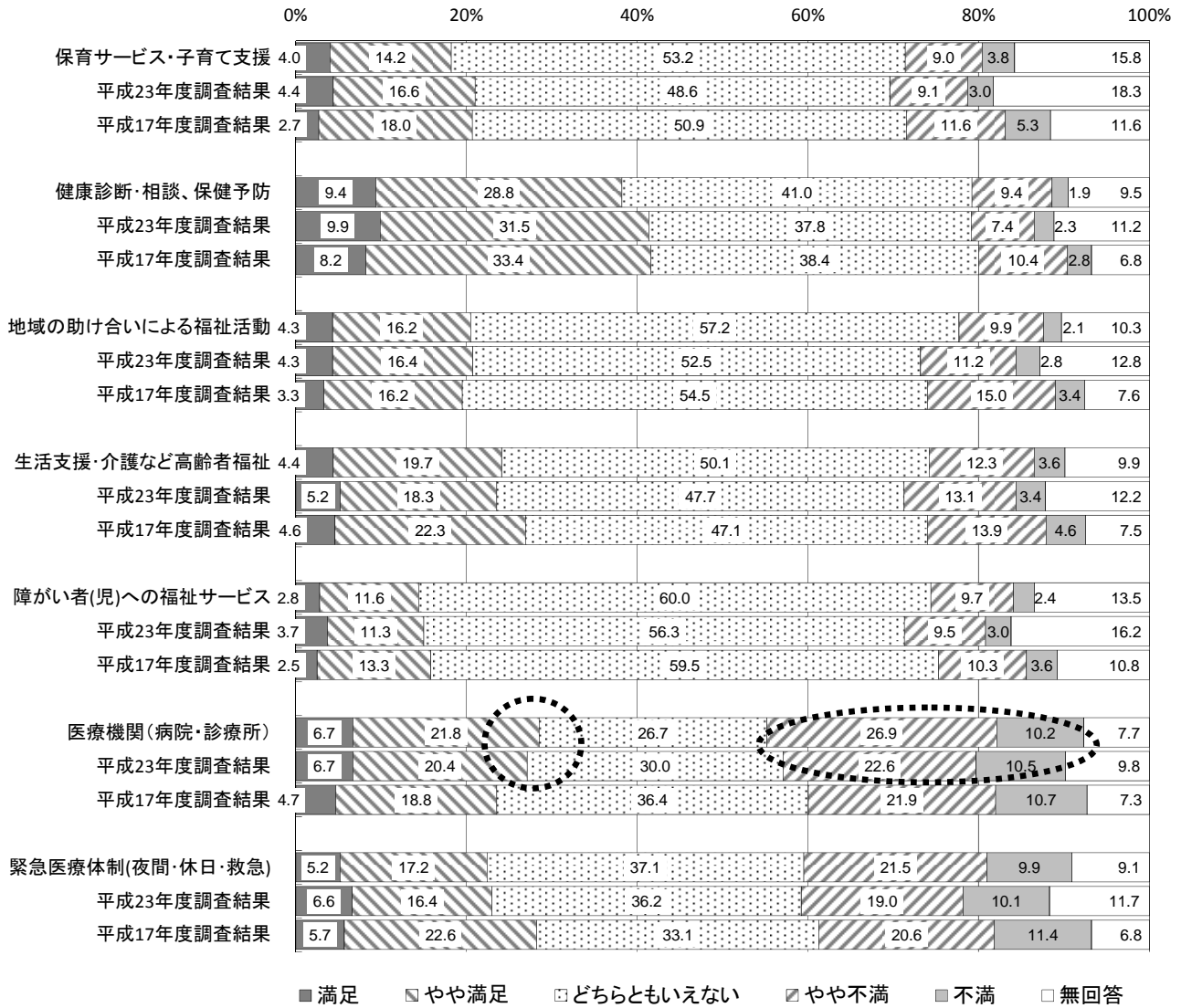
4 分野別施策満足度の経年比較について

(1) 健康福祉分野

健康福祉分野の施策満足度を前年度と比較すると、「医療機関（病院・診療所）」で満足度が1.4ポイント上昇しています。不満足でも4.0ポイント上昇しています。

図4-1 健康福祉分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)

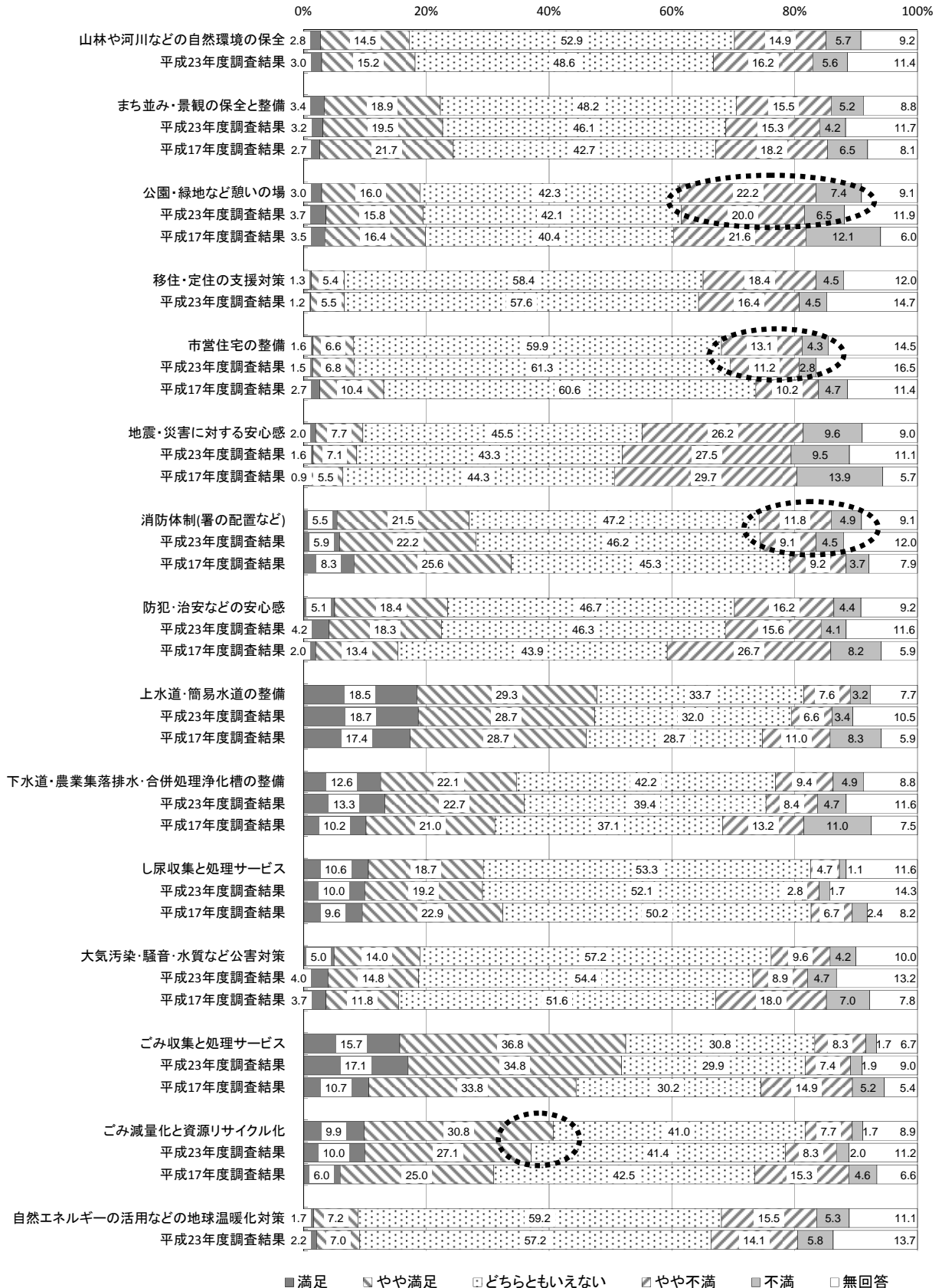


(2) 生活環境分野

生活環境分野の施策満足度を前年度と比較すると、「ごみ減量化と資源リサイクル化」で満足度が3.6ポイント上昇しています。「市営住宅の整備」で3.4ポイント、「公園・緑地など憩いの場」、「消防体制(署の配置など)」で3.1ポイント不満度が上昇しています。

図4-2 生活環境分野 (満足度の経年比較、単数回答)

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)

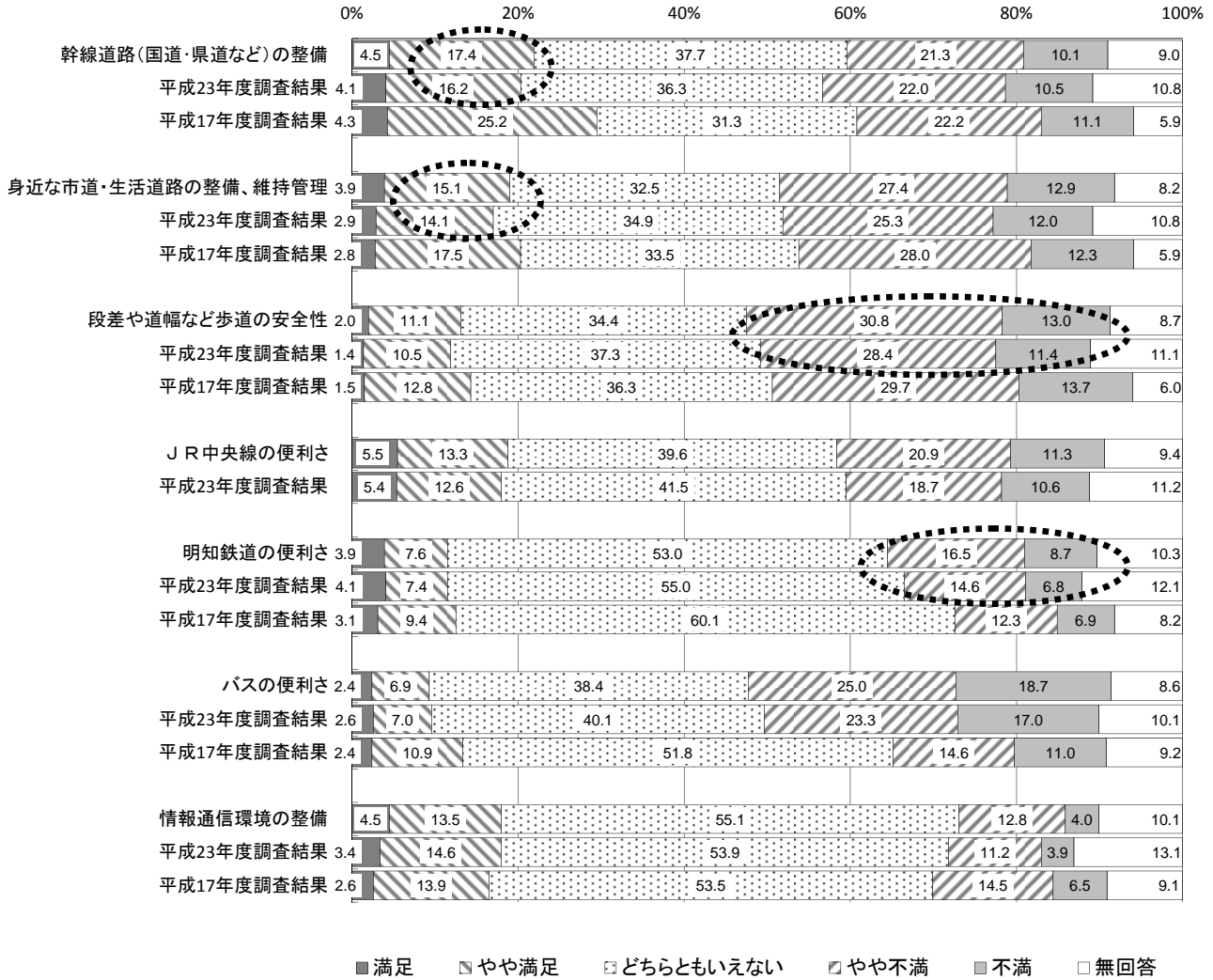


(3) 都市・交流基盤分野

都市・交流基盤分野の施策満足度を前年度と比較すると、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」で2.0ポイント、「幹線道路（国道・県道など）の整備」で1.6ポイント満足度が上昇しています。「段差や道幅など歩道の安全性」で4.0ポイント、「明知鉄道の便利さ」で3.8ポイント不満足度が上昇しています。

図4-3 都市・交流基盤分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)

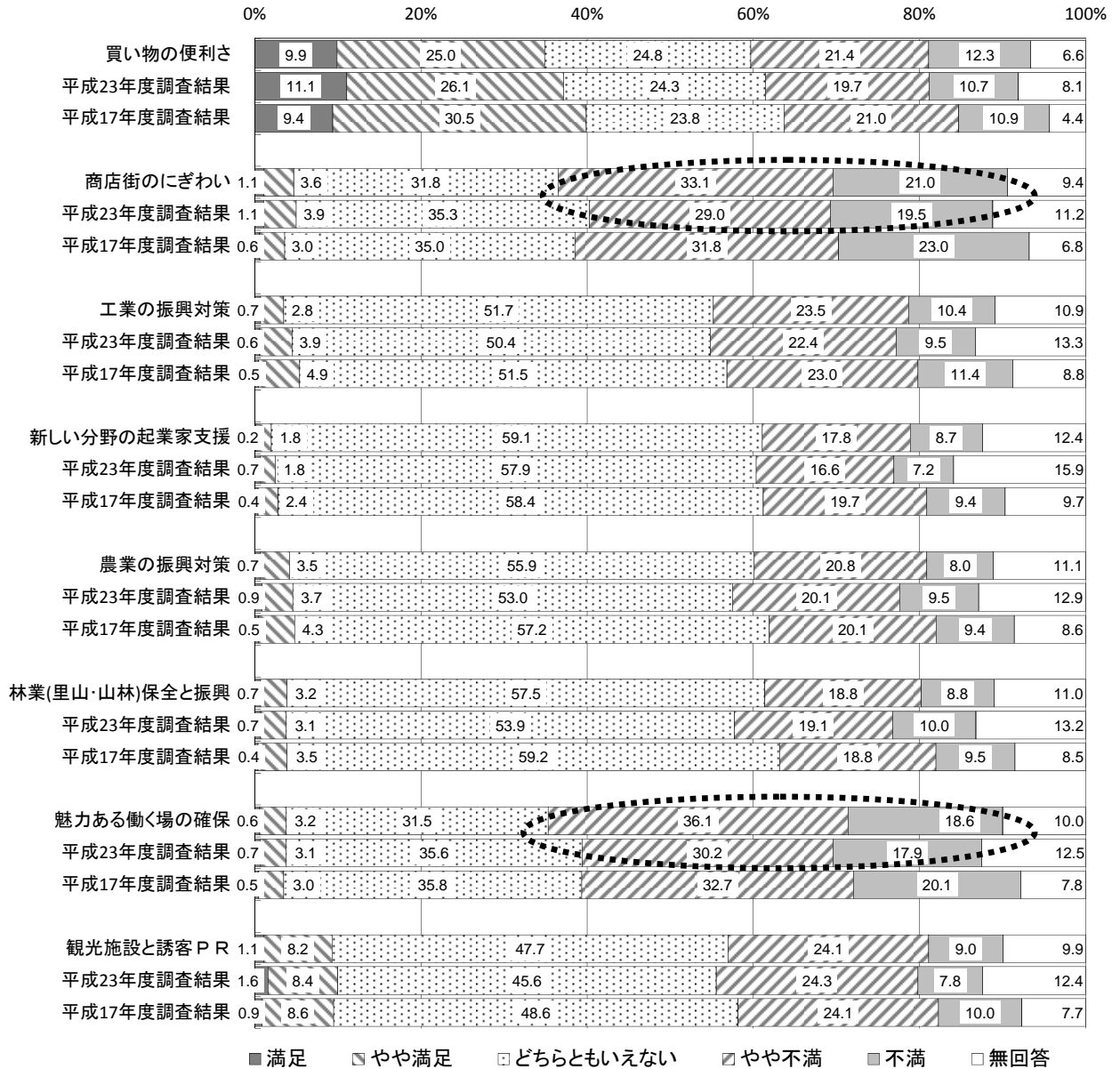


(4) 産業振興分野

産業振興分野の施策満足度を前年度と比較すると、満足度ではほとんど変化がありませんでした。「魅力ある働く場の確保」で6.6ポイント、「商店街のにぎわい」で5.6ポイント不満度が上昇しています。

図4-4 産業振興分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)

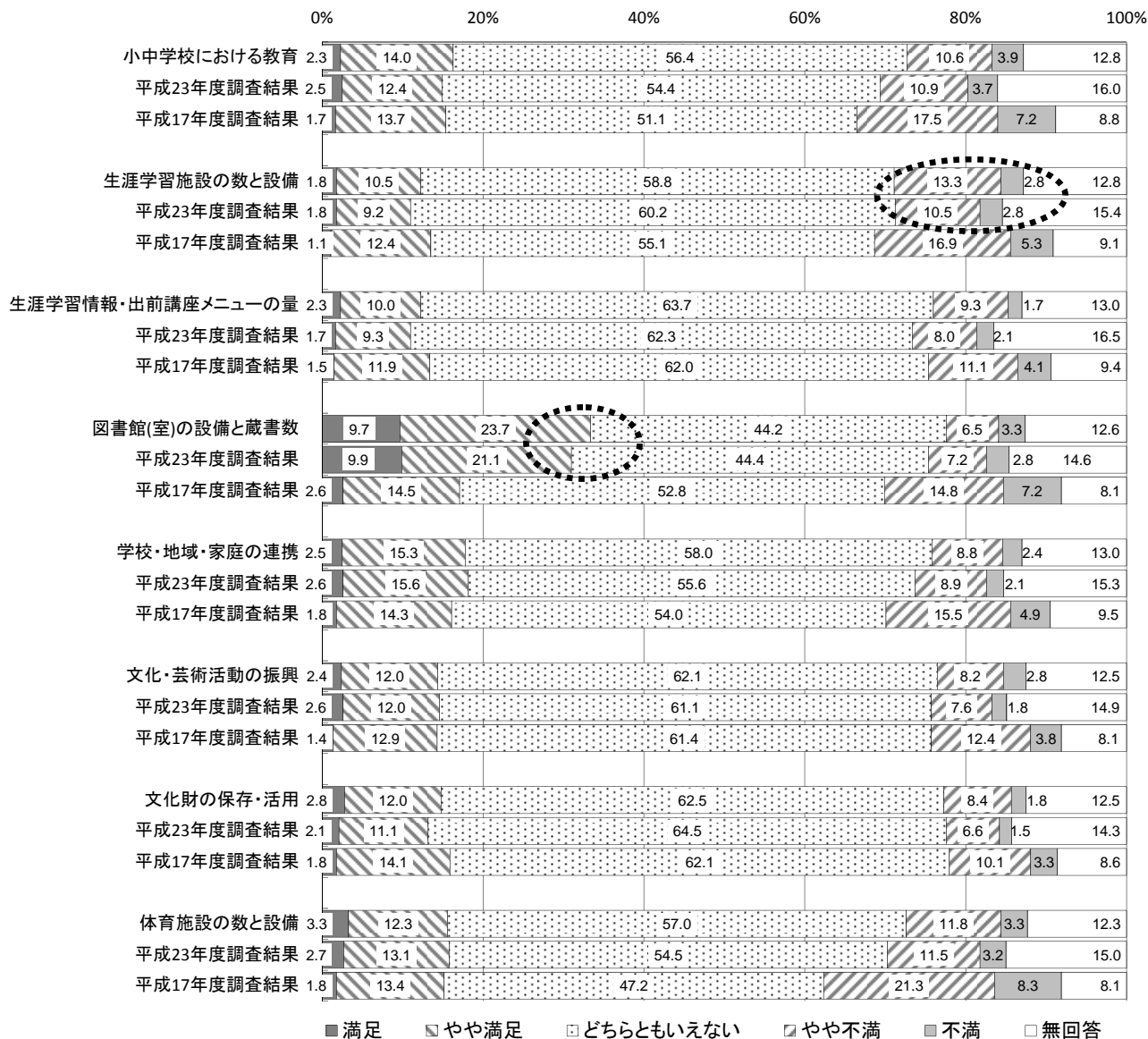


(5) 教育・文化分野

教育・文化分野の施策満足度を前年度と比較すると、「図書館(室)の設備と蔵書数」で2.4ポイント満足度が上昇しています。「生涯学習施設の数と設備」で2.8ポイント不満度が上昇しています。

図4-5 教育・文化分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)

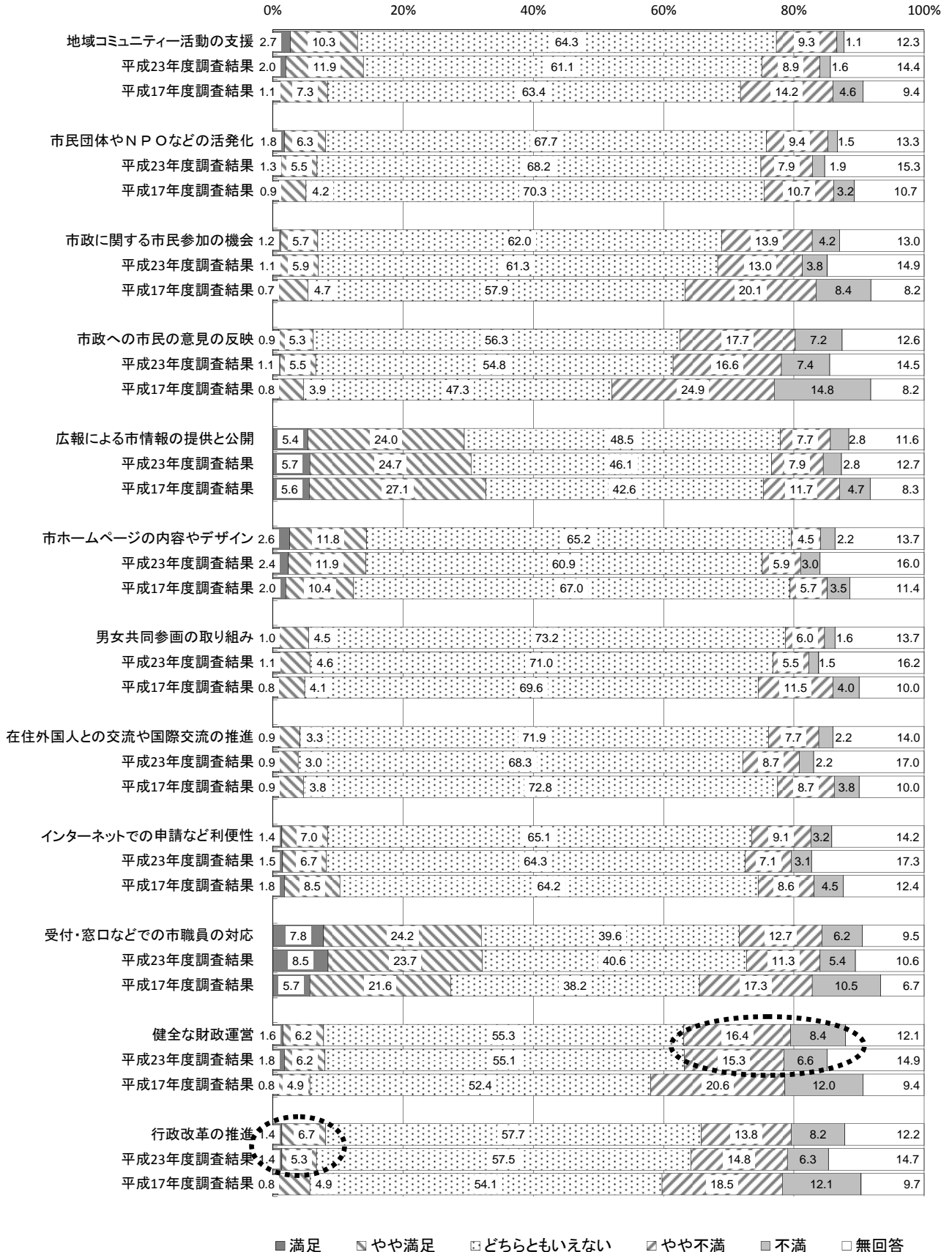


(6) 住民参画分野

住民参画分野の施策満足度を前年度と比較すると、「行政改革の推進」で1.4ポイント満足度が上昇しています。「健全な財政運営」で2.9ポイント不満足度が上昇しています。

図4-6 住民参画分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)



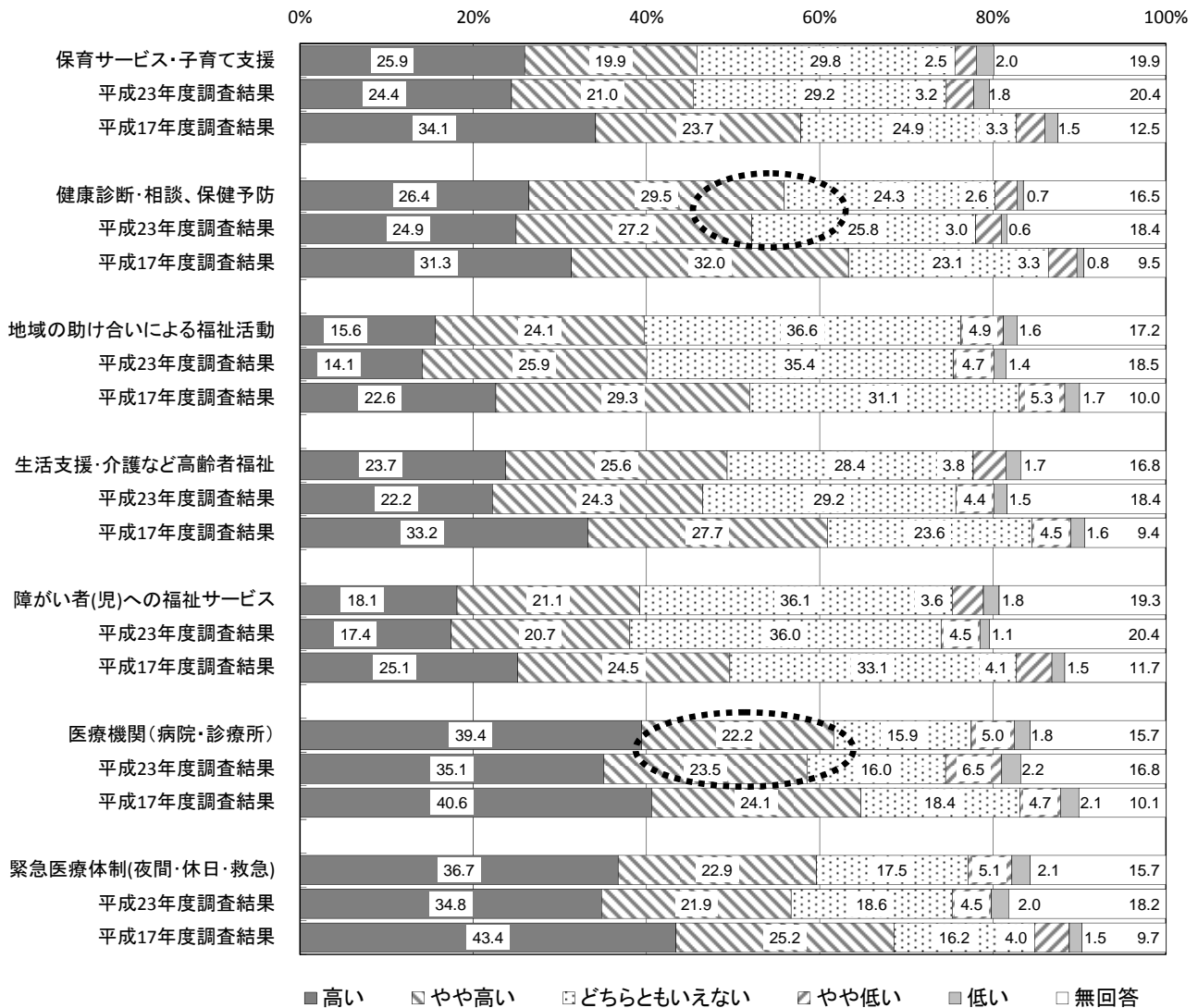
5 分野別施策重要度の経年比較について

(1) 健康福祉分野

健康福祉分野の施策重要度を前年度と比較すると、「健康診断・相談、保健予防」で3.8ポイント、「医療機関（病院・診療所）」で3.0ポイント上昇しています。

図5-1 健康福祉分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)

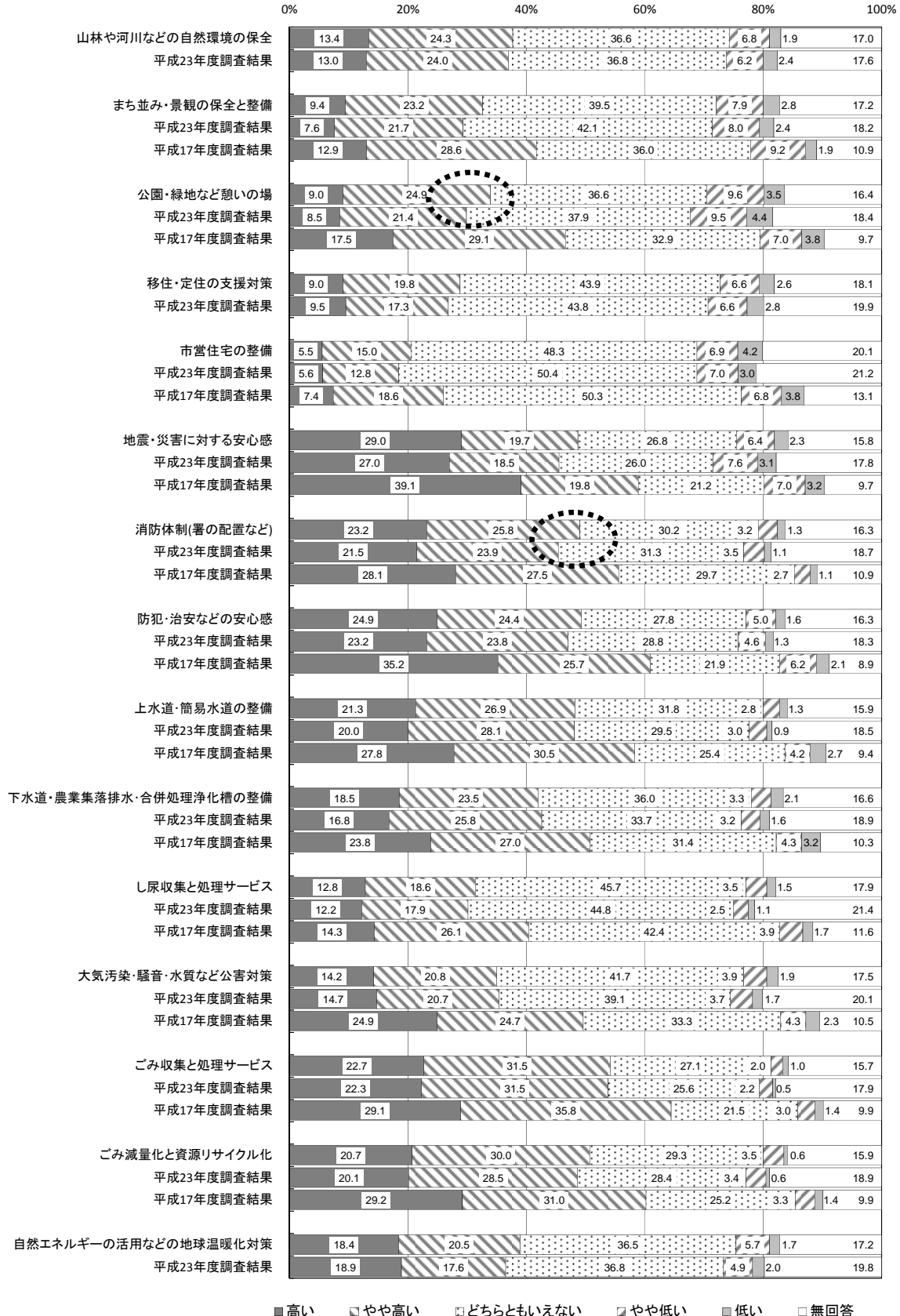


(2) 生活環境分野

生活環境分野の施策重要度を前年度と比較すると、「公園・緑地など憩いの場」で4.0ポイント、「消防体制(署の配置など)」で3.6ポイント上昇しています。

図5-2 生活環境分野 (重要度の経年比較、単数回答)

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)

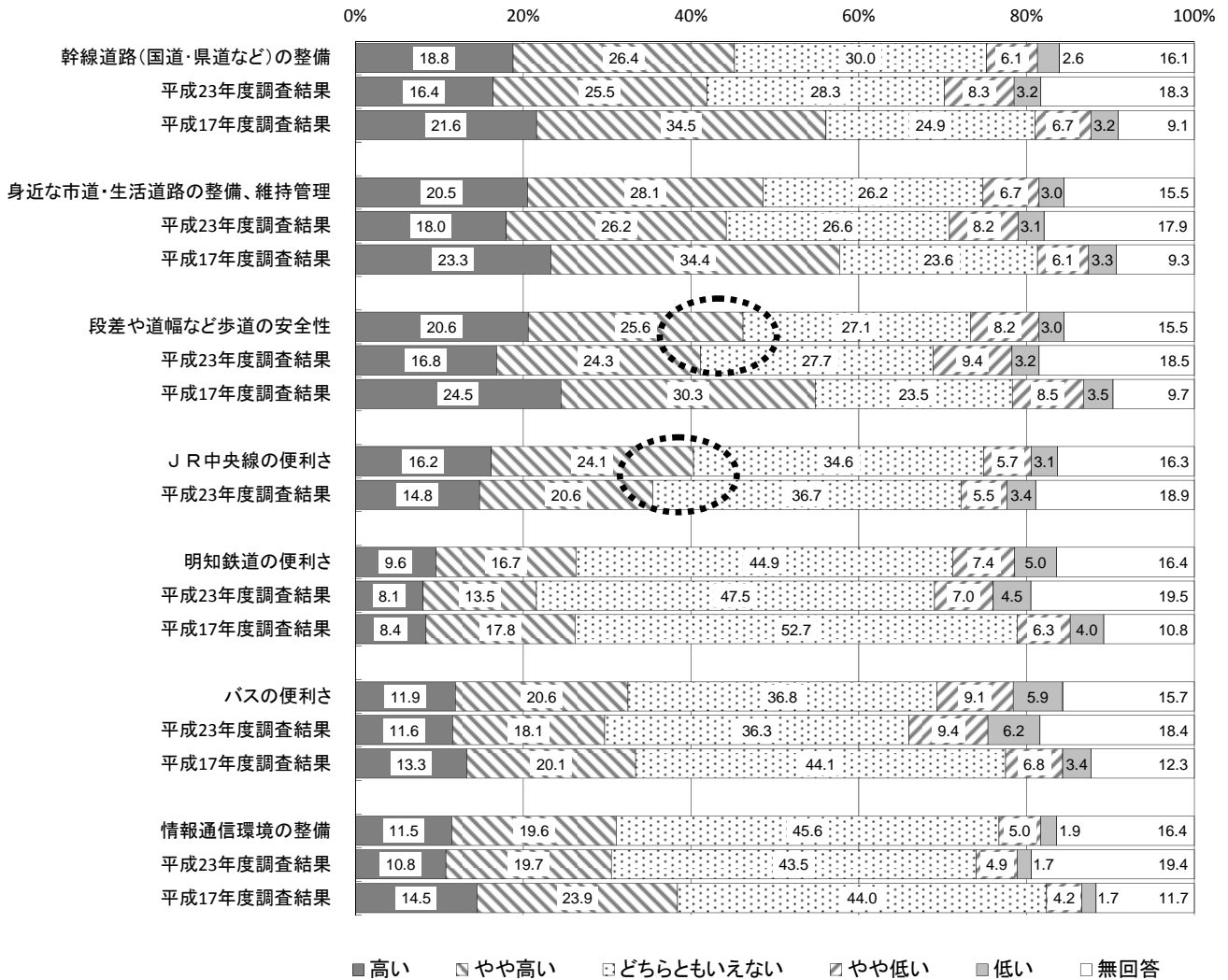


(3) 都市・交流基盤分野

都市・交流基盤分野の施策重要度を前年度と比較すると、「段差や道幅など歩道の安全性」で5.1ポイント、「JR中央線の便利さ」で4.9ポイント上昇しています。

図5-3 都市・交流基盤分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)

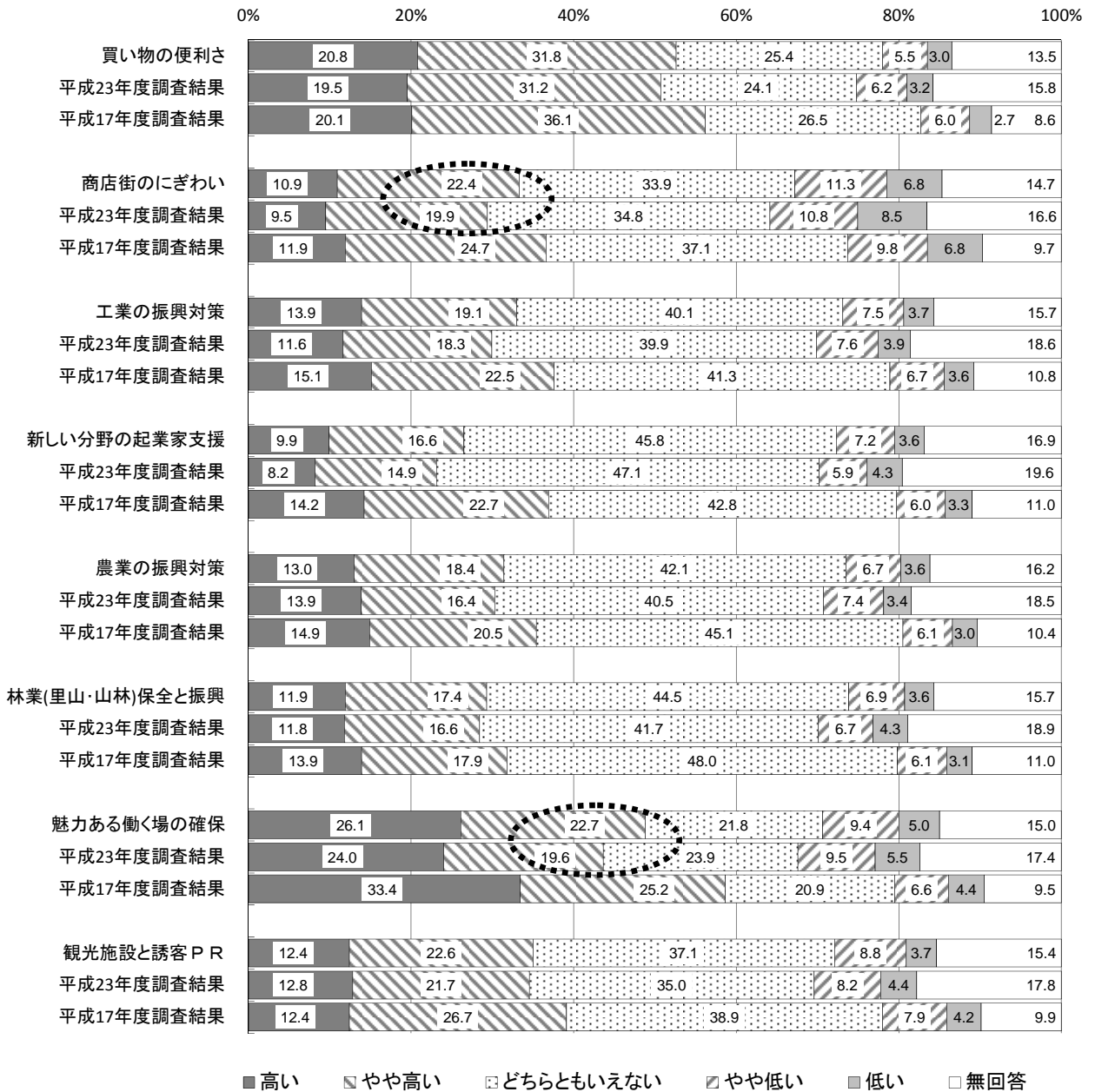


(4) 産業振興分野

産業振興分野の施策重要度を前年度と比較すると、「魅力ある働く場の確保」で5.2ポイント、「商店街のにぎわい」で3.9ポイント上昇しています。

図5-4 産業振興分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)

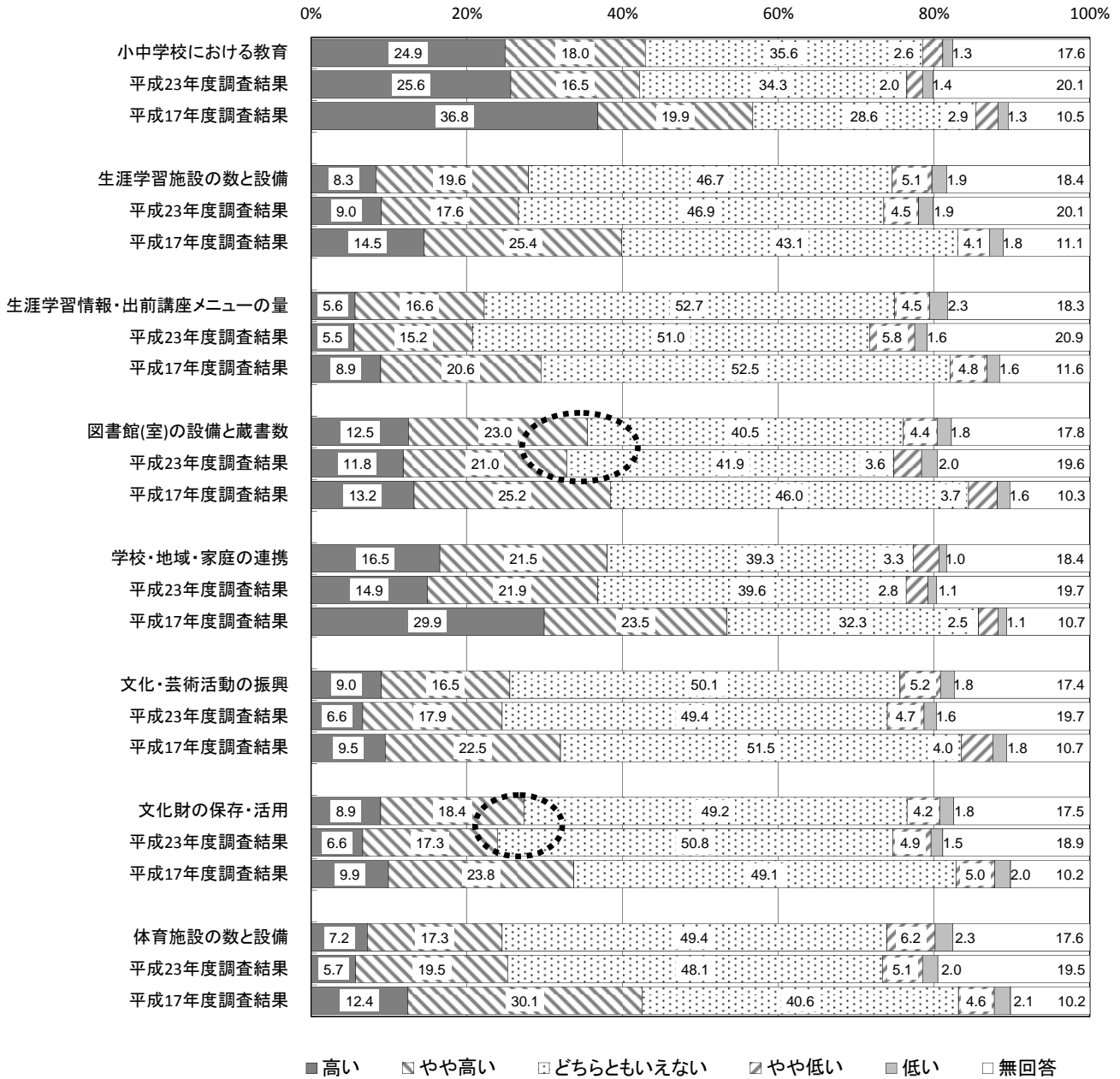


(5) 教育・文化分野

教育・文化分野の施策重要度を前年度と比較すると、「文化財の保存・活用」で3.4ポイント、「図書館(室)の設備と蔵書数」で2.7ポイント上昇しています。

図5-5 教育・文化分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)

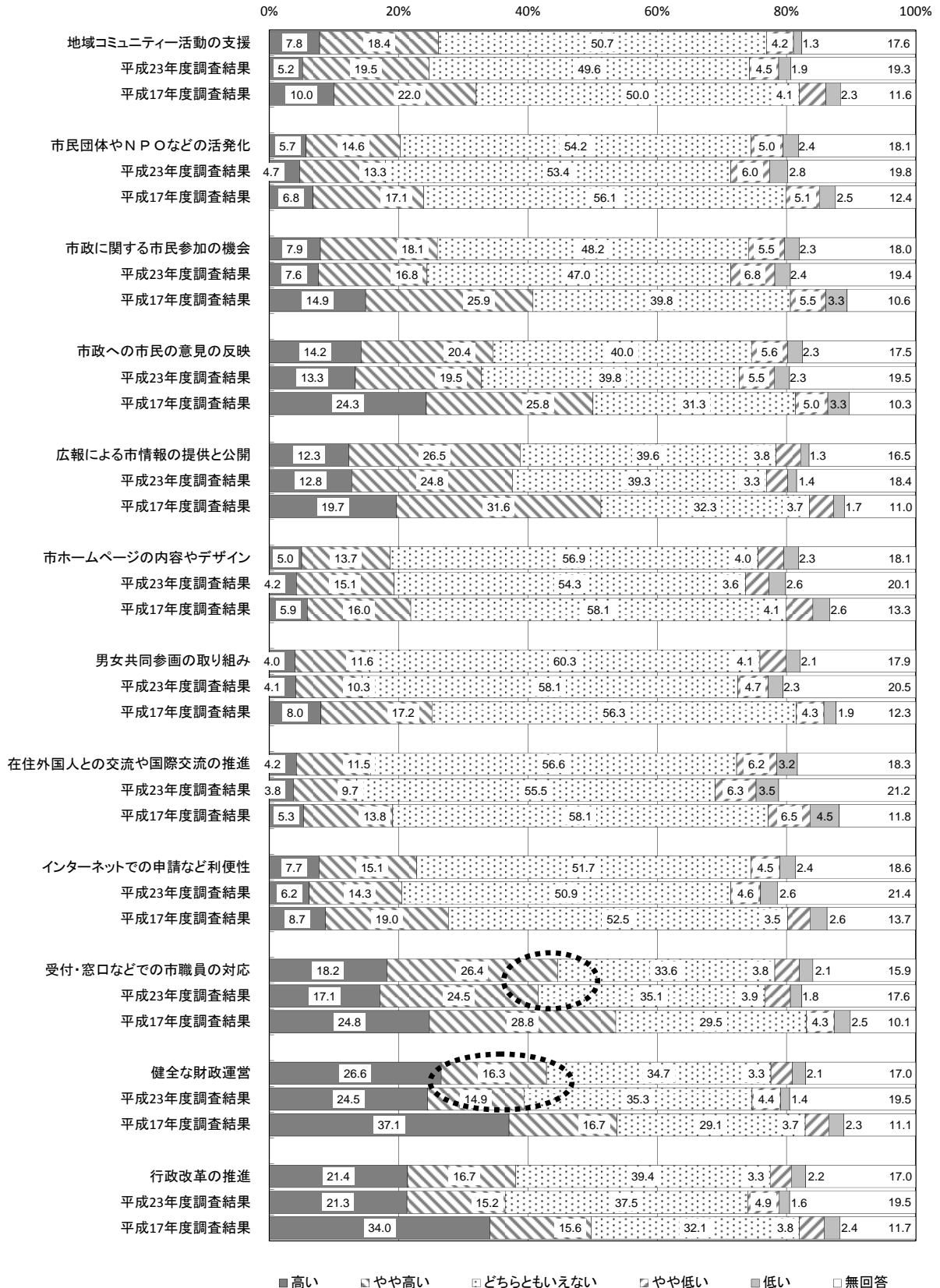


(6) 住民参画分野

住民参画分野の施策重要度を前年度と比較すると、「健全な財政運営」で3.5ポイント、「受付・窓口などでの市職員の対応」で3.0ポイント上昇しています。

図5-6 住民参画分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,411(H24年度)、n=1,479(H23年度)、n=1,688(H17年度)



6 求められるまちづくりの方向性について

(1) 満足度・不満度・重要度の上位10項目

満足度の高い施策では、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」「図書館(室)の設備と蔵書数」「し尿収集と処理サービス」の5項目で前回調査時より満足度が高まっています。

不満度の高い施策では、「地震・災害に対する安心感」を除く9項目で不満度が高まっています。10項目より下位だった「買い物の便利さ」が今回は10項目以内に入り、「幹線道路(国道・県道など)の整備」(前年8位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、10項目すべてで重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「消防体制(署の配置など)」「魅力ある働く場の確保」が今回は10項目以内に入り、「上水道・簡易水道の整備」(前年7位)「地震・災害に対する安心感」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-1 満足度・不満度・重要度の上位10項目

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	52.5【↑】	51.9(1)
2	上水道・簡易水道の整備	47.8【↑】	47.4(2)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	40.7【↑】	37.1(5)
4	健康診断・相談、保健予防	38.2【↓】	41.4(3)
5	買い物の便利さ	34.9【↓】	37.2(4)
6	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	34.7【↓】	36.0(6)
7	図書館(室)の設備と蔵書数	33.4【↑】	31.0(8)
8	受付・窓口などでの市職員の対応	32.0【↓】	32.2(7)
9	広報による市情報の提供と公開	29.4【↓】	30.4(9)
10	し尿収集と処理サービス	29.3【↑】	29.2(10)

順位	不満度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	魅力ある働く場の確保	54.7【↑】	48.1(2)
2	商店街のにぎわい	54.1【↑】	48.5(1)
3	段差や道幅など歩道の安全性	43.8【↑】	39.8(4)
4	バスの便利さ	43.7【↑】	40.3(3)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	40.3【↑】	37.3(5)
6	医療機関(病院・診療所)	37.1【↑】	33.1(7)
7	地震・災害に対する安心感	35.8【↓】	37.0(6)
8	工業の振興対策	33.9【↑】	31.9(10)
9	買い物の便利さ	33.7【↑】	30.4(11)
10	観光施設と誘客PR	33.1【↑】	32.1(9)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	61.6【↑】	58.6(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	59.6【↑】	56.7(2)
3	健康診断・相談、保健予防	55.9【↑】	52.1(4)
4	ごみ収集と処理サービス	54.2【↑】	53.8(3)
5	買い物の便利さ	52.6【↑】	50.7(5)
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	50.7【↑】	48.6(6)
7	生活支援・介護など高齢者福祉	49.3【↑】	46.5(9)
7	防犯・治安などの安心感	49.3【↑】	47.0(8)
9	消防体制(署の配置など)	49.0【↑】	45.4(12)
10	魅力ある働く場の確保	48.8【↑】	43.6(14)

※今回調査結果の【】内は、前回調査時からのポイントの上下を指す。(以下同様)

※前回調査結果の()内は、前回順位を指す。(以下同様)

(2) 満足度・不満足度・重要度の上位10項目* (年齢別)

①満足度・不満足度・重要度の上位10項目 (年齢別：20代)

満足度の高い施策では、「まち並み・景観の保全と整備」を除く9項目で満足度が高まっています。前回10項目より下位だった「ごみ減量化と資源リサイクル化」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「公園・緑地など憩いの場」(前年10位)が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」以外の項目で不満足が高まっています。前回10項目より下位だった「買い物の便利さ」「明知鉄道の便利さ」「観光施設と誘客PR」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「幹線道路(国道・県道など)の整備」(前年9位)「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」(前年10位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、10項目すべてで重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「段差や道幅など歩道の安全性」「生活支援・介護など高齢者福祉」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「消防体制(署の配置など)」(前年9位)「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-2 満足度・不満足度・重要度の上位10項目 (年齢別：20代)

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	上水道・簡易水道の整備	42.9【↑】	29.1(6)
2	ごみ収集と処理サービス	40.0【↑】	37.3(1)
2	買い物の便利さ	40.0【↑】	36.4(2)
4	図書館(室)の設備と蔵書数	39.1【↑】	35.4(4)
5	広報による市情報の提供と公開	39.0【↑】	31.8(5)
6	防犯・治安などの安心感	35.3【↑】	27.2(7)
7	山林や河川などの自然環境の保全	32.4【↑】	26.4(8)
7	消防体制(署の配置など)	32.4【↑】	26.3(9)
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	32.4【↑】	20.9(13)
10	まち並み・景観の保全と整備	29.6【↓】	35.5(3)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	魅力ある働く場の確保	65.7【↑】	50.9(1)
2	段差や道幅など歩道の安全性	60.9【↑】	37.2(8)
3	商店街のにぎわい	60.0【↑】	48.2(2)
4	バスの便利さ	50.5【↑】	42.7(5)
5	JR中央線の便利さ	50.4【↑】	41.8(6)
6	地震・災害に対する安心感	49.5【↑】	47.3(3)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	43.8【↓】	44.6(4)
7	買い物の便利さ	43.8【↑】	34.5(12)
9	明知鉄道の便利さ	41.0【↑】	34.5(11)
10	医療機関(病院・診療所)	40.0【↑】	37.2(7)
10	観光施設と誘客PR	40.0【↑】	30.9(14)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	80.9【↑】	72.7(2)
2	地震・災害に対する安心感	77.1【↑】	73.6(1)
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	76.1【↑】	72.7(3)
4	魅力ある働く場の確保	74.3【↑】	61.8(7)
5	防犯・治安などの安心感	71.3【↑】	67.3(4)
6	保育サービス・子育て支援	68.5【↑】	65.5(5)
7	健康診断・相談、保健予防	67.6【↑】	58.2(8)
8	段差や道幅など歩道の安全性	67.5【↑】	50.0(19)
9	生活支援・介護など高齢者福祉	65.7【↑】	53.6(13)
9	買い物の便利さ	65.7【↑】	64.5(6)

* 上位10位以内に入っている項目を指します。同率順位が2項目以上ある場合は、10項目を超える場合があります。(以下同様)

②満足度・不満足度・重要度の上位10項目（年齢別：30代）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」「小中学校における教育」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「消防体制(署の配置など)」（前年8位）「広報による市情報の提供と公開」（前年10位）が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、「商店街のにぎわい」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」以外の項目で不満度が高まっています。前回10項目より下位だった「段差や道幅など歩道の安全性」「地震・災害に対する安心感」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「幹線道路(国道・県道など)の整備」（前年6位）が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、「医療機関(病院・診療所)」「防犯・治安などの安心感」を除く8項目で重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」「魅力ある働く場の確保」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「小中学校における教育」（前年8位）「ごみ収集と処理サービス」（前年9位）「消防体制(署の配置など)」（前年10位）が今回は入りませんでした。

表6-3 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（年齢別：30代）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	図書館(室)の設備と蔵書数	52.0【↑】	48.4(1)
2	ごみ収集と処理サービス	40.0【↓】	47.2(2)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	34.7【↓】	35.6(7)
4	保育サービス・子育て支援	34.6【↓】	37.0(6)
4	買い物の便利さ	34.6【↓】	42.6(3)
6	まち並み・景観の保全と整備	30.7【↑】	29.9(9)
7	上水道・簡易水道の整備	30.6【↓】	39.5(5)
8	健康診断・相談、保健予防	26.7【↓】	40.1(4)
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	26.0【↓】	27.4(13)
10	小中学校における教育	24.7【↑】	21.0(20)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	魅力ある働く場の確保	59.3【↑】	42.0(4)
2	商店街のにぎわい	52.7【↓】	54.1(1)
3	医療機関(病院・診療所)	51.3【↑】	48.4(2)
4	段差や道幅など歩道の安全性	46.0【↑】	30.6(13)
5	バスの便利さ	45.4【↑】	38.2(7)
6	地震・災害に対する安心感	42.6【↑】	33.1(12)
7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	42.0【↓】	43.3(3)
8	公園・緑地など憩いの場	40.0【↑】	39.5(5)
9	買い物の便利さ	39.4【↑】	33.7(10)
10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	38.0【↑】	35.7(9)
10	JR中央線の便利さ	38.0【↑】	36.3(8)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	80.0【↑】	77.7(2)
2	医療機関(病院・診療所)	78.7【↓】	81.6(1)
3	保育サービス・子育て支援	77.9【↑】	71.4(3)
4	健康診断・相談、保健予防	74.0【↑】	67.6(4)
5	買い物の便利さ	70.8【↑】	64.9(6)
6	地震・災害に対する安心感	66.8【↑】	63.0(7)
7	防犯・治安などの安心感	63.3【↓】	66.9(5)
8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	62.7【↑】	54.7(11)
9	段差や道幅など歩道の安全性	61.4【↑】	51.0(17)
10	魅力ある働く場の確保	60.7【↑】	51.6(16)

③満足度・不満度・重要度の上位10項目（年齢別：40代）

満足度の高い施策では、「消防体制(署の配置など)」を除く9項目で満足度が高まっています。前回10項目より下位だった「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「まち並み・景観の保全と整備」(前年8位)が今回は入りませんでした。

不満度の高い施策では、前回10項目より下位だった「幹線道路(国道・県道など)の整備」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「工業の振興対策」(前年10位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、前回10項目より下位だった「消防体制(署の配置など)」「ごみ収集と処理サービス」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「生活支援・介護など高齢者福祉」(前年8位)「段差や道幅など歩道の安全性」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-4 満足度・不満度・重要度の上位10項目（年齢別：40代）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	51.3【↑】	35.1(3)
2	図書館(室)の設備と蔵書数	43.6【↑】	37.7(2)
3	上水道・簡易水道の整備	40.6【↑】	38.3(1)
4	健康診断・相談、保健予防	38.0【↑】	34.5(4)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	36.4【↑】	24.7(10)
5	買い物の便利さ	36.4【↑】	32.8(5)
7	広報による市情報の提供と公開	33.8【↑】	25.3(9)
8	保育サービス・子育て支援	28.7【↑】	25.9(7)
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	26.6【↑】	24.0(11)
10	消防体制(署の配置など)	26.2【↓】	27.2(6)

順位	不満度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	商店街のにぎわい	56.9【↑】	52.5(2)
2	魅力ある働く場の確保	56.4【↓】	62.3(1)
3	バスの便利さ	50.8【↑】	46.9(5)
4	段差や道幅など歩道の安全性	49.7【↑】	49.4(4)
5	医療機関(病院・診療所)	49.2【↓】	50.0(3)
6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	46.6【↑】	40.8(8)
7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	44.1【↑】	43.8(6)
8	地震・災害に対する安心感	38.0【↓】	38.9(9)
9	JR中央線の便利さ	37.4【↓】	42.6(7)
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	35.4【↓】	35.8(11)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	75.9【↑】	74.7(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	75.4【↑】	72.8(2)
3	魅力ある働く場の確保	64.5【↓】	66.0(5)
4	健康診断・相談、保健予防	64.1【↓】	64.2(7)
5	地震・災害に対する安心感	63.6【↓】	64.9(6)
6	防犯・治安などの安心感	62.0【↓】	66.7(4)
7	小中学校における教育	61.0【↓】	63.0(9)
8	消防体制(署の配置など)	60.0【↓】	60.5(11)
9	ごみ収集と処理サービス	59.5【↓】	60.5(12)
10	保育サービス・子育て支援	58.9【↓】	68.5(3)

④満足度・不満度・重要度の上位10項目（年齢別：50代）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「し尿収集と処理サービス」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「消防体制(署の配置など)」(前年10位)が今回は入りませんでした。

不満度の高い施策では、10項目すべてで不満度が高まっています。前回10項目より下位だった「買い物の便利さ」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「JR中央線の便利さ」(前年10位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、10項目すべてで重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「地震・災害に対する安心感」「防犯・治安などの安心感」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「保育サービス・子育て支援」(前年8位)「ごみ減量化と資源リサイクル化」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-5 満足度・不満度・重要度の上位10項目（年齢別：50代）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	52.6【↑】	41.3(2)
2	上水道・簡易水道の整備	43.8【↓】	47.1(1)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	39.9【↑】	31.8(6)
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	30.1【↓】	37.6(3)
5	図書館(室)の設備と蔵書数	29.6【↑】	29.4(7)
6	買い物の便利さ	29.2【↓】	35.6(4)
7	健康診断・相談、保健予防	28.8【↓】	32.6(5)
8	受付・窓口などでの市職員の対応	24.8【↓】	25.7(8)
9	し尿収集と処理サービス	24.7【↑】	22.7(11)
10	広報による市情報の提供と公開	23.0【↓】	25.6(9)

順位	不満度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	商店街のにぎわい	68.1【↑】	49.1(2)
2	魅力ある働く場の確保	67.3【↑】	54.1(1)
3	バスの便利さ	54.4【↑】	43.8(4)
4	段差や道幅など歩道の安全性	49.1【↑】	47.1(3)
5	医療機関(病院・診療所)	48.7【↑】	42.5(5)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	48.7【↑】	40.1(6)
7	工業の振興対策	48.2【↑】	36.0(9)
8	地震・災害に対する安心感	42.0【↑】	38.0(8)
9	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	41.6【↑】	38.5(7)
9	買い物の便利さ	41.6【↑】	27.7(17)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	69.0【↑】	66.9(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	67.6【↑】	65.2(2)
3	魅力ある働く場の確保	61.0【↑】	58.3(3)
4	ごみ収集と処理サービス	60.7【↑】	54.1(7)
5	買い物の便利さ	60.6【↑】	56.2(5)
6	地震・災害に対する安心感	60.3【↑】	49.2(15)
7	生活支援・介護など高齢者福祉	60.1【↑】	55.3(6)
8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	59.7【↑】	52.9(9)
9	健康診断・相談、保健予防	59.0【↑】	57.1(4)
10	防犯・治安などの安心感	58.0【↑】	50.8(14)

⑤満足度・不満足度・重要度の上位10項目（年齢別：60代）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「医療機関(病院・診療所)」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「図書館(室)の設備と蔵書数」(前年10位)が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「医療機関(病院・診療所)」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「幹線道路(国道・県道など)の整備」(前年8位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」を除く8項目で重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「消防体制(署の配置など)」「受付・窓口などでの市職員の対応」「魅力ある働く場の確保」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「生活支援・介護など高齢者福祉」(前年8位)「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」(前年9位)「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-6 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（年齢別：60代）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	上水道・簡易水道の整備	54.6【↑】	54.3(2)
2	ごみ収集と処理サービス	54.0【↓】	59.7(1)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	45.4【↑】	44.8(4)
4	健康診断・相談、保健予防	42.0【↓】	49.5(3)
5	買い物の便利さ	40.1【↑】	37.4(6)
6	受付・窓口などでの市職員の対応	39.5【↑】	35.6(7)
7	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	39.2【↓】	40.0(5)
8	し尿収集と処理サービス	33.7【↑】	32.1(8)
9	広報による市情報の提供と公開	29.6【↓】	32.0(9)
10	医療機関(病院・診療所)	29.3【↓】	30.8(11)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	魅力ある働く場の確保	59.6【↑】	51.0(2)
2	商店街のにぎわい	55.3【↑】	53.7(1)
3	段差や道幅など歩道の安全性	40.7【↓】	41.6(4)
4	医療機関(病院・診療所)	38.3【↑】	30.9(13)
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	38.3【↓】	40.9(5)
6	バスの便利さ	37.0【↓】	42.1(3)
6	工業の振興対策	37.0【↑】	33.6(10)
8	林業(里山・山林)保全と振興	36.1【↓】	36.2(7)
9	地震・災害に対する安心感	35.2【↓】	40.4(6)
10	観光施設と誘客PR	34.9【↓】	35.3(9)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	健康診断・相談、保健予防	58.9【↑】	53.7(3)
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	58.9【↑】	53.7(4)
3	医療機関(病院・診療所)	58.4【↑】	57.5(2)
4	ごみ収集と処理サービス	57.4【↓】	58.4(1)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	54.9【↑】	51.9(6)
6	上水道・簡易水道の整備	52.5【↓】	53.4(5)
7	買い物の便利さ	52.1【↑】	50.1(7)
8	消防体制(署の配置など)	50.3【↑】	43.1(13)
9	受付・窓口などでの市職員の対応	48.1【↑】	42.4(14)
9	魅力ある働く場の確保	48.1【↑】	41.2(15)

⑥満足度・不満度・重要度の上位10項目（年齢別：70歳以上）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「広報による市情報の提供と公開」(前年10位)が今回は入りませんでした。

不満度の高い施策では、前回10項目より下位だった「買い物の便利さ」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「地震・災害に対する安心感」(前年6位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、前回10項目より下位だった「広報による市情報の提供と公開」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「生活支援・介護など高齢者福祉」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-7 満足度・不満度・重要度の上位10項目（年齢別：70歳以上）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	60.5【 ↓ 】	62.6 (1)
2	上水道・簡易水道の整備	56.8【 ↑ 】	53.1 (2)
3	健康診断・相談、保健予防	47.6【 ↑ 】	46.6 (3)
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	44.3【 ↑ 】	43.2 (5)
5	医療機関(病院・診療所)	43.5【 ↑ 】	39.7 (7)
6	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	43.0【 ↓ 】	43.4 (4)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	39.7【 ↓ 】	41.9 (6)
8	し尿収集と処理サービス	37.7【 ↓ 】	38.2 (8)
9	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	33.2【 ↑ 】	31.2 (11)
10	買い物の便利さ	32.4【 ↓ 】	38.0 (9)

順位	不満度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	商店街のにぎわい	43.5【 ↑ 】	41.5 (1)
2	魅力ある働く場の確保	38.7【 ↓ 】	39.5 (2)
3	バスの便利さ	37.4【 ↑ 】	35.0 (4)
4	段差や道幅など歩道の安全性	36.0【 ↑ 】	35.0 (3)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	34.9【 ↑ 】	31.1 (8)
6	買い物の便利さ	32.2【 ↑ 】	27.9 (11)
7	林業(里山・山林)保全と振興	30.6【 ↓ 】	33.5 (5)
8	農業の振興対策	30.1【 ↓ 】	32.2 (7)
9	工業の振興対策	28.7【 ↓ 】	29.4 (9)
10	観光施設と誘客PR	27.9【 ↓ 】	28.5 (10)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	上水道・簡易水道の整備	44.5【 ↑ 】	42.6 (2)
2	ごみ収集と処理サービス	44.0【 ↓ 】	46.8 (1)
3	医療機関(病院・診療所)	43.5【 ↑ 】	38.9 (4)
4	健康診断・相談、保健予防	38.9【 ↑ 】	37.8 (7)
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	38.9【 ↓ 】	39.9 (3)
6	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	37.4【 ↓ 】	38.2 (5)
7	買い物の便利さ	36.7【 ↓ 】	38.2 (6)
8	受付・窓口などでの市職員の対応	35.5【 ↓ 】	36.5 (9)
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	35.1【 ↓ 】	37.2 (8)
10	広報による市情報の提供と公開	34.0【 ↑ 】	31.5 (12)

(3) 満足度・不満足度・重要度の上位10項目(居住地別)

①満足度・不満足度・重要度の上位10項目(居住地別:大井町)

満足度の高い施策では、「ごみ収集と処理サービス」「ごみ減量化と資源リサイクル化」「上水道・簡易水道の整備」「図書館(室)の設備と蔵書数」「健康診断・相談、保健予防」「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」の6項目で満足度が高まっています。

不満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「公園・緑地など憩いの場」「工業の振興対策」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「幹線道路(国道・県道など)の整備」(前年10位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、「買い物の便利さ」を除く9項目で重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「魅力ある働く場の確保」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「保育サービス・子育て支援」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-8 満足度・不満足度・重要度の上位10項目(居住地別:大井町)

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	60.0【↑】	53.1(2)
2	ごみ減量化と資源リサイクル化	52.1【↑】	38.4(6)
3	上水道・簡易水道の整備	51.7【↑】	45.9(3)
4	買い物の便利さ	50.3【↓】	53.4(1)
5	図書館(室)の設備と蔵書数	50.0【↑】	42.5(4)
6	健康診断・相談、保健予防	46.0【↑】	40.1(5)
7	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	34.6【↑】	32.6(9)
8	受付・窓口などでの市職員の対応	32.5【↓】	36.1(7)
9	広報による市情報の提供と公開	31.5【↓】	33.6(8)
10	消防体制(署の配置など)	30.8【↓】	31.3(10)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	商店街のにぎわい	62.2【↑】	50.0(1)
2	魅力ある働く場の確保	54.6【↑】	45.2(3)
3	段差や道幅など歩道の安全性	46.4【↑】	45.9(2)
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	41.4【↑】	36.1(6)
5	医療機関(病院・診療所)	40.3【↑】	34.4(7)
6	バスの便利さ	38.2【↓】	38.4(5)
7	観光施設と誘客PR	36.5【↑】	32.7(9)
8	地震・災害に対する安心感	33.2【↓】	38.8(4)
9	公園・緑地など憩いの場	30.3【↑】	29.3(12)
10	JR中央線の便利さ	29.6【↓】	33.7(8)
10	工業の振興対策	29.6【→】	29.6(11)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	69.6【↑】	64.9(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	65.7【↑】	64.6(2)
3	ごみ収集と処理サービス	63.6【↑】	59.2(5)
4	健康診断・相談、保健予防	63.2【↑】	59.5(4)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	60.7【↑】	53.1(7)
6	買い物の便利さ	58.2【↓】	59.9(3)
7	消防体制(署の配置など)	56.0【↑】	52.7(9)
8	防犯・治安などの安心感	55.8【↑】	54.1(6)
8	魅力ある働く場の確保	55.8【↑】	47.2(18)
10	地震・災害に対する安心感	55.0【↑】	52.7(8)

②満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：長島町）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「医療機関（病院・診療所）」「公園・緑地など憩いの場」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」（前年8位）「まち並み・景観の保全と整備」（前年10位）が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「JR中央線の便利さ」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「工業の振興対策」（前年8位）「林業(里山・山林)保全と振興」（前年9位）「農業の振興対策」（前年10位）が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、「買い物の便利さ」を除く9項目で重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「受付・窓口などでの市職員の対応」「消防体制(署の配置など)」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「生活支援・介護など高齢者福祉」（前年7位）「保育サービス・子育て支援」（前年10位）が今回は入りませんでした。

表6-9 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：長島町）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	50.7【↑】	49.4（2）
2	買い物の便利さ	49.0【↓】	52.4（1）
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	44.4【↑】	39.4（6）
3	図書館(室)の設備と蔵書数	44.4【↓】	47.6（4）
5	受付・窓口などでの市職員の対応	36.9【↑】	34.6（7）
6	上水道・簡易水道の整備	34.4【↓】	48.1（3）
7	広報による市情報の提供と公開	33.2【↑】	32.9（9）
8	健康診断・相談、保健予防	32.8【↓】	45.1（5）
9	医療機関(病院・診療所)	29.0【↑】	23.8（15）
10	公園・緑地など憩いの場	28.6【↑】	27.7（12）

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	商店街のにぎわい	51.4【↑】	49.8（2）
2	魅力ある働く場の確保	49.0【↓】	50.3（1）
3	段差や道幅など歩道の安全性	43.1【↑】	36.8（4）
4	バスの便利さ	39.5【↑】	33.8（7）
5	医療機関(病院・診療所)	37.3【↑】	36.4（5）
5	地震・災害に対する安心感	37.3【↑】	37.2（3）
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	34.4【↑】	28.5（12）
7	観光施設と誘客PR	34.4【↓】	34.7（6）
9	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	31.5【↑】	27.2（13）
10	JR中央線の便利さ	28.2【↓】	28.6（11）

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	64.8【↑】	62.3（1）
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	62.2【↑】	60.1（2）
3	買い物の便利さ	56.8【↓】	57.2（3）
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	56.5【↑】	51.5（6）
5	健康診断・相談、保健予防	56.4【↑】	54.5（4）
5	ごみ収集と処理サービス	56.4【↑】	52.8（5）
7	防犯・治安などの安心感	51.9【↑】	48.9（9）
8	受付・窓口などでの市職員の対応	51.1【↑】	43.7（17）
9	地震・災害に対する安心感	50.5【↑】	49.4（8）
10	消防体制(署の配置など)	49.4【↑】	46.3（13）

③満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：東野）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「生活支援・介護など高齢者福祉」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「消防体制(署の配置など)」(前年10位)が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、「魅力ある働く場の確保」を除く9項目で不満足度が高まっています。前回10項目より下位だった「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」「JR中央線の便利さ」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「農業の振興対策」(前年2位)「工業の振興対策」(前年9位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、「上水道・簡易水道の整備」を除く9項目で重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「生活支援・介護など高齢者福祉」「保育サービス・子育て支援」「地震・災害に対する安心感」「健全な財政運営」「防犯・治安などの安心感」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」(前年5位)「ごみ減量化と資源リサイクル化」(前年6位)「受付・窓口などでの市職員の対応」(前年7位)「消防体制(署の配置など)」(前年8位)「小中学校における教育」(前年9位)が今回は入りませんでした。

表6-10 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：東野）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	上水道・簡易水道の整備	49.9【 ↓ 】	68.6 (2)
2	ごみ収集と処理サービス	45.7【 ↓ 】	70.6 (1)
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	43.5【 ↓ 】	58.8 (4)
3	買い物の便利さ	43.5【 ↓ 】	62.7 (3)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	34.8【 ↓ 】	41.2 (9)
6	健康診断・相談、保健予防	32.6【 ↓ 】	47.0 (7)
6	図書館(室)の設備と蔵書数	32.6【 ↓ 】	53.0 (5)
6	広報による市情報の提供と公開	32.6【 ↓ 】	43.2 (8)
9	受付・窓口などでの市職員の対応	30.4【 ↓ 】	52.9 (6)
10	生活支援・介護など高齢者福祉	28.3【 ↑ 】	25.5 (22)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	段差や道幅など歩道の安全性	50.0【 ↑ 】	31.4 (7)
1	魅力ある働く場の確保	50.0【 ↓ 】	56.9 (1)
3	バスの便利さ	43.4【 ↑ 】	35.3 (3)
4	商店街のにぎわい	41.3【 ↑ 】	35.3 (4)
5	地震・災害に対する安心感	39.1【 ↑ 】	31.4 (6)
6	観光施設と誘客PR	36.9【 ↑ 】	33.3 (5)
7	医療機関(病院・診療所)	34.8【 ↑ 】	27.4 (10)
7	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	34.8【 ↑ 】	15.7 (19)
9	JR中央線の便利さ	32.6【 ↑ 】	19.6 (15)
10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	30.5【 ↑ 】	29.4 (8)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	71.7【 ↑ 】	62.8 (1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	69.6【 ↑ 】	60.8 (4)
3	生活支援・介護など高齢者福祉	67.5【 ↑ 】	39.2 (27)
4	保育サービス・子育て支援	65.2【 ↑ 】	45.1 (16)
5	地震・災害に対する安心感	63.1【 ↑ 】	51.0 (11)
6	健康診断・相談、保健予防	63.0【 ↑ 】	51.0 (10)
6	ごみ収集と処理サービス	63.0【 ↑ 】	62.8 (2)
8	上水道・簡易水道の整備	60.9【 ↓ 】	62.7 (3)
8	健全な財政運営	60.9【 ↑ 】	45.1 (20)
10	防犯・治安などの安心感	58.8【 ↑ 】	47.0 (15)

④満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：三郷町）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「情報通信環境の整備」「医療機関(病院・診療所)」「まち並み・景観の保全と整備」「買い物の便利さ」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「し尿収集と処理サービス」(前年8位)「公園・緑地など憩いの場」(前年9位)「幹線道路(国道・県道など)の整備」(前年10位)が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、10項目すべてで不満足が高まっています。前回10項目より下位だった「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」「農業の振興対策」「新しい分野の起業家支援」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「JR中央線の便利さ」(前年8位)「工業の振興対策」(前年9位)「地震・災害に対する安心感」(前年10位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、前回10項目より下位だった「上水道・簡易水道の整備」「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「防犯・治安などの安心感」(前年4位)「地震・災害に対する安心感」(前年6位)が今回は入りませんでした。

表6-11 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：三郷町）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	44.1【 ↓ 】	51.3 (1)
2	ごみ減量化と資源リサイクル化	39.7【 ↑ 】	29.8 (7)
3	図書館(室)の設備と蔵書数	35.3【 ↑ 】	32.4 (5)
4	健康診断・相談、保健予防	33.8【 ↓ 】	39.2 (2)
5	受付・窓口などでの市職員の対応	28.0【 ↓ 】	32.4 (6)
6	情報通信環境の整備	27.9【 ↑ 】	14.9 (25)
7	医療機関(病院・診療所)	26.5【 ↑ 】	17.6 (18)
7	まち並み・景観の保全と整備	26.5【 ↑ 】	24.4 (12)
7	上水道・簡易水道の整備	26.5【 ↓ 】	32.5 (4)
10	買い物の便利さ	26.4【 ↑ 】	25.7 (11)
10	広報による市情報の提供と公開	26.4【 ↓ 】	33.8 (3)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	バスの便利さ	60.3【 ↑ 】	56.7 (1)
2	魅力ある働く場の確保	54.4【 ↑ 】	44.6 (2)
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	45.6【 ↑ 】	28.4 (13)
4	商店街のにぎわい	44.1【 ↑ 】	41.9 (4)
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	44.1【 ↑ 】	41.9 (3)
6	農業の振興対策	42.7【 ↑ 】	28.4 (14)
7	段差や道幅など歩道の安全性	41.2【 ↑ 】	39.2 (5)
7	買い物の便利さ	41.2【 ↑ 】	39.2 (6)
9	医療機関(病院・診療所)	41.1【 ↑ 】	37.8 (7)
10	新しい分野の起業家支援	39.7【 ↑ 】	18.9 (26)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	55.9【 ↓ 】	63.5 (1)
2	上水道・簡易水道の整備	52.9【 ↑ 】	45.9 (15)
3	健康診断・相談、保健予防	51.5【 ↑ 】	48.7 (9)
3	生活支援・介護など高齢者福祉	51.5【 ↑ 】	51.3 (7)
3	ごみ収集と処理サービス	51.5【 ↓ 】	59.4 (2)
6	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	51.4【 ↓ 】	54.1 (5)
7	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	48.5【 ↑ 】	44.6 (16)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	48.5【 ↓ 】	50.0 (8)
7	魅力ある働く場の確保	48.5【 ↓ 】	48.7 (10)
10	ごみ減量化と資源リサイクル化	47.1【 ↓ 】	58.1 (3)

⑤満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：武並町）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「医療機関(病院・診療所)」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「保育サービス・子育て支援」（前年10位）が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「防犯・治安などの安心感」「農業の振興対策」「観光施設と誘客PR」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「医療機関(病院・診療所)」(前年3位)「幹線道路(国道・県道など)の整備」(前年7位)「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」(前年9位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、10項目すべてで重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「JR中央線の便利さ」「消防体制(署の配置など)」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「保育サービス・子育て支援」（前年3位)「生活支援・介護など高齢者福祉」(前年9位)「地震・災害に対する安心感」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-12 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：武並町）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	上水道・簡易水道の整備	50.6【↓】	50.7(1)
2	ごみ収集と処理サービス	46.8【↓】	50.7(2)
3	図書館(室)の設備と蔵書数	42.9【↑】	33.8(6)
4	受付・窓口などでの市職員の対応	39.0【↑】	24.7(9)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	36.4【↑】	35.1(5)
6	広報による市情報の提供と公開	35.1【↑】	24.7(8)
6	健康診断・相談、保健予防	35.1【↓】	44.2(3)
8	医療機関(病院・診療所)	33.8【↑】	16.9(19)
8	ごみ減量化と資源リサイクル化	33.8【↓】	39.0(4)
8	JR中央線の便利さ	33.8【↑】	26.0(7)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	魅力ある働く場の確保	57.1【↑】	48.1(2)
2	買い物の便利さ	54.5【↓】	59.8(1)
3	商店街のにぎわい	51.9【↑】	44.2(5)
4	バスの便利さ	49.4【↑】	42.9(6)
5	地震・災害に対する安心感	37.7【↑】	35.1(10)
6	段差や道幅など歩道の安全性	35.1【↓】	44.2(4)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	32.5【↓】	37.7(8)
8	防犯・治安などの安心感	31.2【↑】	27.3(12)
8	農業の振興対策	31.2【↑】	26.0(13)
8	観光施設と誘客PR	31.2【↑】	26.0(14)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	買い物の便利さ	58.4【↑】	49.4(5)
1	医療機関(病院・診療所)	58.4【↑】	54.6(1)
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	57.1【↑】	54.6(2)
4	防犯・治安などの安心感	55.8【↑】	45.5(6)
4	JR中央線の便利さ	55.8【↑】	37.7(23)
6	健康診断・相談、保健予防	54.5【↑】	49.4(4)
7	消防体制(署の配置など)	53.2【↑】	37.7(20)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	53.2【↑】	42.9(11)
9	ごみ収集と処理サービス	52.0【↑】	45.5(7)
10	魅力ある働く場の確保	51.9【↑】	44.2(8)

⑥満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：笠置町）

満足度の高い施策では、「図書館(室)の設備と蔵書数」を除く9項目で満足度が高まっています。前回10項目より下位だった「広報による市情報の提供と公開」「防犯・治安などの安心感」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「保育サービス・子育て支援」(前年8位)「医療機関(病院・診療所)」(前年10位)が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、「バスの便利さ」を除く9項目で不満足度が高まっています。前回10項目より下位だった「医療機関(病院・診療所)」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「段差や道幅など歩道の安全性」(前年7位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、10項目すべてで重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「防犯・治安などの安心感」「山林や河川などの自然環境の保全」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「魅力ある働く場の確保」(前年4位)「買い物物の便利さ」(前年6位)「小中学校における教育」(前年8位)が今回は入りませんでした。

表6-13 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：笠置町）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	71.1【↑】	43.4(3)
2	上水道・簡易水道の整備	53.4【↑】	47.2(1)
3	健康診断・相談、保健予防	53.3【↑】	43.4(2)
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	49.0【↑】	33.9(4)
5	し尿収集と処理サービス	44.4【↑】	26.4(9)
6	広報による市情報の提供と公開	42.2【↑】	20.8(16)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	40.0【↑】	33.9(5)
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	33.3【↑】	32.1(6)
9	図書館(室)の設備と蔵書数	31.1【↓】	32.1(7)
10	防犯・治安などの安心感	28.9【↑】	18.9(19)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	魅力ある働く場の確保	60.0【↑】	37.7(4)
2	買い物物の便利さ	53.4【↑】	39.6(2)
3	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	51.2【↑】	37.7(3)
4	バスの便利さ	51.1【↓】	58.5(1)
5	地震・災害に対する安心感	48.9【↑】	35.8(5)
6	医療機関(病院・診療所)	44.5【↑】	28.3(11)
7	農業の振興対策	40.0【↑】	30.2(9)
7	林業(里山・山林)保全と振興	40.0【↑】	30.2(10)
9	幹線道路(国道・県道など)の整備	37.8【↑】	33.9(6)
10	商店街のにぎわい	37.7【↑】	32.0(8)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	健康診断・相談、保健予防	64.5【↑】	43.4(7)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	60.1【↑】	37.7(15)
3	医療機関(病院・診療所)	57.8【↑】	45.3(5)
3	ごみ収集と処理サービス	57.8【↑】	49.1(2)
5	上水道・簡易水道の整備	51.2【↑】	49.1(1)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	51.2【↑】	47.2(3)
7	防犯・治安などの安心感	51.1【↑】	37.8(13)
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	48.9【↑】	39.6(10)
8	保育サービス・子育て支援	48.9【↑】	39.7(9)
8	山林や河川などの自然環境の保全	48.9【↑】	32.0(29)

⑦満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：中野方町）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「受付・窓口などでの市職員の対応」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「保育サービス・子育て支援」（前年7位）が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「段差や道幅など歩道の安全性」「林業(里山・山林)保全と振興」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「観光施設と誘客PR」が、今回は10位以内に入り、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」（前年7位）「移住・定住の支援対策」（前年9位）「行政改革の推進」（前年10位）が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、前回10項目より下位だった「健康診断・相談、保健予防」「保育サービス・子育て支援」「段差や道幅など歩道の安全性」「買い物の便利さ」「受付・窓口などでの市職員の対応」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「ごみ減量化と資源リサイクル化」（前年3位）「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」（前年7位）「JR中央線の便利さ」（前年8位）「生活支援・介護など高齢者福祉」（前年9位）「防犯・治安などの安心感」（前年10位）が今回は入りませんでした。

表6-14 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：中野方町）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	58.6【↑】	52.7（1）
2	上水道・簡易水道の整備	51.8【↑】	50.9（3）
3	健康診断・相談、保健予防	43.1【↓】	50.9（2）
4	地域の助け合いによる福祉活動	41.4【↑】	40.0（6）
5	医療機関(病院・診療所)	39.6【↓】	43.6（5）
5	し尿収集と処理サービス	39.6【↓】	45.4（4）
7	生活支援・介護など高齢者福祉	36.2【↓】	36.4（8）
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	36.2【↓】	36.4（9）
9	受付・窓口などでの市職員の対応	31.1【↑】	27.3（16）
10	学校・地域・家庭の連携	31.0【↓】	36.3（10）

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	魅力ある働く場の確保	58.6【↑】	52.8（1）
2	商店街のにぎわい	41.3【↑】	40.0（4）
3	段差や道幅など歩道の安全性	39.6【↑】	32.7（11）
3	工業の振興対策	39.6【↑】	34.6（8）
5	地震・災害に対する安心感	37.9【↑】	36.4（5）
5	バスの便利さ	37.9【↓】	40.0（3）
5	買い物の便利さ	37.9【↓】	41.8（2）
5	林業(里山・山林)保全と振興	37.9【↑】	25.5（19）
9	消防体制(署の配置など)	34.5【↓】	36.4（6）
10	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	34.4【↑】	21.8（22）
10	観光施設と誘客PR	34.4【↑】	27.3（15）

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	63.8【↓】	67.3（1）
2	健康診断・相談、保健予防	62.1【↑】	54.5（13）
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	58.6【↓】	67.3（2）
4	保育サービス・子育て支援	51.8【↑】	47.3（24）
5	消防体制(署の配置など)	50.0【↓】	61.8（5）
5	ごみ収集と処理サービス	50.0【↓】	63.7（4）
5	段差や道幅など歩道の安全性	50.0【↓】	54.6（12）
8	買い物の便利さ	48.3【↓】	52.7（17）
8	上水道・簡易水道の整備	48.3【↓】	61.8（6）
8	受付・窓口などでの市職員の対応	48.3【↓】	49.1（23）

⑧満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：飯地町）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「医療機関(病院・診療所)」「生活支援・介護など高齢者福祉」が今回は10位以内に入り、「大気汚染・騒音・水質など公害対策」(前年8位)が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「商店街のにぎわい」「観光施設と誘客PR」「農業の振興対策」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「工業の振興対策」(前年6位)「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」(前年7位)「地震・災害に対する安心感」(前年10位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、前回10項目より下位だった「地域の助け合いによる福祉活動」「幹線道路(国道・県道など)の整備」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「受付・窓口などでの市職員の対応」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「防犯・治安などの安心感」(前年4位)「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」(前年5位)「保育サービス・子育て支援」(前年9位)「健康診断・相談、保健予防」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-15 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：飯地町）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	52.4【 ↓ 】	57.1 (1)
2	上水道・簡易水道の整備	52.3【 ↑ 】	42.9 (3)
3	健康診断・相談、保健予防	45.2【 ↑ 】	34.7 (6)
3	医療機関(病院・診療所)	45.2【 ↑ 】	24.5 (11)
5	受付・窓口などでの市職員の対応	42.9【 ↑ 】	34.7 (7)
6	し尿収集と処理サービス	40.5【 ↑ 】	38.8 (5)
7	地域の助け合いによる福祉活動	38.1【 ↑ 】	28.6 (10)
8	ごみ減量化と資源リサイクル化	35.7【 ↓ 】	44.9 (2)
8	生活支援・介護など高齢者福祉	35.7【 ↑ 】	20.4 (14)
10	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	31.0【 ↓ 】	42.8 (4)
10	広報による市情報の提供と公開	31.0【 ↑ 】	30.6 (9)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	幹線道路(国道・県道など)の整備	66.7【 ↑ 】	65.3 (1)
2	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	59.6【 ↑ 】	57.2 (2)
3	林業(里山・山林)保全と振興	57.2【 ↑ 】	42.9 (9)
4	魅力ある働く場の確保	57.1【 ↑ 】	53.0 (5)
5	バスの便利さ	54.7【 ↓ 】	55.1 (4)
6	商店街のにぎわい	50.0【 ↑ 】	38.7 (14)
6	観光施設と誘客PR	50.0【 ↑ 】	40.8 (12)
8	買い物の便利さ	49.9【 ↓ 】	57.1 (3)
9	段差や道幅など歩道の安全性	45.3【 ↓ 】	51.0 (8)
10	農業の振興対策	45.2【 ↑ 】	36.7 (16)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	消防体制(署の配置など)	57.1【 ↑ 】	53.1 (6)
2	医療機関(病院・診療所)	54.7【 ↓ 】	57.2 (2)
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	50.1【 ↓ 】	57.2 (3)
4	上水道・簡易水道の整備	50.0【 ↓ 】	53.1 (7)
5	ごみ収集と処理サービス	47.6【 ↓ 】	61.2 (1)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	47.6【 ↓ 】	53.1 (8)
5	地域の助け合いによる福祉活動	47.6【 ↑ 】	44.9 (16)
8	幹線道路(国道・県道など)の整備	45.3【 ↓ 】	49.0 (11)
8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	45.3【 ↓ 】	46.9 (13)
10	受付・窓口などでの市職員の対応	45.2【 ↓ 】	46.9 (15)

◎満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：岩村町）

満足度の高い施策では、「健康診断・相談、保健予防」を除く9項目で満足度が高まっています。前回10項目より下位だった「生活支援・介護など高齢者福祉」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「医療機関(病院・診療所)」(前年9位)が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、「商店街のにぎわい」「地震・災害に対する安心感」を除く8項目で不満足度が高まっています。前回10項目より下位だった「工業の振興対策」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「公園・緑地など憩いの場」(前年10位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、10項目すべてで重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「防犯・治安などの安心感」「生活支援・介護など高齢者福祉」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」(前年7位)「消防体制(署の配置など)」(前年9位)「地震・災害に対する安心感」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-16 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：岩村町）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	上水道・簡易水道の整備	60.1【↑】	51.0(1)
2	買い物の便利さ	54.9【↑】	48.2(3)
3	ごみ収集と処理サービス	50.4【↑】	49.0(2)
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	49.7【↑】	42.7(4)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	42.8【↑】	33.8(6)
6	まち並み・景観の保全と整備	38.3【↑】	30.3(8)
7	消防体制(署の配置など)	35.4【↑】	32.4(7)
8	防犯・治安などの安心感	33.9【↑】	25.5(10)
8	健康診断・相談、保健予防	33.9【↓】	36.6(5)
10	生活支援・介護など高齢者福祉	32.3【↑】	24.1(12)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	商店街のにぎわい	51.1【↓】	53.1(1)
2	魅力ある働く場の確保	47.3【↑】	42.8(2)
3	医療機関(病院・診療所)	44.3【↑】	37.2(4)
4	段差や道幅など歩道の安全性	43.6【↑】	36.6(5)
5	バスの便利さ	40.6【↑】	40.0(3)
6	明知鉄道の便利さ	39.1【↑】	35.8(8)
7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	38.4【↑】	35.8(7)
8	工業の振興対策	37.6【↑】	26.9(13)
9	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	36.8【↑】	33.8(9)
10	地震・災害に対する安心感	35.4【↓】	35.9(6)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	60.9【↑】	53.1(2)
2	医療機関(病院・診療所)	60.1【↑】	55.8(1)
3	健康診断・相談、保健予防	57.1【↑】	49.0(6)
4	買い物の便利さ	56.4【↑】	52.4(4)
5	上水道・簡易水道の整備	54.9【↑】	52.4(3)
6	ごみ収集と処理サービス	51.9【↑】	51.0(5)
7	防犯・治安などの安心感	51.8【↑】	40.0(14)
8	生活支援・介護など高齢者福祉	51.2【↑】	41.4(11)
9	ごみ減量化と資源リサイクル化	51.1【↑】	44.2(8)
9	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	51.1【↑】	37.2(18)

⑩満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：山岡町）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」「受付・窓口などでの市職員の対応」「幹線道路(国道・県道など)の整備」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「医療機関(病院・診療所)」(前年6位)「広報による市情報の提供と公開」(前年8位)「防犯・治安などの安心感」(前年10位)が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、10項目すべてで不満足が高まっています。前回10項目より下位だった「JR中央線の便利さ」「新しい分野の起業家支援」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「林業(里山・山林)保全と振興」(前年7位)「観光施設と誘客PR」(前年9位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、10項目すべてで重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「魅力ある働く場の確保」「上水道・簡易水道の整備」「地震・災害に対する安心感」「幹線道路(国道・県道など)の整備」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「生活支援・介護など高齢者福祉」(前年5位)「買い物の便利さ」(前年7位)「地域の助け合いによる福祉活動」(前年9位)「保育サービス・子育て支援」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-17 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：山岡町）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	48.7【 ↓ 】	50.4 (1)
2	上水道・簡易水道の整備	47.7【 ↑ 】	32.5 (3)
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	32.8【 ↑ 】	26.4 (11)
4	健康診断・相談、保健予防	32.7【 ↓ 】	41.8 (2)
4	し尿収集と処理サービス	32.7【 ↑ 】	31.8 (4)
6	受付・窓口などでの市職員の対応	31.0【 ↑ 】	26.3 (12)
7	地域の助け合いによる福祉活動	30.1【 ↑ 】	26.4 (9)
8	ごみ減量化と資源リサイクル化	29.2【 ↓ 】	31.1 (5)
9	生活支援・介護など高齢者福祉	27.5【 ↓ 】	28.0 (7)
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	26.6【 ↑ 】	16.3 (19)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	魅力ある働く場の確保	65.5【 ↑ 】	62.1 (1)
2	商店街のにぎわい	56.6【 ↑ 】	54.3 (2)
3	バスの便利さ	53.1【 ↑ 】	43.4 (4)
4	JR中央線の便利さ	52.2【 ↑ 】	31.1 (14)
4	買い物の便利さ	52.2【 ↑ 】	49.6 (3)
6	工業の振興対策	50.4【 ↑ 】	40.4 (5)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	45.1【 ↑ 】	40.3 (6)
8	段差や道幅など歩道の安全性	44.3【 ↑ 】	35.6 (10)
9	新しい分野の起業家支援	41.6【 ↑ 】	27.2 (20)
10	農業の振興対策	41.6【 ↑ 】	38.0 (8)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	58.4【 ↑ 】	51.2 (2)
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	58.4【 ↑ 】	49.6 (3)
3	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	55.8【 ↑ 】	41.9 (8)
4	健康診断・相談、保健予防	53.9【 ↑ 】	52.8 (1)
5	魅力ある働く場の確保	53.1【 ↑ 】	40.3 (12)
6	防犯・治安などの安心感	52.2【 ↑ 】	43.4 (6)
6	上水道・簡易水道の整備	52.2【 ↑ 】	38.8 (14)
6	ごみ収集と処理サービス	52.2【 ↑ 】	45.0 (4)
9	地震・災害に対する安心感	51.3【 ↑ 】	40.4 (11)
9	幹線道路(国道・県道など)の整備	51.3【 ↑ 】	36.5 (18)

⑩満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：明智町）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「消防体制(署の配置など)」「防犯・治安などの安心感」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「生活支援・介護など高齢者福祉」（前年9位）「医療機関(病院・診療所）」（前年10位）が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、10項目すべてで不満足度が高まっています。前回10項目より下位だった「買い物の便利さ」「JR中央線の便利さ」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「地震・災害に対する安心感」（前年2位）「観光施設と誘客PR」（前年8位）が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、「ゴミ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」を除く8項目で重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「魅力ある働く場の確保」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「保育サービス・子育て支援」（前年7位）「ごみ減量化と資源リサイクル化」（前年9位）「地震・災害に対する安心感」（前年10位）が今回は入りませんでした。

表6-18 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：明智町）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	上水道・簡易水道の整備	50.6【 ↓ 】	50.8 (2)
2	ゴミ収集と処理サービス	44.4【 ↓ 】	51.9 (1)
3	健康診断・相談、保健予防	36.5【 ↓ 】	36.8 (3)
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	36.0【 ↑ 】	34.6 (6)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	29.8【 ↓ 】	35.6 (4)
6	し尿収集と処理サービス	28.1【 ↓ 】	35.1 (5)
7	買い物の便利さ	27.0【 ↓ 】	34.0 (7)
8	消防体制(署の配置など)	25.9【 ↑ 】	24.9 (11)
8	受付・窓口などでの市職員の対応	25.9【 ↓ 】	29.8 (8)
10	防犯・治安などの安心感	22.5【 ↓ 】	23.8 (14)

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	商店街のにぎわい	64.6【 ↑ 】	54.6 (1)
2	魅力ある働く場の確保	57.9【 ↑ 】	38.4 (4)
3	段差や道幅など歩道の安全性	50.1【 ↑ 】	40.0 (3)
4	医療機関(病院・診療所)	46.7【 ↑ 】	28.6 (10)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	46.0【 ↑ 】	34.0 (5)
6	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	43.2【 ↑ 】	30.3 (9)
7	幹線道路(国道・県道など)の整備	42.2【 ↑ 】	32.9 (6)
8	買い物の便利さ	41.0【 ↑ 】	28.1 (13)
9	バスの便利さ	39.3【 ↑ 】	32.5 (7)
10	JR中央線の便利さ	37.6【 ↑ 】	28.1 (12)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	58.4【 ↑ 】	53.5 (1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	57.9【 ↑ 】	49.2 (4)
3	魅力ある働く場の確保	52.2【 ↑ 】	41.1 (12)
4	健康診断・相談、保健予防	51.7【 ↑ 】	50.3 (3)
4	買い物の便利さ	51.7【 ↑ 】	44.9 (8)
6	生活支援・介護など高齢者福祉	51.2【 ↑ 】	48.1 (5)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	49.3【 ↑ 】	40.0 (13)
8	ゴミ収集と処理サービス	48.3【 ↓ 】	51.8 (2)
9	段差や道幅など歩道の安全性	46.1【 ↑ 】	37.3 (19)
10	上水道・簡易水道の整備	45.5【 ↓ 】	47.0 (6)

⑫満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：串原）

満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「学校・地域・家庭の連携」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「生活支援・介護など高齢者福祉」（前年10位）が今回は入りませんでした。

不満足度の高い施策では、前回10項目より下位だった「バスの便利さ」「商店街のにぎわい」「林業(里山・山林)保全と振興」「山林や河川などの自然環境の保全」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」（前年5位）「地震・災害に対する安心感」（前年6位）「医療機関(病院・診療所)」（前年7位）「新しい分野の起業家支援」（前年10位）が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、「ゴミ収集と処理サービス」「買い物の便利さ」以外の項目で重要度が高まっています。前回10項目より下位だった「地震・災害に対する安心感」「魅力ある働く場の確保」「小中学校における教育」「ごみ減量化と資源リサイクル化」「段差や道幅など歩道の安全性」「買い物の便利さ」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「上水道・簡易水道の整備」（前年1位）「防犯・治安などの安心感」（前年5位）「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」（前年6位）「健康診断・相談、保健予防」（前年8位）「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」（前年9位）が今回は入りませんでした。

表6-19 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：串原）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	51.9【↑】	50.0（3）
2	上水道・簡易水道の整備	42.3【↓】	54.0（1）
3	健康診断・相談、保健予防	40.4【↓】	42.0（4）
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	40.4【↓】	50.0（2）
5	地域の助け合いによる福祉活動	38.4【↑】	30.0（9）
5	し尿収集と処理サービス	38.4【↑】	34.0（6）
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	32.7【↓】	38.0（5）
7	受付・窓口などでの市職員の対応	32.7【↑】	32.0（8）
7	学校・地域・家庭の連携	30.7【↑】	14.0（21）
10	広報による市情報の提供と公開	28.8【↓】	34.0（7）

順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	幹線道路(国道・県道など)の整備	50.0【↓】	64.0（1）
2	魅力ある働く場の確保	48.1【↓】	54.0（3）
3	バスの便利さ	42.3【↑】	30.0（15）
3	買い物の便利さ	42.3【↑】	38.0（9）
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	40.4【↓】	62.0（2）
6	段差や道幅など歩道の安全性	36.6【↓】	38.0（8）
7	工業の振興対策	36.5【↓】	46.0（4）
8	商店街のにぎわい	34.7【↑】	30.0（16）
9	林業(里山・山林)保全と振興	32.7【↑】	32.0（12）
10	山林や河川などの自然環境の保全	30.8【↑】	30.0（13）

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	幹線道路(国道・県道など)の整備	50.1【↑】	42.0（7）
2	医療機関(病院・診療所)	46.2【↑】	44.0（3）
3	地震・災害に対する安心感	46.2【↑】	30.0（21）
3	消防体制(署の配置など)	46.2【↑】	40.0（10）
3	魅力ある働く場の確保	46.2【↑】	36.0（13）
3	小中学校における教育	46.2【↑】	32.0（17）
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	46.1【↑】	46.0（2）
8	ごみ減量化と資源リサイクル化	40.4【↑】	32.0（16）
8	ごみ収集と処理サービス	40.4【↓】	44.0（4）
8	段差や道幅など歩道の安全性	40.4【↑】	28.0（24）
8	買い物の便利さ	40.4【↑】	40.0（11）

⑬満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：上矢作町）

満足度の高い施策では、「ごみ収集と処理サービス」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」「し尿収集と処理サービス」の5項目で満足度が高まっています。

不満足度の高い施策では、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「農業の振興対策」を除く8項目で不満足度が高まっています。前回10項目より下位だった「林業(里山・山林)保全と振興」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「市政への市民の意見の反映」(前年10位)が今回は入りませんでした。

重要度の高い施策では、前回10項目より下位だった「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「買い物の便利さ」「段差や道幅など歩道の安全性」が今回は10項目以内に入り、前回10項目以内に入っていた「ごみ減量化と資源リサイクル化」(前年5位)「地域の助け合いによる福祉活動」(前年10位)が今回は入りませんでした。

表6-20 満足度・不満足度・重要度の上位10項目（居住地別：上矢作町）

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	ごみ収集と処理サービス	68.2【↑】	57.2(2)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	65.1【↑】	62.4(1)
2	上水道・簡易水道の整備	65.1【↑】	55.9(4)
4	医療機関(病院・診療所)	55.6【↓】	55.9(3)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	52.4【↓】	53.3(5)
6	健康診断・相談、保健予防	44.4【↓】	45.5(6)
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	44.4【↑】	44.2(7)
8	し尿収集と処理サービス	41.3【↑】	35.1(10)
9	消防体制(署の配置など)	39.6【↓】	42.9(8)
10	生活支援・介護など高齢者福祉	33.3【↓】	39.0(9)

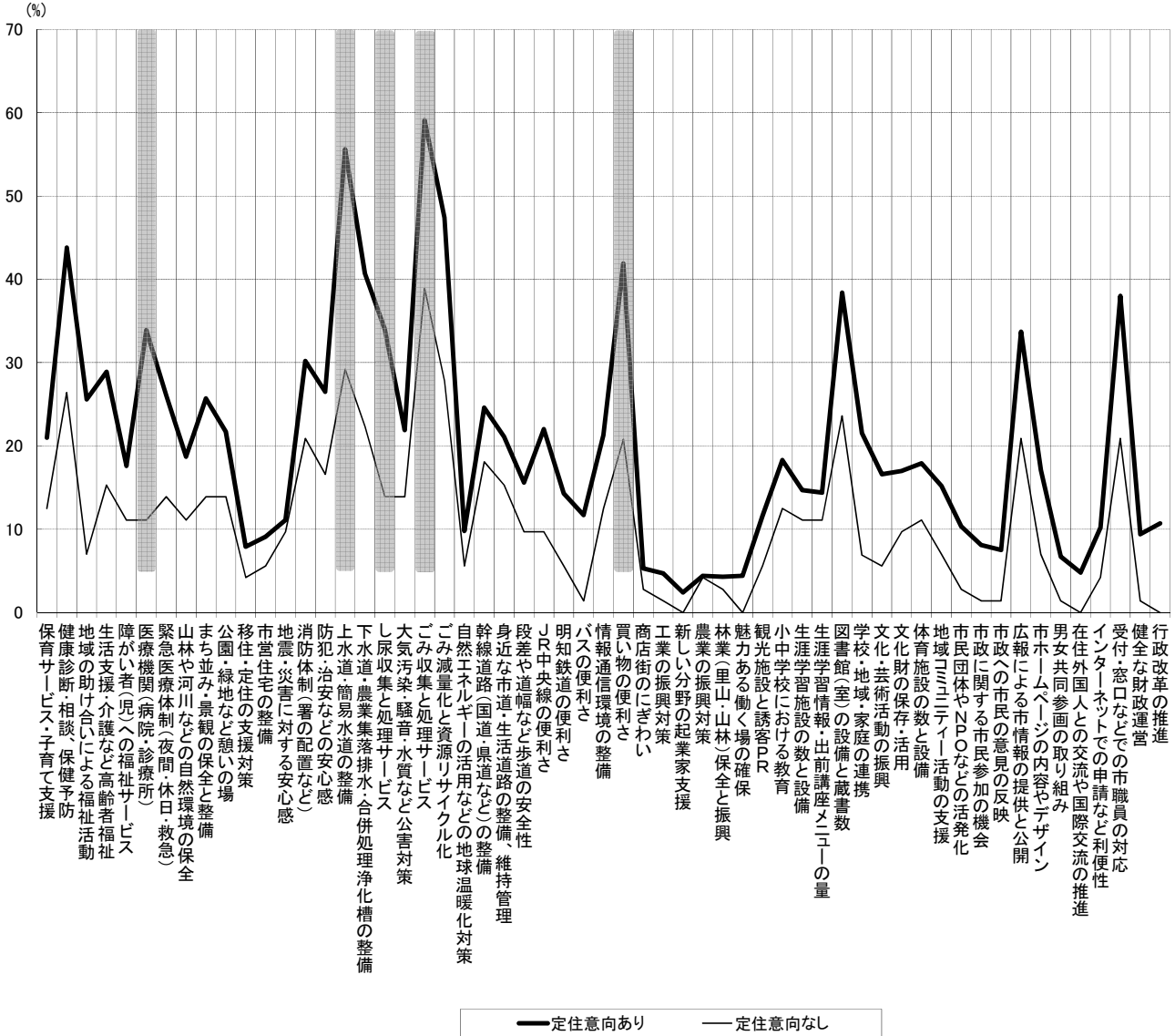
順位	不満足度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	商店街のにぎわい	66.6【↑】	61.1(1)
2	魅力ある働く場の確保	63.5【↑】	58.5(2)
3	買い物の便利さ	61.9【↑】	57.2(3)
4	バスの便利さ	57.1【↑】	49.4(5)
5	工業の振興対策	52.4【↑】	42.9(9)
6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	47.6【↓】	50.7(4)
6	段差や道幅など歩道の安全性	47.6【↑】	45.5(6)
8	幹線道路(国道・県道など)の整備	46.0【↑】	44.2(8)
9	農業の振興対策	42.9【↓】	45.5(7)
9	林業(里山・山林)保全と振興	42.9【↑】	37.7(12)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H23年度)
1	医療機関(病院・診療所)	63.5【↓】	63.7(2)
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	63.5【↓】	71.5(1)
3	健康診断・相談、保健予防	54.0【↑】	48.1(6)
4	上水道・簡易水道の整備	53.9【↑】	52.0(4)
5	消防体制(署の配置など)	52.4【↑】	48.1(8)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	52.4【↑】	48.1(9)
5	ごみ収集と処理サービス	52.4【↓】	55.9(3)
8	生活支援・介護など高齢者福祉	50.9【↑】	48.1(7)
9	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	49.2【↑】	41.6(14)
10	買い物の便利さ	46.1【↑】	44.2(11)
10	段差や道幅など歩道の安全性	46.1【↑】	32.5(29)

(4) 居住意向による「満足度」の違い

施策の満足度（「満足」と「やや満足」の合算）について、居住意向の有無による違いをみると、「医療機関(病院・診療所)」「上水道・簡易水道の整備」「し尿収集と処理サービス」「ごみ収集と処理サービス」「買い物の便利さ」などで差が大きくなっています。

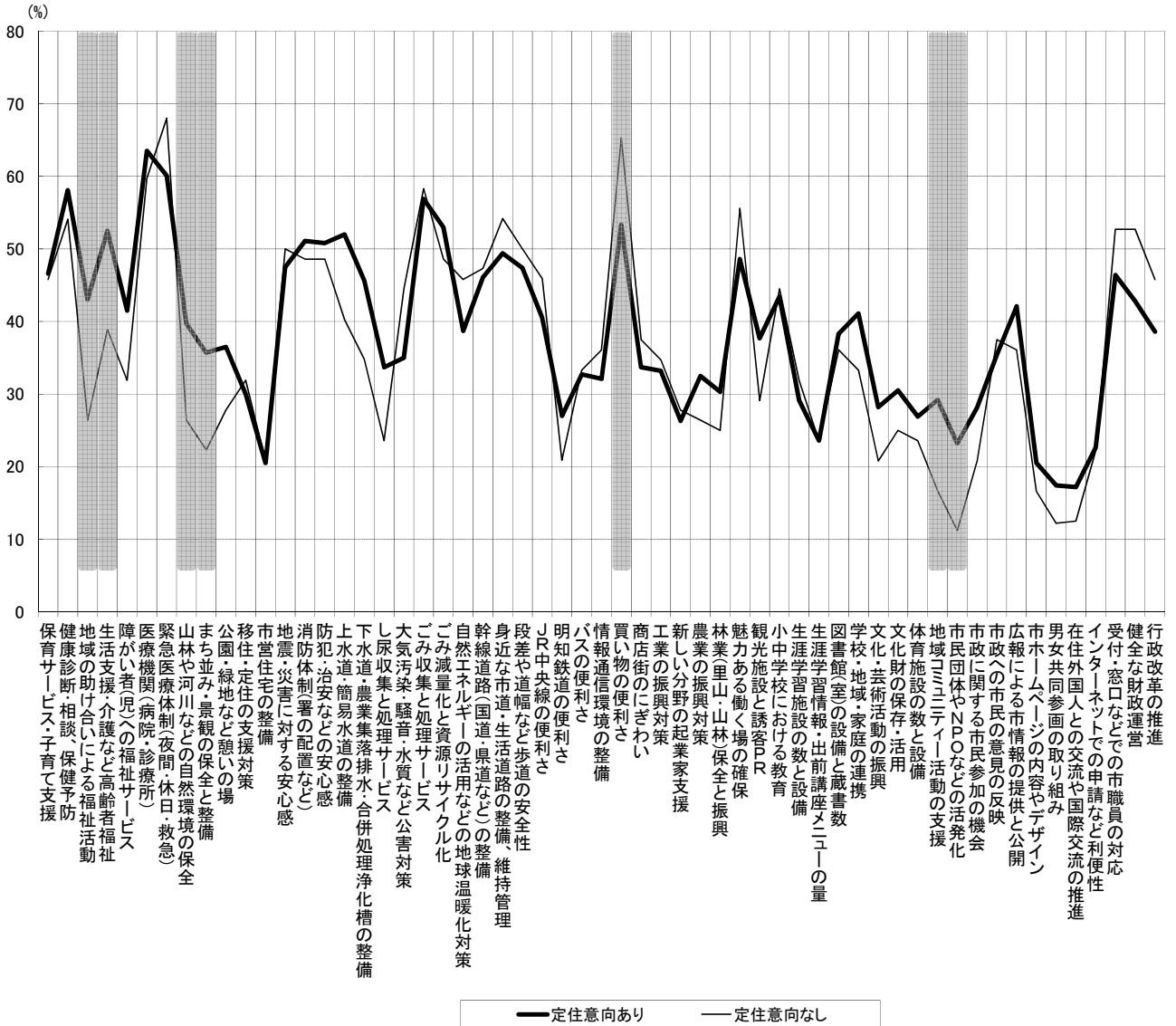
図6-1 居住意向別にみた満足度



(5) 居留意向による「重要度」の違い

施策の重要度（「高い」と「やや高い」の合算）について、居留意向の有無による違いをみると、「地域の助け合いによる福祉活動」「生活支援・介護など高齢者福祉」「山林や河川などの自然環境の保全」「まち並み・景観の保全と整備」「買い物の便利さ」「地域コミュニティ活動の支援」「市民団体やNPOなどの活発化」などで差が大きくなっています。

図6-2 居留意向別にみた重要度



(6) 全施策マトリックス図

全57施策について、満足度、重要度ともに5段階評価での回答を得ました。下記の方法で回答を点数化し、施策の評価を行います。

〔評価手順〕

ア. 5段階の評価点を次表のように決めます。

①満足度	
満足	+2点
やや満足	+1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点
回答なし	0点

②重要度	
高い	+2点
やや高い	+1点
どちらともいえない	0点
やや低い	-1点
低い	-2点
回答なし	0点

イ. 評価指数を次の式により算出します。

(満足度)

評価指数 = (2点) × 「満足」の回答者数の割合 + (1点) × 「やや満足」の回答者数の割合 + (-1点) × 「やや不満」の回答者数の割合 + (-2点) × 「不満」の回答者数の割合

(重要度)

評価指数 = (2点) × 「高い」の回答者数の割合 + (1点) × 「やや高い」の回答者数の割合 + (-1点) × 「やや低い」の回答者数の割合 + (-2点) × 「低い」の回答者数の割合

ウ. 全57施策の満足度及び重要度を指数化し、分布させた2軸のマトリックスを用います。

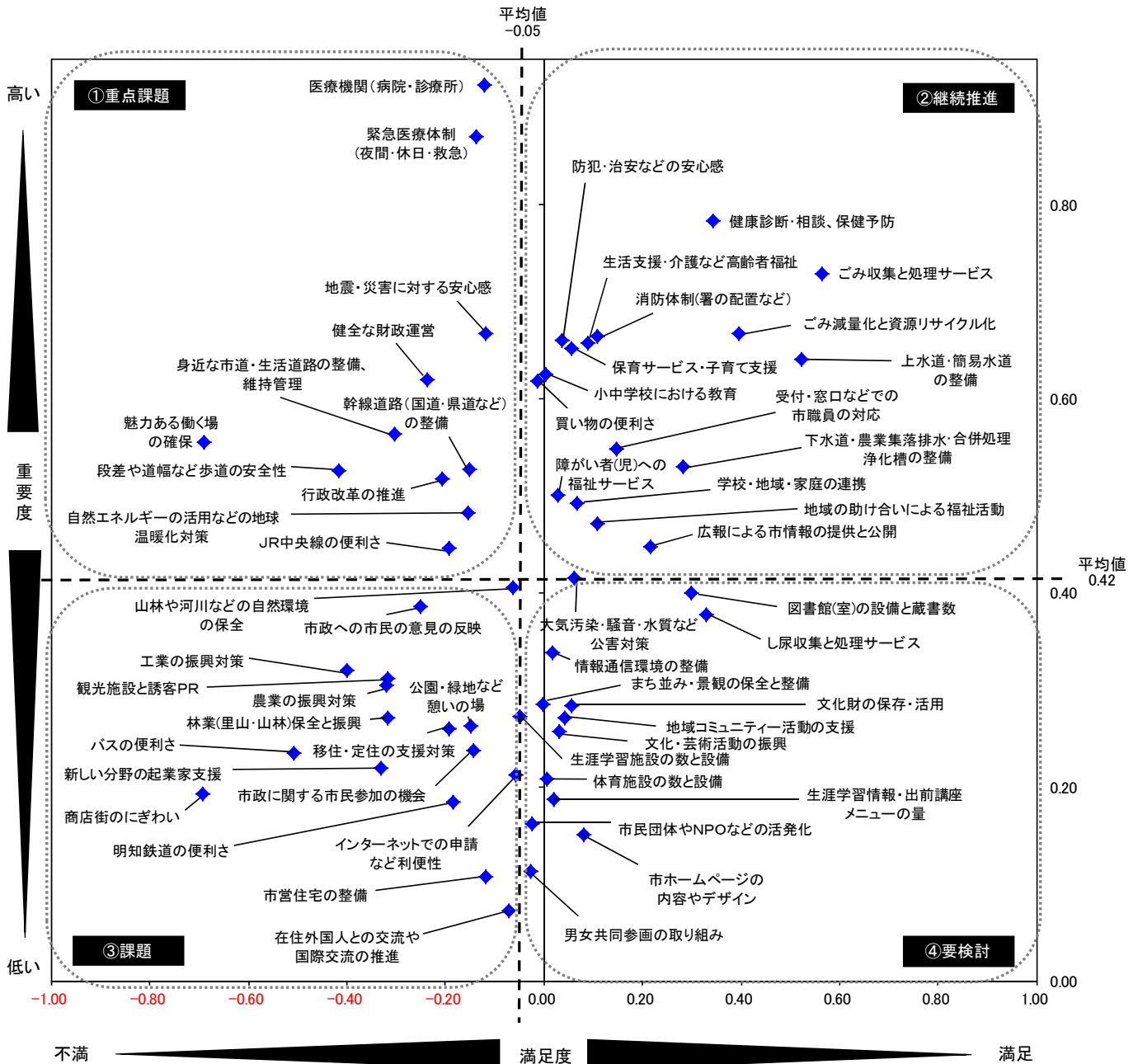
満足度指数及び重要度指数の平均値で区分される「①重点課題」「②継続推進」「③課題」「④要検討」の4つの領域のどこに分布しているかで、各施策の評価を行います。

区分	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
①重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり、重点的に推進する
②継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する
③課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であり、必要性を検証し施策を推進する
④要検討	平均以上	平均未満	一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する

全57施策の満足度指数の平均は「-0.05」、重要度指数の平均は「0.42」です。

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、健康福祉分野の「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」、生活環境分野の「地震・災害に対する安心感」、都市・交通基盤分野の「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、産業振興分野の「魅力ある働く場の確保」、市民参画分野の「健全な財政運営」など11項目です。このうち「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」を除く9項目は前回調査結果に引き続き、満足度の低い『重点課題』に該当しています。

図6-3 全57施策マトリックス図



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	11	16	16	14

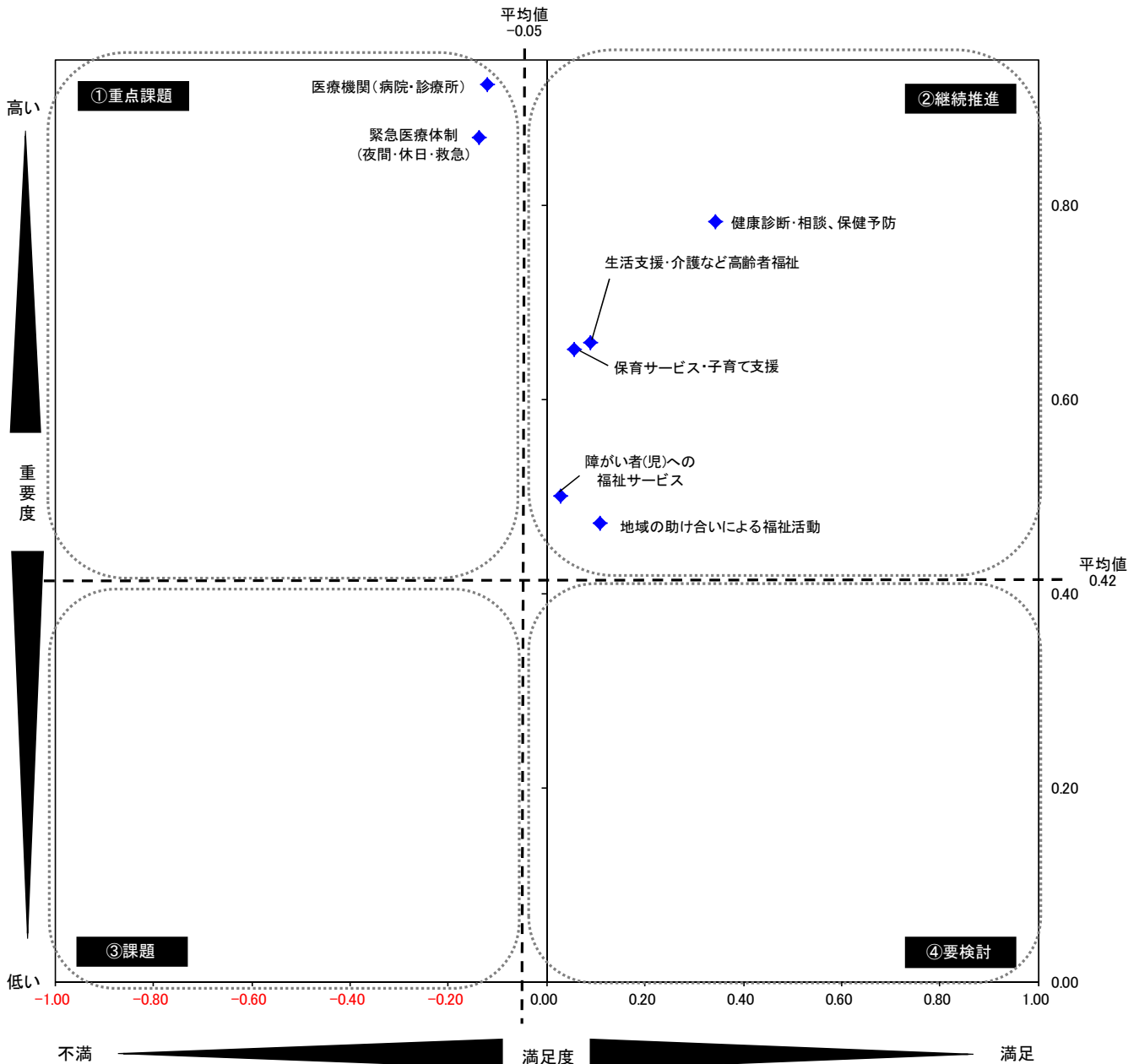
(7) 分野別施策マトリックス図

平均値は、全57施策の満足度指数、及び重要度指数の平均です。

①分野別施策の評価（健康福祉）

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」となっています。

図6-4 分野別施策のマトリックス図（健康福祉）

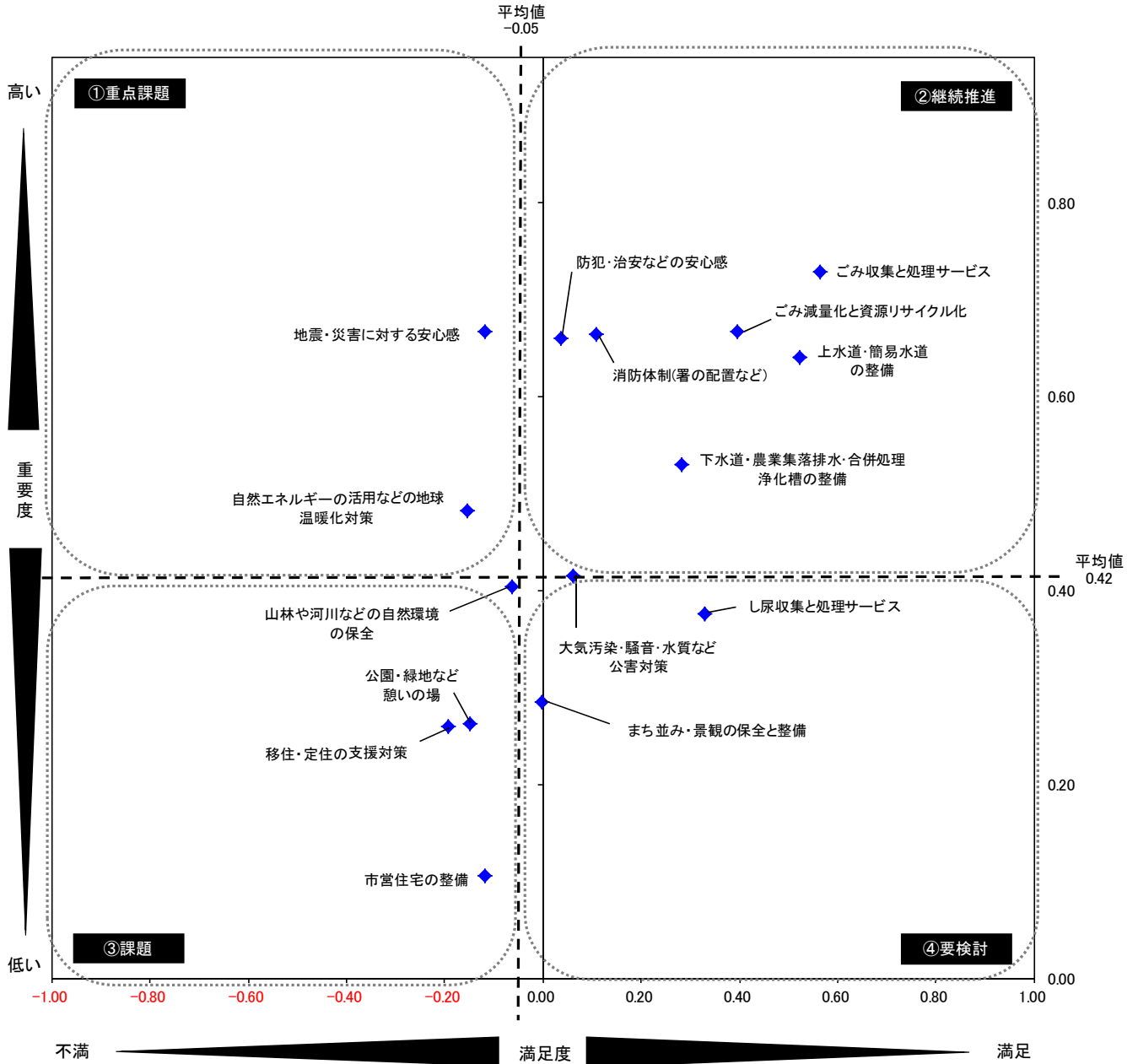


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(7)	2	5	0	0

②分野別施策の評価（生活環境）

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」となっています。

図6-5 分野別施策のマトリックス図（生活環境）

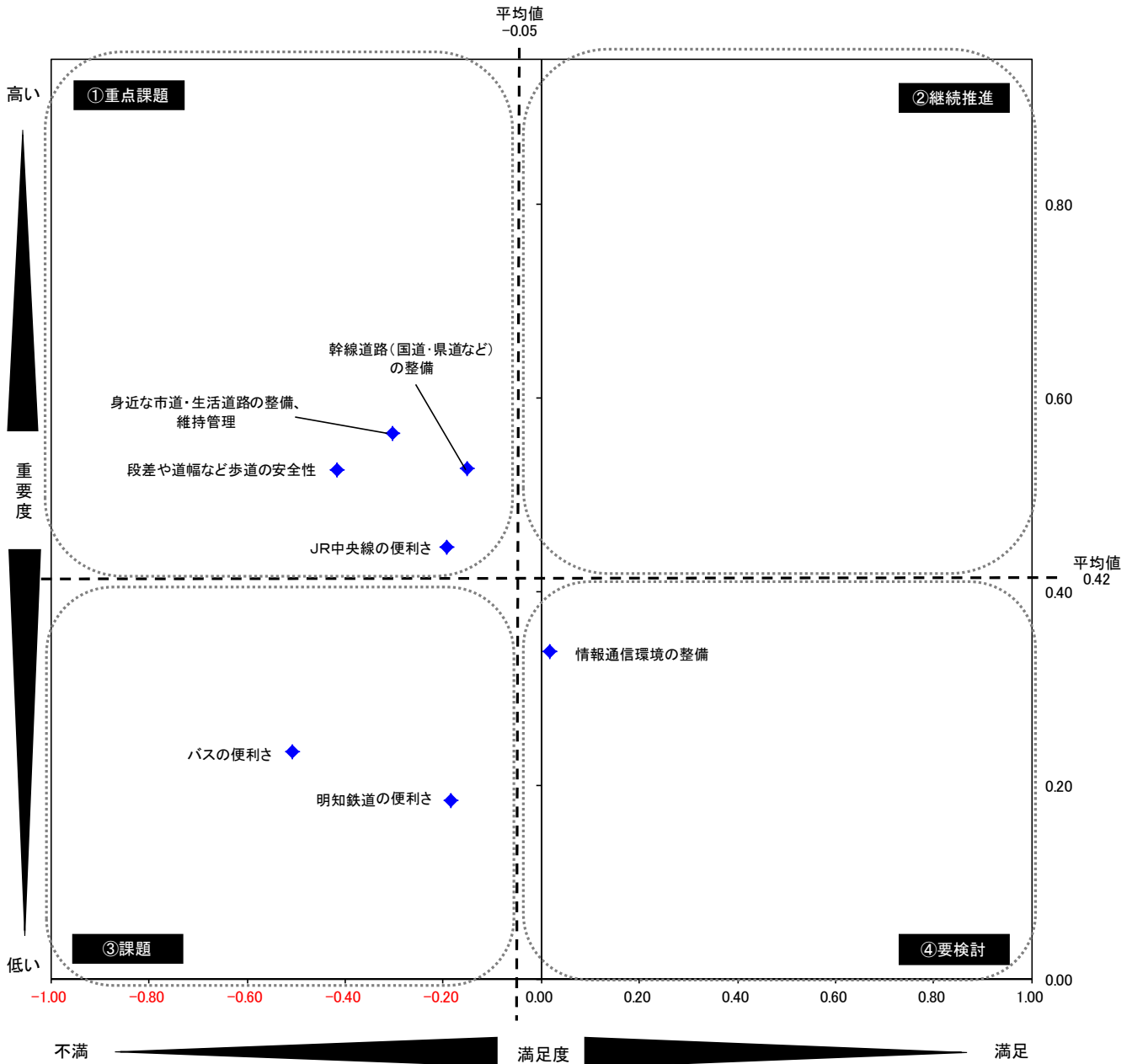


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(15)	2	6	4	3

③分野別施策の評価（都市・交流基盤）

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」「幹線道路(国道・県道など)の整備」「JR中央線の便利さ」となっています。

図6-6 分野別施策のマトリックス図（都市・交流基盤）

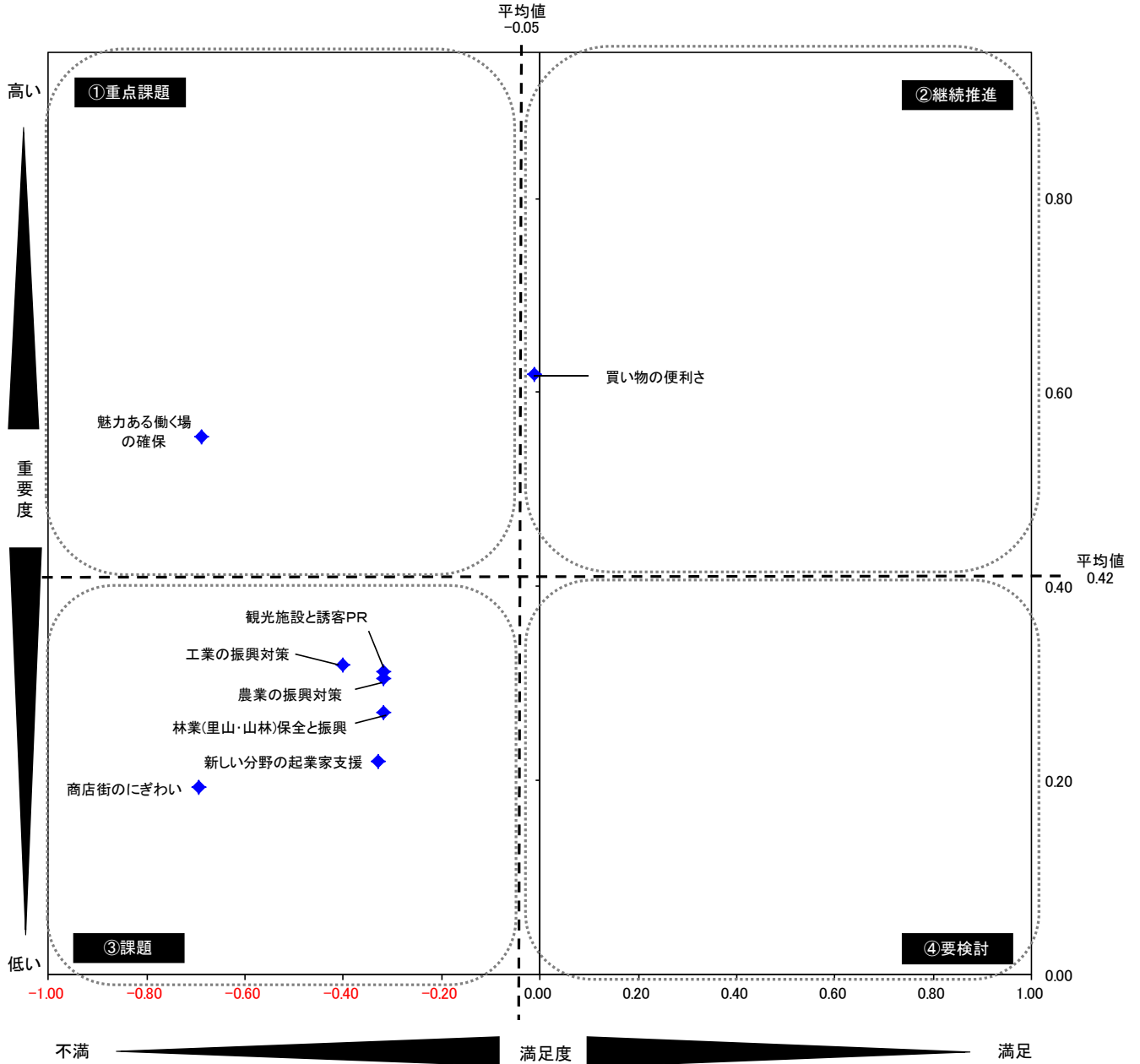


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(7)	4	0	2	1

④分野別施策の評価（産業振興）

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「魅力ある働く場の確保」となっています。

図6-7 分野別施策のマトリックス図（産業振興）

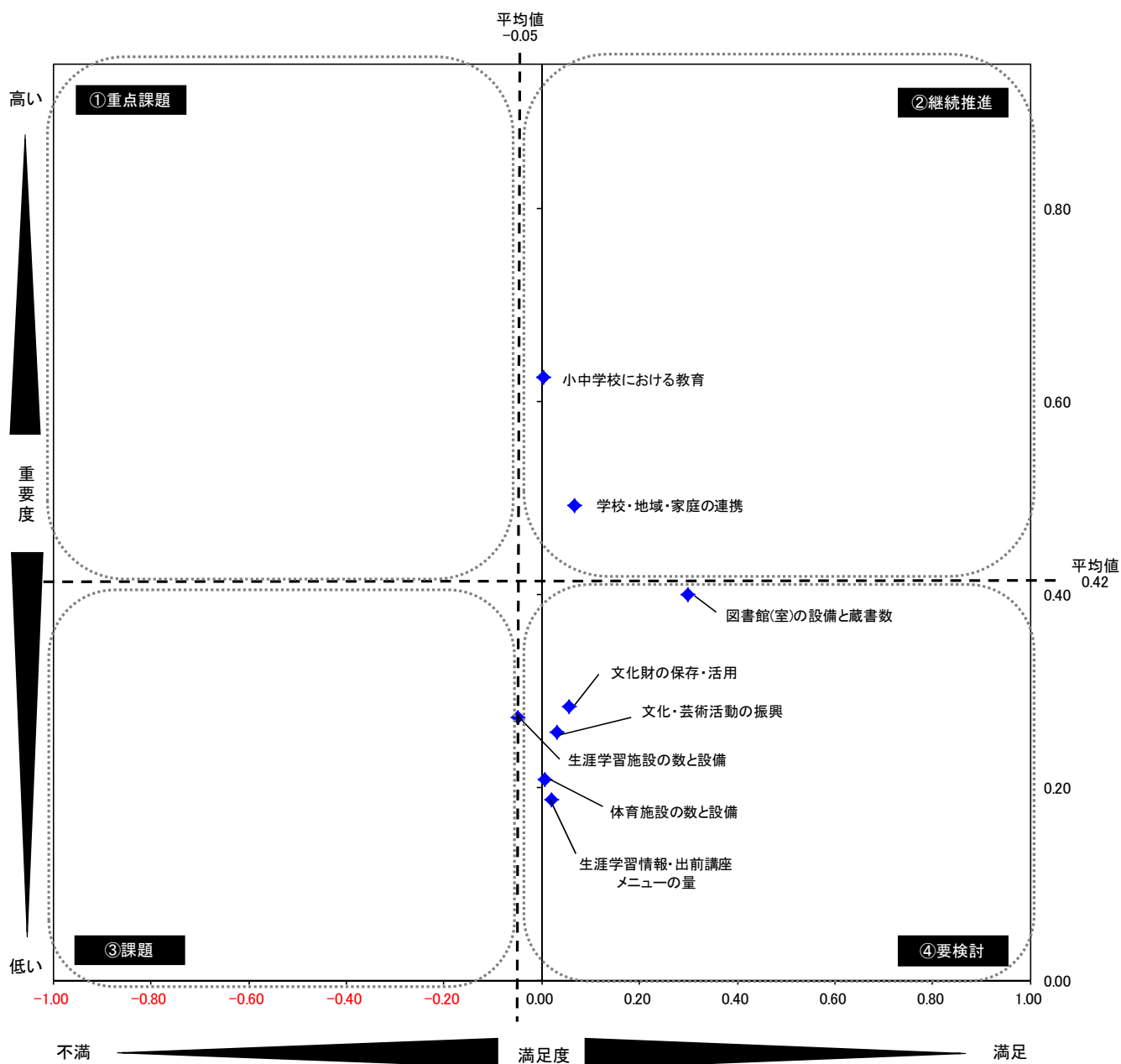


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (8)	1	1	6	0

⑤分野別施策の評価（教育・文化）

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当した施策はありません。

図6-8 分野別施策のマトリックス図（教育・文化）

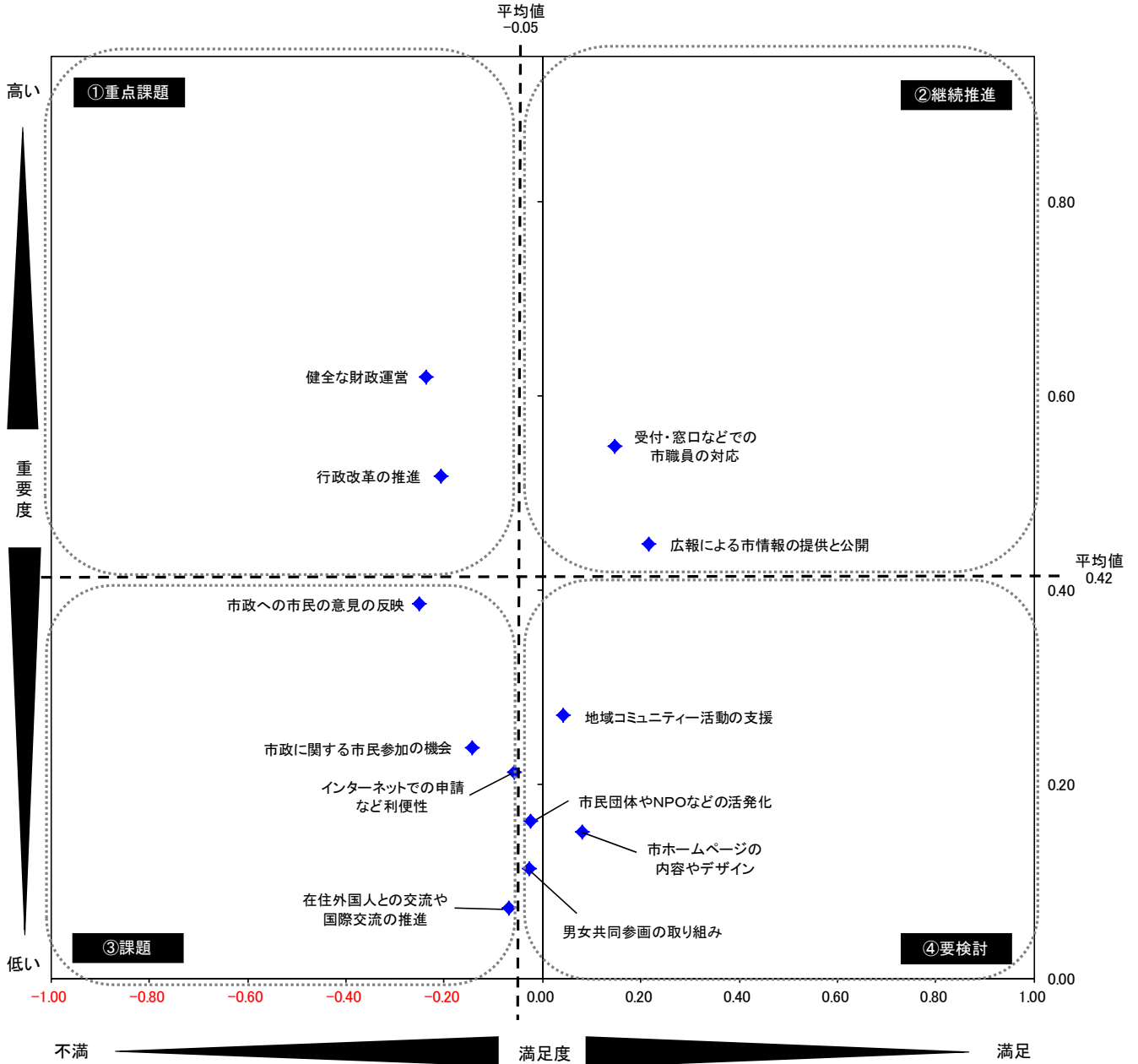


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(8)	0	2	0	6

⑥分野別施策の評価（住民参画）

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「健全な財政運営」「行政改革の推進」となっています。

図6-9 分野別施策のマトリックス図（住民参画）



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数（12）	2	2	4	4

7 個別施策について

(1) リニア中央新幹線の整備

①リニア中央新幹線整備の周知度

【問 10】リニア中央新幹線の2027年開業を目指し、JR 東海が整備手続きを行っていることを知っていますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「よく知っている」「なんとなく知っている」を合わせると82.1%となっています。一方、「あまり知らない」「まったく知らない」を合わせると17.2%となっています。

性別で見ると、男性が女性に比べて、知っている割合が高くなっています。

年齢別で見ると、50歳代、60歳代が他の年代に比べて、知っている割合がやや高くなっています。

居住地別で見ると、知っている割合が最も高い「武並町」で9割、最も低い「串原」で7割と、地域によりばらつきがみられます。

図7-1 整備の周知度（単数回答）

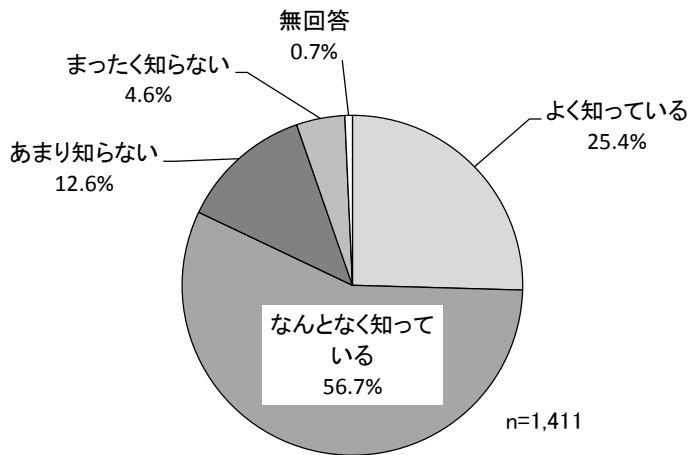


表7-1 性別、年齢別、居住地別にみた整備の周知度（単数回答）

		よく 知っている	な んと なく 知 つ て い る	あ ま り 知 ら な い	ま っ た く 知 ら な い	無 回 答
全体(n=1,411)		25.4	56.7	12.6	4.6	0.7
性別	男性(n=613)	36.4	50.6	10.3	2.4	0.3
	女性(n=788)	17.0	61.8	14.5	6.1	0.6
年齢別	20歳代(n=105)	21.9	60.0	11.4	6.7	0.0
	30歳代(n=150)	22.0	57.3	14.7	6.0	0.0
	40歳代(n=195)	24.1	58.4	14.9	2.1	0.5
	50歳代(n=226)	23.9	61.5	10.2	4.0	0.4
	60歳代(n=324)	30.6	56.1	11.4	1.9	0.0
	70歳以上(n=398)	25.1	53.3	13.3	7.0	1.3
居住地別	大井町(n=280)	32.1	53.6	12.5	1.8	0.0
	長島町(n=241)	25.3	56.0	14.1	4.6	0.0
	東野(n=46)	19.6	58.7	15.2	6.5	0.0
	三郷町(n=68)	29.4	57.3	7.4	5.9	0.0
	武並町(n=77)	27.3	64.9	6.5	1.3	0.0
	笠置町(n=45)	26.7	60.0	8.9	4.4	0.0
	中野方町(n=58)	24.1	50.0	19.0	5.2	1.7
	飯地町(n=42)	31.0	50.0	7.1	7.1	4.8
	岩村町(n=133)	24.8	61.6	9.8	3.0	0.8
	山岡町(n=113)	21.2	62.9	11.5	4.4	0.0
	明智町(n=178)	20.2	55.6	15.2	7.3	1.7
	串原(n=52)	15.4	57.7	19.2	7.7	0.0
	上矢作町(n=63)	25.4	52.4	15.9	6.3	0.0

②リニア中央新幹線整備への期待

【問 11】リニア中央新幹線が整備されることに何を期待しますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では「観光や仕事・通学で東京・名古屋へ行きやすくなること」が47.9%と最も多く、次いで「企業の進出が増えること」が38.8%、「リニア駅(美乃坂本駅付近)へのアクセスなど基盤整備が進むこと」が30.1%の順となっています。一方、「期待はしていない」は21.3%となっています。

年齢別でみると、20歳代では「観光や仕事・通学で東京・名古屋へ行きやすくなること」の割合が8割強と、他の年代に比べて高くなっています。

居住地別でみると、串原では「観光や仕事・通学で東京・名古屋へ行きやすくなること」の割合が3割弱と、他の地区に比べて低くなっています。

図7-2 期待する内容（複数回答）

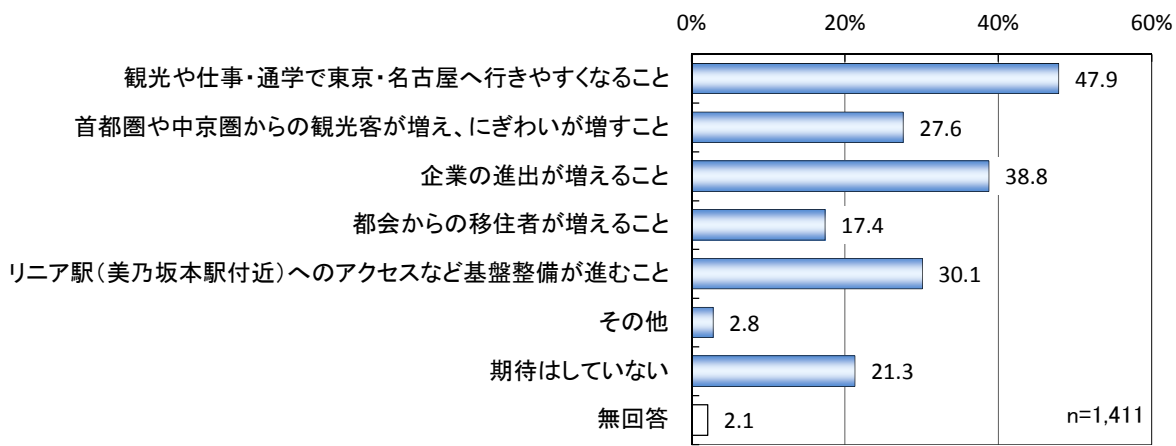


表7-2 性別、年齢別、居住地別にみた期待する内容（複数回答）

		行きやすくなること	観光や仕事・通学で東京・名古屋へ	え、にぎわいが増すこと	首都圏や中京圏からの観光客が増	企業の進出が増えること	都会からの移住者が増えること	クリセニア駅（美乃坂本駅付近）へのアクセスなど基盤整備が進むこと	その他	期待はしていない	無回答
全体(n=1,411)		47.9	27.6	38.8	17.4	30.1	2.8	21.3	2.1		
性別	男性(n=613)	45.7	28.7	41.3	18.8	35.7	3.6	21.5	0.8		
	女性(n=788)	50.0	27.0	37.2	16.4	26.0	2.2	21.3	2.5		
年齢別	20歳代(n=105)	81.0	39.0	41.0	8.6	24.8	2.9	6.7	0.0		
	30歳代(n=150)	54.7	30.0	45.3	12.0	32.7	0.7	16.0	0.0		
	40歳代(n=195)	55.9	26.7	43.1	13.8	32.3	3.6	17.9	1.0		
	50歳代(n=226)	54.0	31.4	38.5	17.3	35.8	2.7	19.9	0.4		
	60歳代(n=324)	37.3	26.2	40.1	21.3	32.1	2.5	26.2	0.6		
	70歳以上(n=398)	38.4	23.6	33.7	20.6	25.1	3.5	26.1	5.3		
居住地別	大井町(n=280)	52.5	32.5	47.9	13.2	32.9	3.6	20.0	0.4		
	長島町(n=241)	50.6	30.7	39.8	14.1	34.9	1.7	18.7	1.2		
	東野(n=46)	39.1	32.6	37.0	17.4	39.1	2.2	23.9	0.0		
	三郷町(n=68)	44.1	26.5	39.7	25.0	32.4	4.4	22.1	2.9		
	武並町(n=77)	55.8	23.4	29.9	14.3	29.9	1.3	20.8	1.3		
	笠置町(n=45)	44.4	35.6	53.3	28.9	35.6	0.0	17.8	0.0		
	中野方町(n=58)	55.2	29.3	41.4	20.7	27.6	3.4	19.0	1.7		
	飯地町(n=42)	35.7	23.8	31.0	28.6	31.0	11.9	14.3	7.1		
	岩村町(n=133)	51.9	28.6	39.8	16.5	22.6	0.8	20.3	0.8		
	山岡町(n=113)	43.4	20.4	35.4	12.4	28.3	2.7	23.9	0.9		
	明智町(n=178)	44.9	27.5	32.0	20.2	20.8	3.4	27.5	4.5		
	串原(n=52)	26.9	17.3	30.8	26.9	34.6	0.0	25.0	7.7		
	上矢作町(n=63)	52.4	17.5	31.7	22.2	31.7	4.8	23.8	0.0		

③リニア開業後に向けて充実してほしい内容

【問 12】 恵那市ではリニア開業の効果を最大限に生かすため「リニアまちづくり構想」の策定を進めています。リニア開業後（15年後）に、現在よりも高めたいことは何ですか。該当する番号に上位3つまで○を付けてください。

全体では「地元で働く場所がある」が45.3%と最も多く、次いで「高齢者が暮らしやすい」が36.1%、「自然環境・景観がよい」が34.3%の順となっています。

年齢別で見ると、「子育てがしやすい」の割合が20歳代では3割強、30歳代では5割弱と、他の年代に比べ高くなっています。また、50歳代以上の4割程が「高齢者が暮らしやすい」をあげています。

居住地別で見ると、「伝統的な歴史文化が残っている」の割合が岩村町では4割強と、他の地区に比べ高くなっています。また、「道路環境が整っている」の割合が笠置町と飯地町ではそれぞれ3割強と、他の地区に比べ高くなっています。

図7-3 充実してほしい内容（複数回答：3つまで）

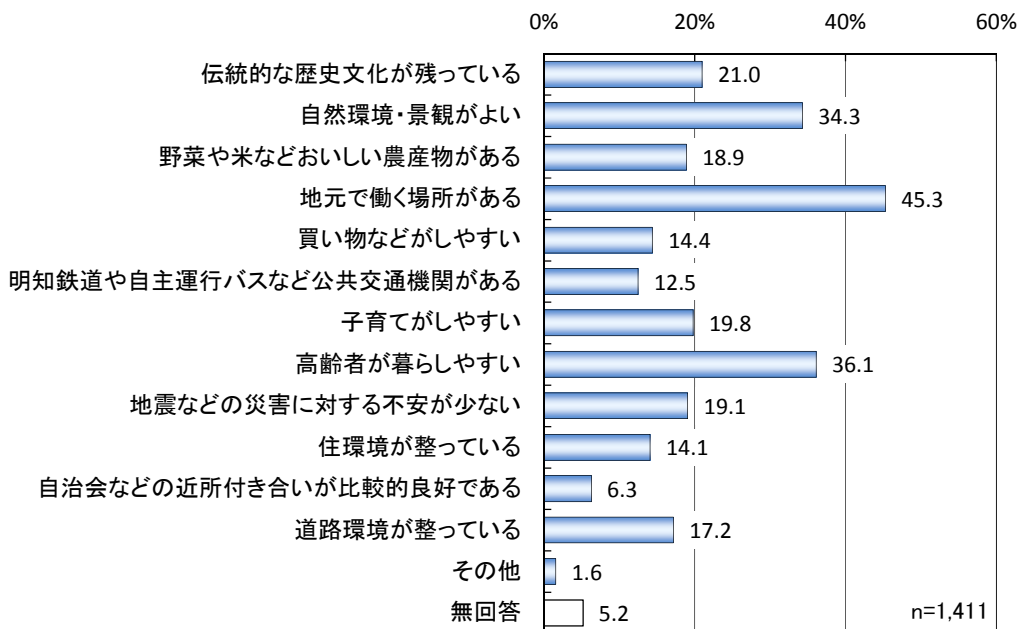


表7-3 性別、年齢別、居住地別にみた充実してほしい内容（複数回答：3つまで）

		伝統的な歴史文化が残っている	自然環境・景観がよい	野菜や米などおいしい農産物がある	地元で働く場所がある	買い物などがしやすい	明知鉄道や自主運行バスなど公共交通機関がある	子育てがしやすい	高齢者が暮らしやすい	地震などの災害に対する不安が少ない	住環境が整っている	自治会などの近所付き合いが比較的良好である	道路環境が整っている	その他	無回答
	全体(n=1,411)	21.0	34.3	18.9	45.3	14.4	12.5	19.8	36.1	19.1	14.1	6.3	17.2	1.6	5.2
性別	男性(n=613)	23.7	37.2	19.1	46.2	13.1	12.7	17.3	33.0	17.6	17.1	5.7	20.9	1.3	3.4
	女性(n=788)	19.2	32.1	18.8	44.9	15.4	12.4	21.8	38.7	20.4	11.8	6.7	14.5	1.9	6.2
年齢別	20歳代(n=105)	23.8	47.6	24.8	43.8	21.0	9.5	34.3	21.0	26.7	18.1	6.7	13.3	0.0	1.0
	30歳代(n=150)	14.7	26.7	18.7	54.7	16.0	11.3	47.3	24.7	28.0	17.3	3.3	17.3	1.3	2.0
	40歳代(n=195)	19.0	33.3	15.9	52.3	18.5	12.8	28.7	32.3	20.5	16.4	2.1	17.9	1.0	1.0
	50歳代(n=226)	23.9	38.5	17.7	54.4	15.5	8.0	15.5	39.4	17.7	16.8	5.3	21.2	2.7	2.7
	60歳代(n=324)	19.8	38.3	18.8	45.1	10.8	13.3	15.4	44.1	17.3	18.2	7.1	16.7	1.5	4.3
	70歳以上(n=398)	23.1	28.9	20.1	34.2	12.1	15.6	7.3	37.7	15.6	6.0	9.3	16.3	2.0	11.1
居住地別	大井町(n=280)	17.1	39.3	16.8	46.4	18.6	7.9	24.6	39.6	25.4	15.0	6.1	14.6	1.1	4.6
	長島町(n=241)	20.3	29.9	22.0	46.1	18.7	7.5	24.1	34.4	20.3	16.2	6.6	17.8	2.1	5.0
	東野(n=46)	15.2	37.0	34.8	45.7	8.7	10.9	28.3	45.7	21.7	10.9	4.3	15.2	2.2	2.2
	三郷町(n=68)	17.6	41.2	29.4	50.0	14.7	11.8	13.2	33.8	20.6	17.6	4.4	8.8	2.9	2.9
	武並町(n=77)	26.0	40.3	18.2	48.1	16.9	7.8	14.3	32.5	16.9	10.4	7.8	11.7	3.9	5.2
	笠置町(n=45)	17.8	40.0	20.0	37.8	8.9	11.1	17.8	37.8	22.2	15.6	4.4	31.1	0.0	2.2
	中野方町(n=58)	13.8	36.2	20.7	46.6	19.0	10.3	22.4	19.0	31.0	13.8	10.3	13.8	1.7	5.2
	飯地町(n=42)	16.7	28.6	7.1	42.9	4.8	4.8	14.3	47.6	9.5	11.9	9.5	31.0	0.0	4.8
	岩村町(n=133)	42.9	32.3	18.8	39.1	9.8	20.3	18.0	32.3	15.8	10.5	4.5	15.8	1.5	6.0
	山岡町(n=113)	19.5	23.0	15.0	52.2	8.8	24.8	20.4	37.2	16.8	12.4	8.8	19.5	2.7	2.7
	明智町(n=178)	20.8	38.2	16.3	47.8	12.4	23.6	16.3	35.4	13.5	13.5	4.5	16.9	0.6	3.9
	串原(n=52)	23.1	38.5	21.2	38.5	7.7	5.8	13.5	25.0	7.7	19.2	9.6	25.0	1.9	13.5
上矢作町(n=63)	14.3	22.2	14.3	38.1	15.9	6.3	12.7	49.2	17.5	14.3	4.8	22.2	1.6	7.9	

(2) 市からの情報発信

①情報取得手段

【問 13】市ではケーブルテレビや告知放送受信機の整備を進め、各種媒体を使って情報の発信を行っています。主にどのような方法で市からの情報を入手されていますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では「市の発行する広報紙」が78.9%と最も多く、次いで「告知放送(各家庭で流れる音声放送)」が60.4%、「自治会の回覧など」が56.6%の順となっています。

性別、年齢別、居住地別でみると、いずれも「市の発行する広報紙」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、男性では「市のウェブサイト(ホームページ)」が女性より、女性では「自治会の回覧など」が男性よりやや高くなっています。

居住地別でみると、「ケーブルテレビ(えなっコチャンネルなど)」の割合が串原では5割弱、山岡町では4割強と、他の地区に比べ高くなっています。また、「自治会の回覧など」は4割から7割の間で地域によりばらつきがみられます。

図7-4 情報取得手段（複数回答）

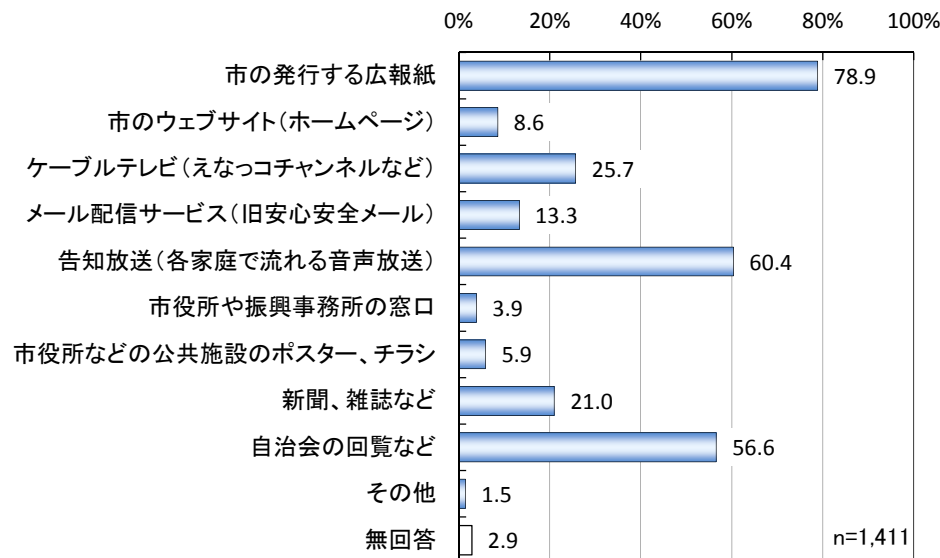


表7-4 性別、年齢別、居住地別にみた情報取得手段（複数回答）

		市の発行する広報紙	市のウェブページ（ホームページ）	ケーブルテレビ（えなっコチャンネルなど）	メール配信サービス（旧安心安全メール）	告知放送（各家庭で流れる音声放送）	市役所や振興事務所の窓口	市役所などの公共施設のポスター、チラシ	新聞、雑誌など	自治会の回覧など	その他	無回答
全体(n=1,411)		78.9	8.6	25.7	13.3	60.4	3.9	5.9	21.0	56.6	1.5	2.9
性別	男性(n=613)	78.1	12.1	26.1	13.4	59.1	4.6	6.2	21.7	53.7	1.3	1.1
	女性(n=788)	79.8	6.1	25.6	13.5	61.9	3.4	5.7	20.6	59.1	1.6	3.9
年齢別	20歳代(n=105)	71.4	13.3	18.1	13.3	52.4	1.9	3.8	10.5	40.0	3.8	1.0
	30歳代(n=150)	80.7	12.7	18.7	28.7	49.3	2.7	3.3	14.7	40.7	4.0	2.0
	40歳代(n=195)	84.1	8.7	16.4	24.6	61.5	2.6	3.6	13.8	49.7	1.0	0.5
	50歳代(n=226)	84.1	14.2	24.8	19.0	63.7	1.8	5.3	16.8	64.6	1.8	0.4
	60歳代(n=324)	81.8	7.4	33.6	9.0	69.8	3.1	5.2	24.4	62.0	0.3	1.2
	70歳以上(n=398)	73.1	4.0	29.6	2.8	57.3	7.3	9.5	29.6	61.8	1.0	6.8
	居住地別	大井町(n=280)	80.4	10.4	14.6	17.9	55.7	2.1	7.1	22.9	63.2	1.4
	長島町(n=241)	82.6	9.1	17.8	14.9	53.5	2.5	8.7	22.8	56.4	0.8	2.1
	東野(n=46)	82.6	13.0	15.2	15.2	63.0	8.7	2.2	17.4	54.3	0.0	0.0
	三郷町(n=68)	76.5	2.9	35.3	4.4	64.7	2.9	4.4	22.1	42.6	1.5	1.5
	武並町(n=77)	83.1	13.0	32.5	10.4	70.1	3.9	2.6	14.3	57.1	0.0	1.3
	笠置町(n=45)	86.7	13.3	33.3	6.7	66.7	6.7	8.9	20.0	53.3	2.2	0.0
	中野方町(n=58)	75.9	1.7	27.6	13.8	63.8	3.4	5.2	19.0	63.8	3.4	3.4
	飯地町(n=42)	76.2	2.4	33.3	9.5	66.7	11.9	4.8	21.4	54.8	2.4	11.9
	岩村町(n=133)	78.2	9.8	30.1	20.3	70.7	3.8	3.8	19.5	56.4	1.5	4.5
	山岡町(n=113)	73.5	6.2	40.7	9.7	55.8	6.2	4.4	23.0	54.0	1.8	1.8
	明智町(n=178)	74.7	7.9	24.7	10.7	65.2	2.8	3.9	16.9	53.9	2.8	3.4
	串原(n=52)	84.6	9.6	48.1	13.5	57.7	9.6	11.5	23.1	44.2	0.0	3.8
	上矢作町(n=63)	74.6	6.3	36.5	7.9	63.5	3.2	6.3	30.2	69.8	1.6	1.6

②市ウェブサイトの利便性

【問 14】本年度から市のウェブサイト（ホームページ）が新しくなりましたが、利用しやすいですか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「利用しやすい」が5.0%、「利用しにくい」が2.1%となっています。「利用したことがない」と「無回答」を除く利用経験のある方は25.4%となっています。

性別でみると、利用経験のある方は、男性では3割強、女性では2割弱と男性がやや高くなっています。

居住地別でみると、利用経験のある方は、最も高い笠置町では4割弱、最も低い飯地町では2割弱となっています。

図7-5 市ウェブサイトの利便性（単数回答）

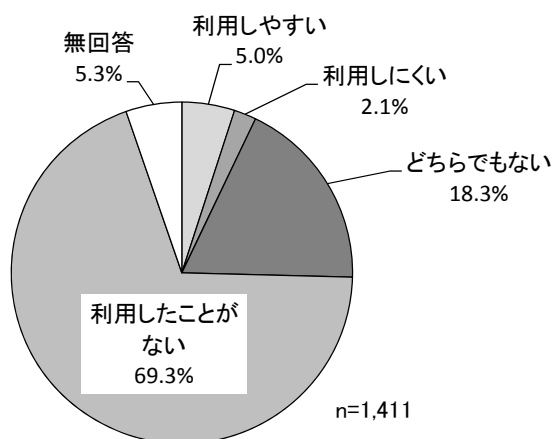


表7-5 性別、年齢別、居住地別にみた市ウェブサイトの利便性（単数回答）

		利用しやすい	利用しにくい	どちらでもない	利用したことがない	無回答
全体(n=1,411)		5.0	2.1	18.3	69.3	5.3
性別	男性(n=613)	5.7	2.6	24.0	63.5	4.2
	女性(n=788)	4.4	1.8	13.7	74.3	5.8
年齢別	20歳代(n=105)	5.7	2.9	13.3	75.2	2.9
	30歳代(n=150)	6.7	4.7	24.0	64.6	0.0
	40歳代(n=195)	6.7	3.1	15.9	73.3	1.0
	50歳代(n=226)	5.3	1.8	23.9	68.6	0.4
	60歳代(n=324)	1.9	2.5	18.5	72.8	4.3
	70歳以上(n=398)	5.5	0.5	15.3	65.9	12.8
	居住地別	大井町(n=280)	4.6	2.9	17.9	68.5
長島町(n=241)		6.6	2.5	15.4	73.0	2.5
東野(n=46)		6.5	0.0	15.2	71.8	6.5
三郷町(n=68)		1.5	1.5	23.5	67.6	5.9
武並町(n=77)		5.2	2.6	16.9	71.4	3.9
笠置町(n=45)		6.7	0.0	31.1	62.2	0.0
中野方町(n=58)		5.2	3.4	17.2	67.3	6.9
飯地町(n=42)		0.0	0.0	16.7	69.0	14.3
岩村町(n=133)		6.8	5.3	20.3	63.1	4.5
山岡町(n=113)		2.7	0.9	15.9	76.1	4.4
明智町(n=178)		3.9	1.7	18.0	71.9	4.5
串原(n=52)		5.8	0.0	23.1	59.6	11.5
上矢作町(n=63)		7.9	0.0	17.5	69.8	4.8

③ケーブルテレビ加入状況

【問 15】ケーブルテレビに加入していますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「加入している」が61.1%、「加入していない」が36.1%となっています。

性別、年齢別による差はあまりみられません。

居住地別で見ると、大井町、長島町、東野の3地区では、「加入している」割合より「加入していない」割合が高くなっています。

図7-6 加入状況（単数回答）

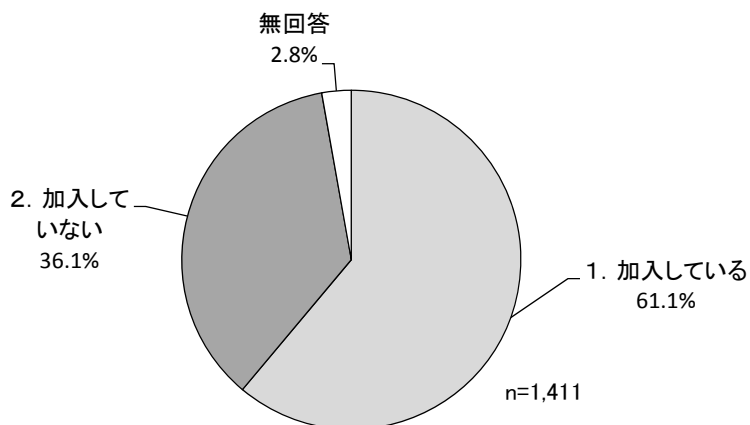


表7-6 性別、年齢別、居住地別にみた加入状況（単数回答）

		1. 加入 している	2. 加入 していない	無 回 答
全体(n=1,411)		61.1	36.1	2.8
性別	男性(n=613)	62.3	35.9	1.8
	女性(n=788)	60.2	36.5	3.3
年齢別	20歳代(n=105)	55.2	44.8	0.0
	30歳代(n=150)	63.3	36.7	0.0
	40歳代(n=195)	54.9	44.1	1.0
	50歳代(n=226)	64.6	35.0	0.4
	60歳代(n=324)	65.4	32.4	2.2
	70歳以上(n=398)	59.0	34.2	6.8
居住地別	大井町(n=280)	32.1	65.0	2.9
	長島町(n=241)	42.7	55.2	2.1
	東野(n=46)	41.3	58.7	0.0
	三郷町(n=68)	85.3	13.2	1.5
	武並町(n=77)	74.0	24.7	1.3
	笠置町(n=45)	77.8	22.2	0.0
	中野方町(n=58)	77.6	22.4	0.0
	飯地町(n=42)	78.6	9.5	11.9
	岩村町(n=133)	67.6	30.1	2.3
	山岡町(n=113)	90.2	7.1	2.7
	明智町(n=178)	63.0	33.1	3.9
	串原(n=52)	92.3	1.9	5.8
	上矢作町(n=63)	98.4	0.0	1.6

④「えなっコチャンネル」視聴状況

【問 16】問 15 で 1 に○をつけた方にお聞きします。「えなっコチャンネル」は見ていますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「時々見る」が40.6%と最も多く、次いで「ほとんど見ない」が26.8%、「あまり見ない」が21.5%の順となっています。「よく見る」と「時々見る」を合わせると51.5%となっています。

年齢別でみると、「よく見る」と「時々見る」を合わせた割合は、年代が上がるほど高くなっています。

居住地別でみると、東野では「ほとんど見ない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

図7-7 視聴状況（加入している人、単数回答）

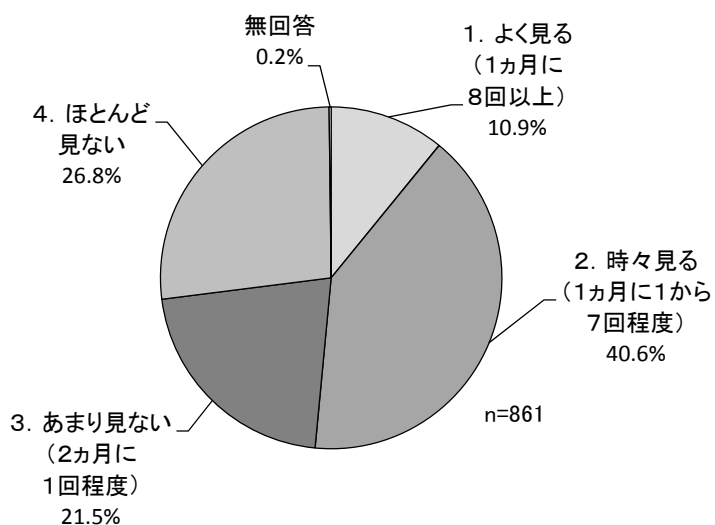


表7-7 性別、年齢別、居住地別にみた視聴状況（加入している人、単数回答）

		1. （よく見る （1カ月に8回以上）	2. （時々見る （1カ月に1から7回程度）	3. （あまり見ない （2カ月に1回程度）	4. ほとんど見ない	無回答
全体(n=861)		10.9	40.6	21.5	26.8	0.2
性別	男性(n=382)	10.2	39.0	24.3	26.2	0.3
	女性(n=474)	11.4	42.2	19.4	26.8	0.2
年齢別	20歳代(n=58)	5.2	22.4	29.3	43.1	0.0
	30歳代(n=95)	1.1	35.8	32.6	30.5	0.0
	40歳代(n=107)	6.5	30.8	26.2	36.5	0.0
	50歳代(n=146)	6.2	37.0	21.9	34.9	0.0
	60歳代(n=212)	13.2	48.5	20.8	17.5	0.0
	70歳以上(n=235)	19.1	47.3	13.6	19.1	0.9
居住地別	大井町(n=90)	11.1	38.9	24.4	25.6	0.0
	長島町(n=103)	7.8	37.8	20.4	34.0	0.0
	東野(n=19)	5.3	36.8	10.5	47.4	0.0
	三郷町(n=58)	12.1	43.1	17.2	27.6	0.0
	武並町(n=57)	7.0	49.1	19.3	22.8	1.8
	笠置町(n=35)	17.1	37.1	20.0	22.9	2.9
	中野方町(n=45)	8.9	42.2	22.2	26.7	0.0
	飯地町(n=33)	9.1	48.5	30.3	12.1	0.0
	岩村町(n=90)	6.7	44.4	18.9	30.0	0.0
	山岡町(n=102)	8.8	38.2	27.5	25.5	0.0
	明智町(n=112)	11.6	40.2	22.3	25.9	0.0
	串原(n=48)	25.0	35.4	20.8	18.8	0.0
	上矢作町(n=62)	17.7	42.0	17.7	22.6	0.0

⑤ 「えなっコチャンネル」で視聴する番組

【問 17】 問 16 で 1 から 3 に ○ を付けた方にお聞きします。「えなっコチャンネル」で見る番組は何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では「天気予報」が42.4%と最も多く、次いで「コミュニティ番組(催し・企画番組)」が39.5%、「ほっと in えな(恵那市の情報番組)」が34.7%の順となっています。

性別で見ると、男性では「天気予報」が、女性では「コミュニティ番組(催し・企画番組)」が最も多くなっています。

年齢別で見ると、30歳代では「保育園・幼稚園番組」が7割弱、70歳以上では「恵那彩百景」が5割強と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地で見ると、東野では「保育園・幼稚園番組」、笠置町では「ほっと in えな(恵那市の情報番組)」がともに5割、上矢作町では「恵那彩百景」が5割弱と、他の地区に比べ高くなっています。

図7-8 視聴する番組（加入している人で番組を見る人、複数回答）

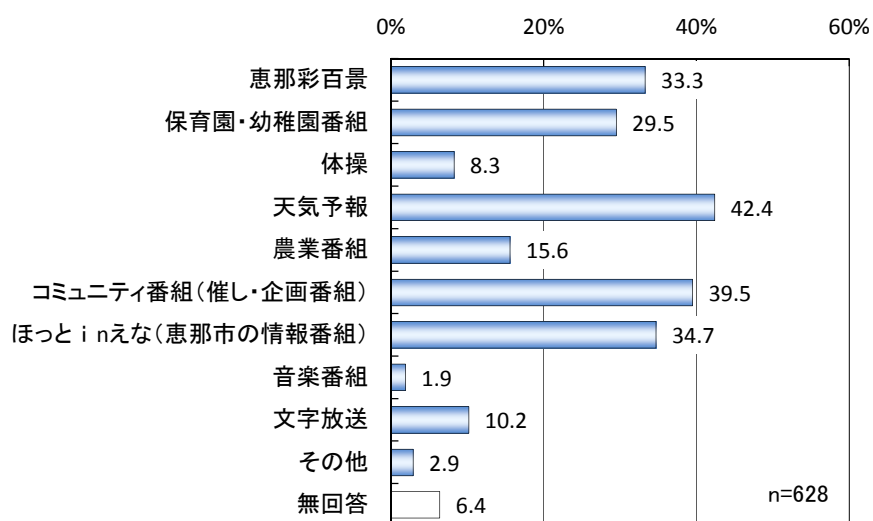


表7-8 性別、年齢別、居住地別にみた視聴する番組（加入している人で番組を見る人、複数回答）

		恵那彩百景	保育園・幼稚園番組	体操	天気予報	農業番組	コミュニティ番組 （催し・企画番組）	ほつとinn （恵那市の情報番組）	音楽番組	文字放送	その他	無回答
全体 (n=628)		33.3	29.5	8.3	42.4	15.6	39.5	34.7	1.9	10.2	2.9	6.4
性別	男性 (n=281)	33.1	25.3	3.6	46.3	17.4	37.7	35.9	2.1	11.4	2.5	6.0
	女性 (n=346)	33.5	32.9	12.1	39.3	14.2	41.0	33.8	1.4	9.2	3.2	6.6
年齢別	20歳代 (n=33)	21.2	15.2	6.1	54.5	15.2	42.4	27.3	3.0	9.1	6.1	3.0
	30歳代 (n=66)	16.7	69.7	3.0	30.3	1.5	21.2	16.7	1.5	7.6	1.5	1.5
	40歳代 (n=68)	22.1	42.6	5.9	33.8	4.4	50.0	26.5	0.0	11.8	7.4	2.9
	50歳代 (n=95)	29.5	27.4	3.2	49.5	11.6	50.5	41.1	2.1	10.5	1.1	3.2
	60歳代 (n=175)	28.6	25.7	8.0	45.1	20.0	42.9	35.4	2.3	12.0	2.3	8.0
	70歳以上 (n=188)	51.1	17.6	14.4	41.5	22.3	33.0	41.0	2.1	9.0	2.7	9.6
	居住地別	大井町 (n=67)	38.8	35.8	13.4	41.8	7.5	32.8	34.3	1.5	13.4	1.5
	長島町 (n=68)	27.9	36.8	4.4	44.1	7.4	39.7	33.8	1.5	11.8	1.5	5.9
	東野 (n=10)	30.0	50.0	10.0	30.0	30.0	40.0	30.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	三郷町 (n=42)	38.1	23.8	11.9	38.1	19.0	33.3	31.0	0.0	7.1	4.8	4.8
	武並町 (n=43)	37.2	30.2	14.0	32.6	7.0	44.2	34.9	0.0	9.3	4.7	9.3
	笠置町 (n=26)	34.6	26.9	3.8	42.3	26.9	34.6	50.0	0.0	19.2	3.8	7.7
	中野方町 (n=33)	27.3	39.4	0.0	42.4	24.2	24.2	27.3	3.0	3.0	3.0	3.0
	飯地町 (n=29)	27.6	17.2	6.9	48.3	27.6	41.4	31.0	0.0	6.9	3.4	0.0
	岩村町 (n=63)	39.7	33.3	9.5	44.4	14.3	42.9	28.6	3.2	9.5	6.3	4.8
	山岡町 (n=76)	22.4	18.4	6.6	61.8	19.7	36.8	39.5	3.9	6.6	1.3	11.8
	明智町 (n=83)	30.1	27.7	6.0	30.1	13.3	49.4	38.6	3.6	7.2	2.4	3.6
	串原 (n=39)	35.9	41.0	7.7	43.6	20.5	51.3	30.8	2.6	15.4	0.0	5.1
	上矢作町 (n=48)	45.8	18.8	12.5	39.6	16.7	35.4	35.4	0.0	14.6	4.2	10.4

⑥「えなっコチャンネル」で視聴したい番組

【問 18】えなっコチャンネルで放送してほしい分野は何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では「医療・健康関係」が30.8%と最も多く、次いで「観光・イベント関係」が24.9%、「市からののお知らせ」が24.7%の順となっています。

性別でみると、女性では「高齢・介護関係」が3割弱と、男性の2割弱に対し高くなっています。

年齢別でみると、30歳代では「子育て・子ども向け」が3割強、70歳以上では「高齢・介護関係」が4割弱と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、山岡町と串原では「ニュース・天気予報」の割合がそれぞれ4割弱と、他の地区に比べ高くなっています。

図7-9 視聴したい番組（複数回答）

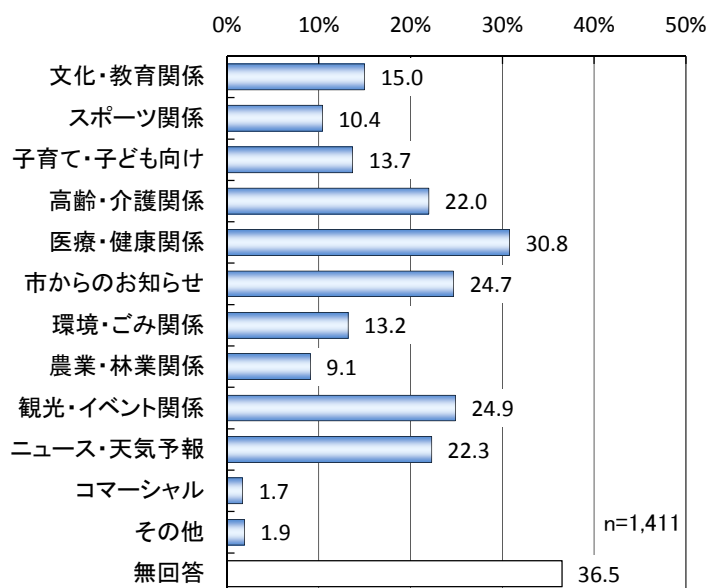


表7-9 性別、年齢別、居住地別にみた視聴したい番組（複数回答）

	文化・教育関係	スポーツ関係	子育て・子ども向け	高齢・介護関係	医療・健康関係	市からのお知らせ	環境・ごみ関係	農業・林業関係	観光・イベント関係	ニュース・天気予報	コマース	その他	無回答	
全体(n=1,411)	15.0	10.4	13.7	22.0	30.8	24.7	13.2	9.1	24.9	22.3	1.7	1.9	36.5	
性別	男性(n=613)	16.3	15.2	12.2	18.1	26.8	24.3	14.7	10.6	26.1	22.5	2.9	2.9	36.1
	女性(n=788)	14.1	6.9	15.0	25.4	34.3	25.3	12.2	7.9	24.1	22.3	0.8	1.1	36.5
年齢別	20歳代(n=105)	13.3	12.4	26.7	12.4	31.4	26.7	10.5	7.6	40.0	24.8	5.7	1.9	25.7
	30歳代(n=150)	10.7	13.3	34.0	7.3	22.0	21.3	7.3	1.3	27.3	20.7	2.0	1.3	36.0
	40歳代(n=195)	15.9	16.4	20.0	8.7	24.6	21.5	10.8	4.6	28.2	20.0	3.1	1.5	35.4
	50歳代(n=226)	15.9	13.3	9.3	18.6	27.4	26.1	15.5	7.5	31.0	26.5	2.2	1.8	36.3
	60歳代(n=324)	19.4	8.3	9.6	23.5	32.7	25.9	15.4	13.3	28.7	22.5	0.6	3.1	34.9
	70歳以上(n=398)	12.6	6.0	5.5	37.9	37.7	25.6	14.3	11.6	12.3	21.6	0.5	1.5	41.0
	居住地別	大井町(n=280)	10.0	9.3	13.2	15.0	23.9	16.8	9.6	2.1	18.2	11.8	1.8	0.7
	長島町(n=241)	16.2	10.0	17.4	16.6	24.1	19.9	12.0	6.6	24.5	18.7	2.1	2.9	43.2
	東野(n=46)	13.0	2.2	10.9	8.7	21.7	15.2	10.9	6.5	23.9	13.0	0.0	2.2	56.5
	三郷町(n=68)	17.6	7.4	11.8	27.9	32.4	27.9	14.7	11.8	26.5	27.9	1.5	1.5	22.1
	武並町(n=77)	24.7	18.2	11.7	18.2	31.2	37.7	15.6	9.1	24.7	26.0	1.3	1.3	31.2
	笠置町(n=45)	15.6	0.0	17.8	37.8	44.4	33.3	20.0	13.3	26.7	35.6	0.0	6.7	26.7
	中野方町(n=58)	10.3	10.3	20.7	27.6	31.0	29.3	17.2	19.0	29.3	25.9	1.7	5.2	20.7
	飯地町(n=42)	11.9	7.1	7.1	28.6	31.0	31.0	16.7	23.8	28.6	28.6	2.4	0.0	19.0
	岩村町(n=133)	14.3	14.3	15.0	19.5	33.1	15.8	15.8	9.0	27.1	24.1	1.5	2.3	33.8
	山岡町(n=113)	18.6	13.3	7.1	29.2	43.4	36.3	17.7	11.5	24.8	38.1	1.8	1.8	19.5
	明智町(n=178)	14.0	11.8	13.5	25.8	33.1	25.8	10.7	5.1	28.7	19.7	1.7	1.1	36.0
	串原(n=52)	17.3	13.5	19.2	28.8	40.4	36.5	13.5	19.2	32.7	36.5	1.9	0.0	11.5
	上矢作町(n=63)	23.8	9.5	9.5	39.7	44.4	39.7	15.9	25.4	30.2	30.2	3.2	3.2	22.2

(3) 市民参加・市民協働

①地域協議会の周知度

【問 19】 恵那市では、地域自治区制度を導入し、各地域に地域協議会が設けられ、市民と行政の協働による地域づくりが進められています。あなたは、地域協議会が地域に十分に知られていると思いますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「一部にしか知られていない」が48.1%と最も多くなっています。「知られている」が7.8%、「知られていない」が35.9%となっています。

性別による差はあまりみられません。

年齢別でみると、年代が下がるにつれ、「知られていない」割合が高くなっています。

居住地別でみると、串原では「知られている」の割合が2割強と、他の地区に比べ高くなっています。

図7-10 地域協議会の周知度（単数回答）

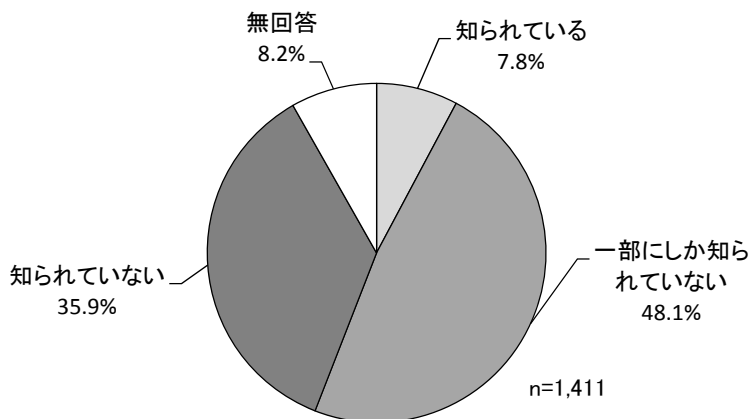


表7-10 性別、年齢別、居住地別にみた地域協議会の周知度（単数回答）

		知られている	一部知られていない	知られていない	無回答
全体 (n=1,411)		7.8	48.1	35.9	8.2
性別	男性 (n=613)	7.8	51.1	36.2	4.9
	女性 (n=788)	7.7	46.4	35.5	10.4
年齢別	20歳代 (n=105)	1.0	34.3	64.7	0.0
	30歳代 (n=150)	1.3	42.7	54.7	1.3
	40歳代 (n=195)	5.6	53.3	39.0	2.1
	50歳代 (n=226)	8.4	52.2	37.2	2.2
	60歳代 (n=324)	10.2	57.4	27.8	4.6
	70歳以上 (n=398)	10.6	42.6	25.4	21.4
	居住地別	大井町 (n=280)	3.2	45.0	45.7
長島町 (n=241)		6.2	43.2	41.9	8.7
東野 (n=46)		2.2	58.7	34.8	4.3
三郷町 (n=68)		4.4	63.2	22.1	10.3
武並町 (n=77)		16.9	51.9	27.3	3.9
笠置町 (n=45)		8.9	51.1	31.1	8.9
中野方町 (n=58)		6.9	53.4	32.8	6.9
飯地町 (n=42)		16.7	40.5	21.4	21.4
岩村町 (n=133)		11.3	39.8	40.6	8.3
山岡町 (n=113)		8.0	52.2	33.6	6.2
明智町 (n=178)		3.9	54.0	34.8	7.3
串原 (n=52)		21.2	50.0	11.5	17.3
上矢作町 (n=63)		17.5	47.6	27.0	7.9

②地域協議会活動参加状況

【問 20】各地域の地域協議会では、まちづくり実行組織を設置して「地域づくり補助金」による活動を行っています。あなたはこの活動に参加したことがありますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「活動は知っているが参加したことはない」が38.5%、「まちづくり活動を知らない」が38.6%と、ほぼ同じ割合で多くなっています。「参加したことがある」は17.4%となっています。

性別で見ると、男性では「まちづくり活動を知らない」が、女性では「活動は知っているが参加したことはない」が最も多くなっています。

年齢別で見ると、年代が下がるにつれて「まちづくり活動を知らない」の割合が高くなっています。居住地別で見ると、武並町、飯地町、串原では「参加したことがある」割合が高くなっています。

図7-11 活動参加状況（単数回答）

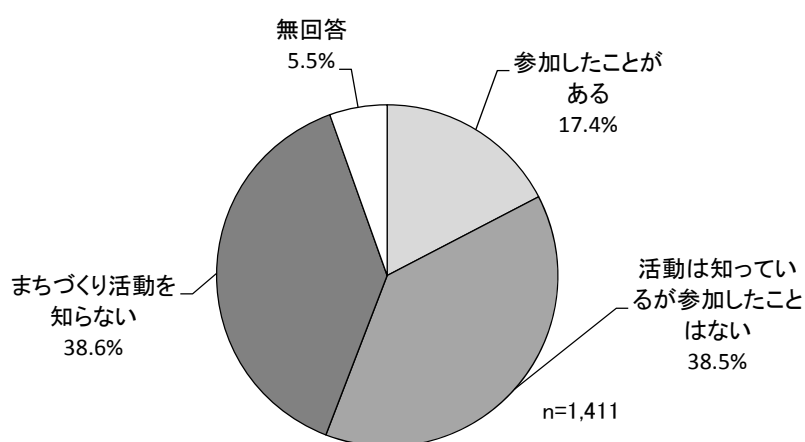


表7-11 性別、年齢別、居住地別にみた活動参加状況（単数回答）

		参加したことがある	活動は知っているが参加したことはない	まちづくり活動を知らない	無回答
全体(n=1,411)		17.4	38.5	38.6	5.5
性別	男性(n=613)	19.7	37.4	39.1	3.8
	女性(n=788)	15.6	39.8	38.3	6.3
年齢別	20歳代(n=105)	5.7	18.1	75.2	1.0
	30歳代(n=150)	7.3	20.7	71.3	0.7
	40歳代(n=195)	17.4	34.4	46.1	2.1
	50歳代(n=226)	19.0	40.7	37.6	2.7
	60歳代(n=324)	21.6	50.0	25.6	2.8
	70歳以上(n=398)	19.8	43.0	24.1	13.1
居住地別	大井町(n=280)	11.8	38.6	45.3	4.3
	長島町(n=241)	14.1	32.0	49.3	4.6
	東野(n=46)	17.4	37.0	43.4	2.2
	三郷町(n=68)	25.0	38.3	27.9	8.8
	武並町(n=77)	31.2	40.2	27.3	1.3
	笠置町(n=45)	15.6	48.8	28.9	6.7
	中野方町(n=58)	17.2	38.0	36.2	8.6
	飯地町(n=42)	35.7	42.9	14.3	7.1
	岩村町(n=133)	12.0	44.4	39.8	3.8
	山岡町(n=113)	17.7	40.7	35.4	6.2
	明智町(n=178)	15.2	39.9	39.3	5.6
	串原(n=52)	42.2	23.1	21.2	13.5
	上矢作町(n=63)	15.9	52.3	27.0	4.8

③まちづくりに必要な取り組み

【問 21】今後、行政と市民の協働のまちづくりの充実を図るにはどのような取り組みが必要だと思いますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では「地域自治区制度の地域住民への周知」が41.4%、「行政から地域自治区への積極的な支援」が41.2%とほぼ同じ割合が多く、次いで「自分たちのまちづくりは自分たちで行うという住民意識の醸成」が37.5%の順となっています。

性別でみると、男性では「地域自治区制度の地域住民への周知」が、女性では「行政から地域自治区への積極的な支援」が最も多くなっています。

年齢別でみると、20歳代、30歳代では「青年層や子育て世代のまちづくり活動への参加」の割合が他の年代に比べて、やや高くなっています。

居住別でみると、東野と笠置町では「青年層や子育て世代のまちづくり活動への参加」の割合が他の地区に比べて高くなっています。

図7-12 必要な取り組み（複数回答）

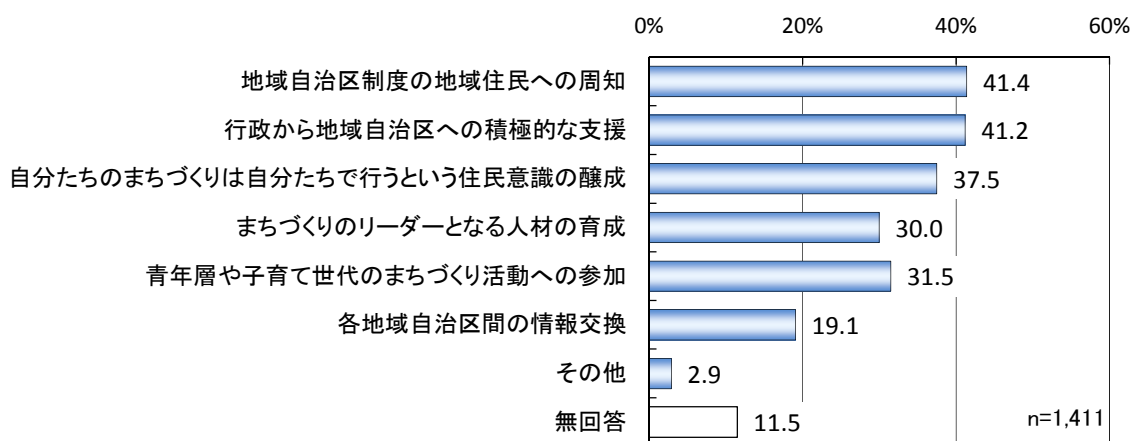


表7-12 性別、年齢別、居住地別にみた必要な取り組み（複数回答）

		地域自治区制度の地域住民への周知	行政から地域自治区への積極的な支援	と自分たちのまちづくりは自分たちで行う	まちづくりのリーダーとなる人材の育成	への参加や子育て世代のまちづくり活動	各地域自治区間の情報交換	その他	無回答
全体(n=1,411)		41.4	41.2	37.5	30.0	31.5	19.1	2.9	11.5
性別	男性(n=613)	43.4	42.4	38.5	31.6	33.8	19.1	3.9	8.6
	女性(n=788)	40.2	40.4	36.9	28.9	30.2	19.2	2.2	13.3
年齢別	20歳代(n=105)	54.3	39.0	36.2	24.8	40.0	15.2	4.8	2.9
	30歳代(n=150)	42.7	31.3	30.7	20.0	47.3	17.3	2.0	8.0
	40歳代(n=195)	46.2	42.1	33.3	26.2	37.4	16.9	2.1	5.1
	50歳代(n=226)	46.5	42.0	46.0	29.2	35.4	19.5	3.5	6.6
	60歳代(n=324)	41.4	46.6	40.4	32.1	27.2	19.4	2.8	8.3
	70歳以上(n=398)	33.2	40.7	35.7	36.4	22.9	21.4	3.0	22.4
居住地別	大井町(n=280)	48.2	41.8	37.9	31.8	33.2	17.9	1.8	8.9
	長島町(n=241)	46.5	37.3	37.3	28.6	34.0	21.2	3.7	11.2
	東野(n=46)	45.7	39.1	37.0	21.7	41.3	8.7	4.3	13.0
	三郷町(n=68)	36.8	35.3	44.1	32.4	32.4	20.6	8.8	14.7
	武並町(n=77)	42.9	44.2	42.9	28.6	32.5	18.2	1.3	5.2
	笠置町(n=45)	28.9	42.2	40.0	37.8	42.2	24.4	0.0	8.9
	中野方町(n=58)	41.4	39.7	43.1	31.0	32.8	22.4	1.7	8.6
	飯地町(n=42)	35.7	26.2	38.1	38.1	19.0	19.0	4.8	21.4
	岩村町(n=133)	30.8	45.1	35.3	33.8	28.6	17.3	3.8	15.0
	山岡町(n=113)	34.5	44.2	42.5	29.2	37.2	23.9	0.9	8.8
	明智町(n=178)	44.9	38.2	30.3	24.2	25.8	15.7	3.4	14.0
	串原(n=52)	26.9	50.0	50.0	26.9	30.8	19.2	0.0	15.4
上矢作町(n=63)	47.6	57.1	28.6	36.5	25.4	23.8	3.2	4.8	

(4) 読書及び恵那市中央図書館の利用

①読書の状況

【問 22】あなたは年間どのくらい本を読みますか。(雑誌・コミックを含む) 該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では年間「10冊以下」が35.5%と最も多く、次いで「10冊から29冊」が22.3%となっています。一方、「読まない」が15.7%となっています。

性別による差はあまりみられません。

年齢別でみると、年代が上がるにつれ「読まない」の割合が高くなっています。

居住地別でみると、中野方町、飯地町、明智町では「読まない」の割合が他の地区と比べて、やや高くなっています。

図7-13 読書の状況 (単数回答)

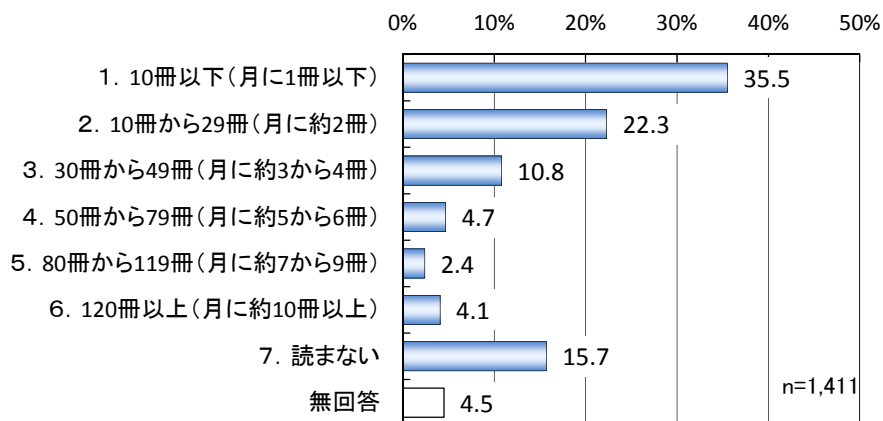


表7-13 性別、年齢別、居住地別にみた読書の状況（単数回答）

		1. (1 月0 に冊 1以 下)	2. (1 月0 に冊 約か ら2 冊)	3. (3 月0 に冊 約か ら3 冊)	4. (5 月0 に冊 約か ら5 冊)	5. (8 月0 に冊 約か ら7 冊)	6. (1 月2 に冊 約か ら1 冊)	7. 読ま ない	無 回 答
全体(n=1,411)		35.5	22.3	10.8	4.7	2.4	4.1	15.7	4.5
性別	男性(n=613)	35.7	20.1	11.4	5.9	3.1	4.9	15.0	3.9
	女性(n=788)	35.9	24.2	10.2	3.8	1.8	3.4	16.1	4.6
年齢別	20歳代(n=105)	25.7	29.6	11.4	7.6	10.5	9.5	5.7	0.0
	30歳代(n=150)	32.0	26.0	14.0	7.3	2.0	11.3	6.7	0.7
	40歳代(n=195)	35.9	28.2	11.8	6.7	3.6	4.1	8.2	1.5
	50歳代(n=226)	39.8	22.6	15.0	7.1	1.3	4.0	9.3	0.9
	60歳代(n=324)	40.4	23.8	11.1	3.4	1.5	1.9	15.4	2.5
	70歳以上(n=398)	33.8	15.1	6.0	1.8	1.0	1.8	28.9	11.6
居住地別	大井町(n=280)	30.7	23.6	12.5	6.1	3.9	5.7	13.9	3.6
	長島町(n=241)	36.1	24.1	12.9	5.4	2.1	4.1	11.6	3.7
	東野(n=46)	26.1	32.5	10.9	8.7	0.0	10.9	8.7	2.2
	三郷町(n=68)	30.9	23.5	11.8	5.9	4.4	4.4	16.2	2.9
	武並町(n=77)	31.1	24.7	9.1	7.8	3.9	3.9	15.6	3.9
	笠置町(n=45)	51.2	20.0	4.4	2.2	0.0	2.2	13.3	6.7
	中野方町(n=58)	46.6	17.2	5.2	0.0	1.7	1.7	22.4	5.2
	飯地町(n=42)	33.3	23.8	0.0	4.8	0.0	0.0	26.2	11.9
	岩村町(n=133)	36.7	24.1	13.5	1.5	3.8	5.3	12.8	2.3
	山岡町(n=113)	36.3	24.8	12.4	4.4	1.8	1.8	15.0	3.5
	明智町(n=178)	37.7	17.4	9.0	4.5	1.1	2.8	23.6	3.9
	串原(n=52)	40.4	15.4	9.6	1.9	1.9	1.9	15.4	13.5
上矢作町(n=63)	42.9	19.0	9.5	3.2	0.0	4.8	14.3	6.3	

②読んだ本の種類

【問 23】問 22 で 1 から 6 に○を付けた方にお聞きします。最近どのような本を読まれましたか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では「趣味の本」が58.3%と最も多く、次いで「雑誌・コミック」が58.0%、「文学」が25.0%の順となっています。

性別で見ると、男性では「技術・資格・専門書」、女性では「絵本・児童書」の割合が、他方に比べ高くなっています。

年齢別で見ると、30歳代では「育児」が2割弱、「絵本・児童書」の割合が3割強と他の年代に比べ割合が高くなっています。

居住地別で見ると、大井町、岩村町では「文学」、三郷町では「技術・資格・専門書」の割合が他の地区と比べてやや高くなっています。

図7-14 読んだ本の種類（読書経験のある方、複数回答）

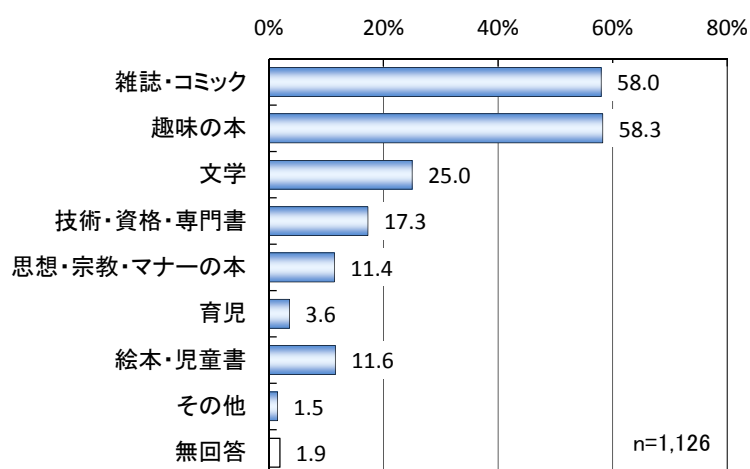


表7-14 性別、年齢別、居住地別にみた読んだ本の種類（読書経験のある方、複数回答）

		雑誌・コミック	趣味の本	文学	技術・資格・専門書	思想・宗教・マナーの本	育児	絵本・児童書	その他	無回答
全体 (n=1,126)		58.0	58.3	25.0	17.3	11.4	3.6	11.6	1.5	1.9
性別	男性 (n=497)	59.6	60.0	22.9	24.3	11.7	1.2	4.6	1.4	1.4
	女性 (n=625)	56.6	57.0	26.7	11.7	10.9	5.4	17.3	1.6	2.2
年齢別	20歳代 (n=99)	88.9	55.6	33.3	19.2	8.1	4.0	20.2	1.0	1.0
	30歳代 (n=139)	71.2	48.9	23.0	28.1	7.2	19.4	33.8	0.0	0.7
	40歳代 (n=176)	58.0	54.5	20.5	21.6	8.5	2.8	17.6	1.1	3.4
	50歳代 (n=203)	57.1	61.1	27.6	20.2	12.3	1.5	8.4	1.5	2.0
	60歳代 (n=266)	49.2	63.2	25.6	15.4	13.9	0.4	4.1	0.8	0.4
	70歳以上 (n=237)	47.7	59.9	23.6	6.8	13.1	0.0	2.1	3.8	3.4
居住地別	大井町 (n=231)	60.2	57.6	32.9	20.3	10.0	4.3	13.0	0.9	2.6
	長島町 (n=204)	59.8	61.8	20.6	15.7	11.3	4.9	17.6	1.0	2.0
	東野 (n=41)	58.5	68.3	26.8	19.5	14.6	4.9	14.6	0.0	0.0
	三郷町 (n=55)	54.5	58.2	23.6	27.3	20.0	1.8	3.6	1.8	0.0
	武並町 (n=62)	51.6	66.1	21.0	17.7	17.7	3.2	11.3	0.0	1.6
	笠置町 (n=36)	52.8	41.7	19.4	13.9	11.1	8.3	13.9	2.8	2.8
	中野方町 (n=42)	61.9	45.2	19.0	9.5	9.5	2.4	9.5	4.8	2.4
	飯地町 (n=26)	46.2	50.0	19.2	11.5	15.4	3.8	3.8	11.5	7.7
	岩村町 (n=113)	54.9	53.1	30.1	19.5	9.7	2.7	16.8	1.8	0.0
	山岡町 (n=92)	56.5	55.4	22.8	15.2	14.1	1.1	4.3	3.3	1.1
	明智町 (n=129)	60.5	59.7	25.6	17.1	6.2	3.9	7.8	0.0	2.3
	串原 (n=37)	64.9	59.5	21.6	5.4	0.0	0.0	8.1	0.0	2.7
	上矢作町 (n=50)	54.0	68.0	16.0	16.0	14.0	2.0	8.0	2.0	2.0

③読んだ本の入手先

【問 24】問 22 で 1 から 6 に○を付けた方にお聞きします。本はどのように入手されましたか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「主に購入して読む」が73.1%と最も多く、次いで「主に図書館で借りる」が15.0%、「主に友人や職場で借りる」が4.9%の順となっています。

性別、年齢別による差はあまりみられません。

居住地別で見ると、中野方町では「主に友人や職場で借りる」の割合が1割強と他の地区に比べ高くなっています。

図7-15 読んだ本の入手先（読書経験のある方、単数回答）

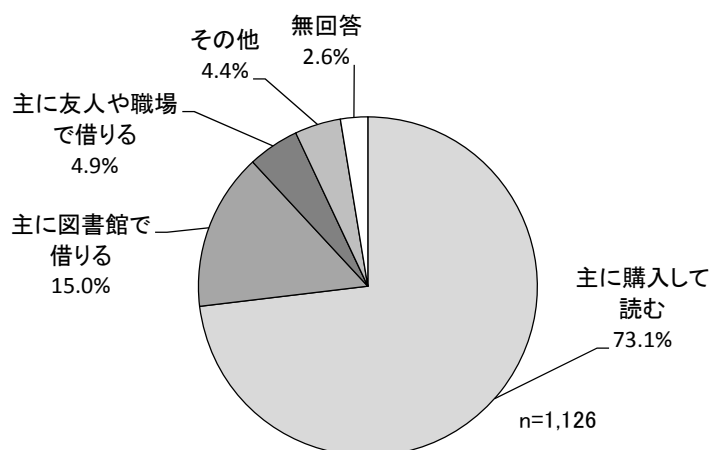


表7-15 性別、年齢別、居住地別にみた読んだ本の入手先（読書経験のある方、単数回答）

		主に購入して読む	主に図書館で借りる	主に友人や職場で借りる	その他	無回答
全体(n=1,126)		73.1	15.0	4.9	4.4	2.6
性別	男性(n=497)	81.3	11.1	2.2	3.4	2.0
	女性(n=625)	67.0	17.9	7.0	5.1	3.0
年齢別	20歳代(n=99)	80.9	12.1	4.0	2.0	1.0
	30歳代(n=139)	58.3	27.3	6.5	4.3	3.6
	40歳代(n=176)	72.2	19.9	4.0	2.8	1.1
	50歳代(n=203)	80.7	9.4	3.0	4.9	2.0
	60歳代(n=266)	74.0	15.4	5.3	3.4	1.9
	70歳以上(n=237)	72.5	8.9	6.3	7.2	5.1
居住地別	大井町(n=231)	66.7	19.5	6.9	4.3	2.6
	長島町(n=204)	69.2	19.6	3.9	4.4	2.9
	東野(n=41)	73.1	17.1	4.9	4.9	0.0
	三郷町(n=55)	76.5	12.7	3.6	3.6	3.6
	武並町(n=62)	69.4	12.9	9.7	4.8	3.2
	笠置町(n=36)	63.8	16.7	5.6	8.3	5.6
	中野方町(n=42)	71.5	7.1	11.9	7.1	2.4
	飯地町(n=26)	73.1	7.7	7.7	0.0	11.5
	岩村町(n=113)	76.9	14.2	5.3	2.7	0.9
	山岡町(n=92)	78.2	10.9	2.2	6.5	2.2
	明智町(n=129)	84.5	9.3	2.3	1.6	2.3
	串原(n=37)	83.8	13.5	0.0	2.7	0.0
上矢作町(n=50)	74.0	12.0	2.0	10.0	2.0	

④患那市中央図書館の利用目的

【問 25】患那市中央図書館を利用する主な目的は何ですか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「本を借りる・返す」が29.5%と最も多くなっています。一方、「利用したことがない」が47.7%となっています。

性別でみると、男性では「利用したことがない」が、女性では「本を借りる・返す」の割合が他方より高くなっています。

年齢別でみると、30歳代、40歳代を除く年代で「利用したことがない」の割合が最も高くなっています。

居住地別でみると、大井町、長島町、東野、三郷町、武並町の5地区では「利用したことがない」と「無回答」を除いた利用経験がある割合が5割以上と、他の地区より高くなっています。

図7-16 図書館の利用目的（単数回答）

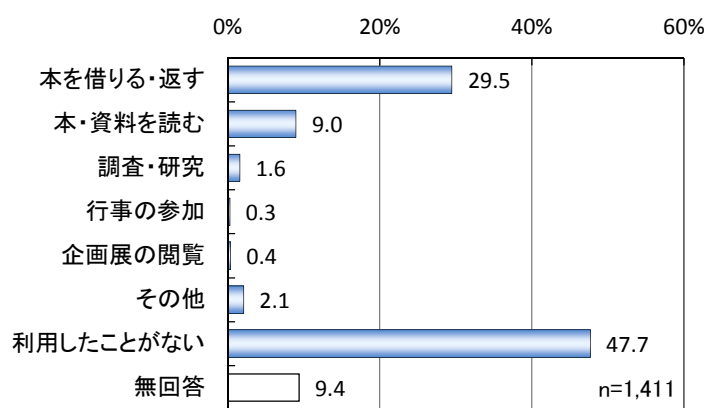


表7-16 性別、年齢別、居住地別にみた図書館の利用目的（単数回答）

		本を借りる・返す	本・資料を読む	調査・研究	行事の参加	企画展の閲覧	その他	利用したことがない	無回答
全体(n=1,411)		29.5	9.0	1.6	0.3	0.4	2.1	47.7	9.4
性別	男性(n=613)	23.2	11.3	2.8	0.2	0.5	1.8	52.4	7.8
	女性(n=788)	34.4	7.4	0.6	0.4	0.4	2.3	44.1	10.4
年齢別	20歳代(n=105)	35.2	17.1	1.0	0.0	0.0	4.8	40.9	1.0
	30歳代(n=150)	60.0	9.3	0.0	0.0	0.7	0.7	27.3	2.0
	40歳代(n=195)	45.2	8.7	1.5	0.5	1.0	0.5	40.0	2.6
	50歳代(n=226)	27.0	10.6	4.0	0.0	0.4	2.7	53.1	2.2
	60歳代(n=324)	24.1	9.6	0.9	0.3	0.3	3.1	52.4	9.3
	70歳以上(n=398)	14.6	5.8	1.5	0.5	0.3	1.5	54.2	21.6
居住地別	大井町(n=280)	42.1	11.1	1.4	0.4	1.1	2.1	33.6	8.2
	長島町(n=241)	42.8	9.5	2.5	0.4	0.4	2.1	36.5	5.8
	東野(n=46)	41.2	10.9	2.2	0.0	0.0	0.0	37.0	8.7
	三郷町(n=68)	41.2	8.8	2.9	0.0	0.0	0.0	36.8	10.3
	武並町(n=77)	35.1	13.0	1.3	0.0	0.0	2.6	40.2	7.8
	笠置町(n=45)	24.4	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7	15.6
	中野方町(n=58)	15.5	12.1	1.7	0.0	0.0	0.0	60.4	10.3
	飯地町(n=42)	14.3	9.5	2.4	2.4	0.0	2.4	54.7	14.3
	岩村町(n=133)	26.3	10.5	0.8	0.8	0.0	2.3	50.3	9.0
	山岡町(n=113)	13.3	5.3	1.8	0.0	0.0	5.3	68.1	6.2
	明智町(n=178)	14.6	3.9	0.6	0.0	0.0	1.7	70.2	9.0
	串原(n=52)	15.4	5.8	1.9	0.0	0.0	0.0	50.0	26.9
上矢作町(n=63)	12.7	6.3	1.6	0.0	3.2	4.8	61.9	9.5	

⑤恵那市中央図書館で希望するサービス

【問 26】 恵那市中央図書館でもっと充実してほしいサービスはありますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では「本の冊数・種類」が23.7%と最も多く、次いで「資料の探し易さ」が13.6%、「新聞・雑誌の冊数・種類」が9.7%の順となっています(無回答を除く)。

性別による差はあまりみられません。

年齢別でみると、年代が上がるにつれ、「無回答」の割合が高くなっています。

居住地別でみると、長島町、東野、武並町、笠置町の4地区では「イベントや企画展」の割合が1割強となっています。

図7-17 図書館に希望するサービス（複数回答）

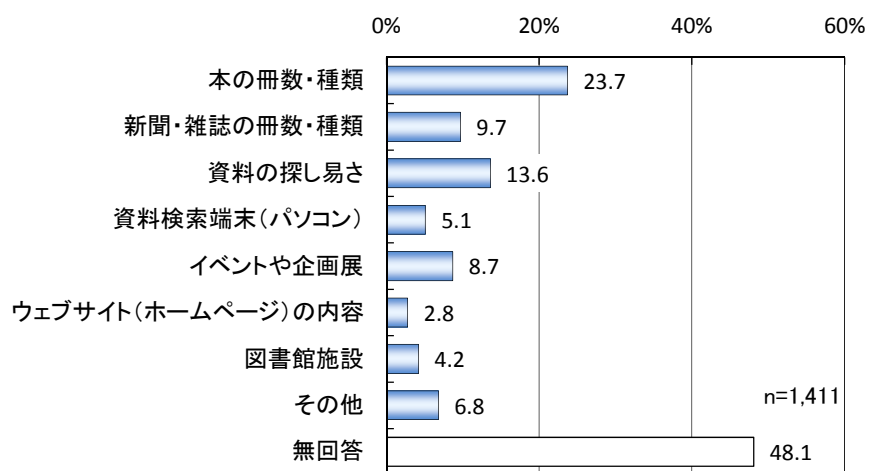


表7-17 性別、年齢別、居住地別にみた図書館に希望するサービス（複数回答）

		本の冊数・種類	新聞・雑誌の冊数・種類	資料の探し易さ	資料検索端末（パソコン）	イベントや企画展	ウェブサイト（ホームページ）の内容	図書館施設	その他	無回答
全体(n=1,411)		23.7	9.7	13.6	5.1	8.7	2.8	4.2	6.8	48.1
性別	男性(n=613)	23.5	10.3	13.2	5.9	8.8	3.8	4.2	7.2	45.7
	女性(n=788)	23.7	9.3	14.1	4.6	8.8	2.2	4.2	6.6	49.9
年齢別	20歳代(n=105)	42.9	11.4	21.9	8.6	11.4	8.6	8.6	5.7	21.9
	30歳代(n=150)	31.3	18.7	23.3	14.7	12.7	4.7	5.3	5.3	26.0
	40歳代(n=195)	39.0	13.3	14.9	8.7	12.3	4.1	6.7	5.1	29.2
	50歳代(n=226)	27.9	13.3	14.2	5.8	9.7	3.1	4.9	9.3	39.4
	60歳代(n=324)	17.3	6.5	12.3	2.2	9.6	1.5	3.1	7.7	54.3
	70歳以上(n=398)	11.1	4.8	7.8	1.0	3.8	1.0	2.0	6.5	72.4
居住地別	大井町(n=280)	34.3	11.4	15.7	6.1	9.3	1.1	4.6	4.6	38.9
	長島町(n=241)	27.4	13.7	21.2	7.9	11.2	2.9	5.4	10.8	36.1
	東野(n=46)	32.6	13.0	23.9	6.5	10.9	4.3	2.2	6.5	34.8
	三郷町(n=68)	26.5	10.3	23.5	2.9	7.4	1.5	4.4	7.4	39.7
	武並町(n=77)	31.2	9.1	9.1	3.9	10.4	3.9	6.5	6.5	44.2
	笠置町(n=45)	24.4	17.8	6.7	8.9	13.3	4.4	2.2	2.2	53.3
	中野方町(n=58)	10.3	10.3	13.8	6.9	5.2	0.0	1.7	8.6	55.2
	飯地町(n=42)	16.7	9.5	0.0	0.0	7.1	0.0	2.4	2.4	66.7
	岩村町(n=133)	23.3	7.5	12.0	4.5	8.3	5.3	3.8	6.8	49.6
	山岡町(n=113)	15.9	8.8	10.6	2.7	7.1	3.5	2.7	9.7	56.6
	明智町(n=178)	13.5	4.5	7.9	4.5	6.2	2.8	5.1	7.3	59.0
	串原(n=52)	17.3	1.9	5.8	1.9	7.7	5.8	1.9	0.0	69.2
上矢作町(n=63)	7.9	6.3	9.5	1.6	9.5	3.2	4.8	6.3	66.7	

⑥恵那市中央図書館ウェブサイトの周知度

【問 27】 恵那市中央図書館のウェブサイト（ホームページ）をご存知ですか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「知らない」と「無回答」を除いた「知っている」割合は、25.8%となっています。「知っているが利用したことがない」が18.3%となっています。

性別による差はみられません。

年齢別でみると、20歳代、30歳代では「利用したことがある」割合が1割を超えています。

居住地別でみると、「知っている」割合は、地域によりばらつきがみられます。長島町で32.8%と他の地区に比べて最も高く、中野方町で17.2%と最も低くなっています。

図7-18 図書館ウェブサイトの周知度（単数回答）

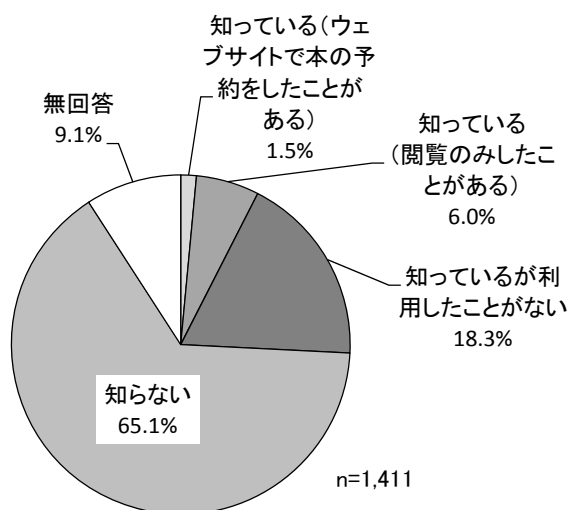


表7-18 性別、年齢別、居住地別にみた図書館ウェブサイトの周知度（単数回答）

		し た こ と が あ る ）	知 っ て い る ）	知 っ て い る が 利 用 し た こ と が あ る ）	知 ら な い	無 回 答
全体 (n=1,411)		1.5	6.0	18.3	65.1	9.1
性別	男性 (n=613)	1.1	6.4	18.4	65.5	8.6
	女性 (n=788)	1.6	5.7	18.1	65.2	9.4
年齢別	20歳代 (n=105)	1.0	12.4	17.1	69.5	0.0
	30歳代 (n=150)	5.3	8.0	18.7	65.3	2.7
	40歳代 (n=195)	2.1	5.6	22.6	68.7	1.0
	50歳代 (n=226)	0.4	9.3	19.9	69.5	0.9
	60歳代 (n=324)	0.3	4.3	18.8	68.0	8.6
	70歳以上 (n=398)	1.3	3.3	14.8	57.7	22.9
	居住地別	大井町 (n=280)	1.8	8.6	19.3	62.1
長島町 (n=241)		2.5	8.3	22.0	63.1	4.1
東野 (n=46)		2.2	6.5	19.6	56.5	15.2
三郷町 (n=68)		1.5	2.9	22.1	63.2	10.3
武並町 (n=77)		3.9	7.8	13.0	68.8	6.5
笠置町 (n=45)		2.2	6.7	20.0	55.5	15.6
中野方町 (n=58)		0.0	0.0	17.2	75.9	6.9
飯地町 (n=42)		0.0	2.4	21.4	59.5	16.7
岩村町 (n=133)		1.5	5.3	16.5	66.2	10.5
山岡町 (n=113)		0.0	3.5	15.9	76.2	4.4
明智町 (n=178)		0.0	4.5	14.6	70.8	10.1
串原 (n=52)		1.9	1.9	19.2	55.8	21.2
上矢作町 (n=63)		0.0	6.3	17.5	63.5	12.7

⑦地区コミュニティセンターでの図書サービスの利便性

【問 28】地区コミュニティセンター（公民館）で恵那市中央図書館の図書の貸し出しと返却ができますが利用しやすいですか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「利用したことがない」と「無回答」を除いた「利用したことがある」人は15.1%となっています。「利用しやすい」が6.9%となっています。

性別でみると、「利用したことがある」人の割合は、男性が12.1%、女性が17.3%と女性がやや多くなっています。

年齢別でみると、30歳代、60歳代の約1割が「利用しやすい」となっています。

居住地別でみると、「利用しやすい」の割合が明智町では1割強、串原では2割弱となっています。

図7-19 図書サービスの利便性（単数回答）

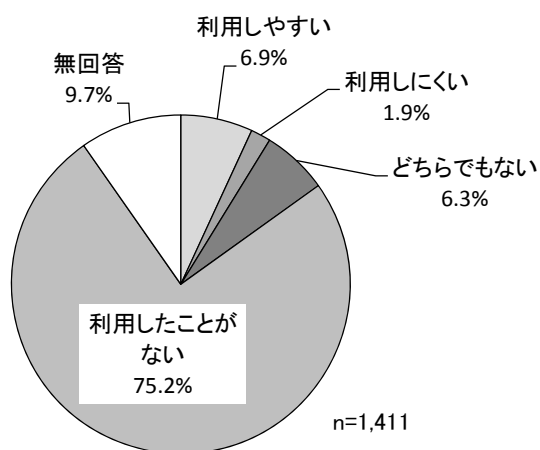


表7-19 性別、年齢別、居住地別にみた図書サービスの利便性（単数回答）

		利用しやすい	利用しにくい	どちらでもない	利用したことがない	無回答
全体(n=1,411)		6.9	1.9	6.3	75.2	9.7
性別	男性(n=613)	4.9	1.0	6.2	77.8	10.1
	女性(n=788)	8.5	2.5	6.3	73.4	9.3
年齢別	20歳代(n=105)	3.8	2.9	5.7	86.6	1.0
	30歳代(n=150)	10.7	0.7	6.0	79.3	3.3
	40歳代(n=195)	6.7	2.1	7.7	81.4	2.1
	50歳代(n=226)	6.6	2.2	6.6	83.7	0.9
	60歳代(n=324)	9.3	1.5	5.9	73.7	9.6
	70歳以上(n=398)	4.8	2.0	5.8	64.3	23.1
居住地別	大井町(n=280)	5.4	0.4	4.6	81.0	8.6
	長島町(n=241)	4.6	0.0	5.4	82.5	7.5
	東野(n=46)	8.7	0.0	10.9	73.9	6.5
	三郷町(n=68)	4.4	1.5	8.8	77.9	7.4
	武並町(n=77)	3.9	0.0	9.1	79.2	7.8
	笠置町(n=45)	4.4	0.0	11.1	66.7	17.8
	中野方町(n=58)	6.9	5.2	5.2	74.1	8.6
	飯地町(n=42)	4.8	2.4	11.9	66.6	14.3
	岩村町(n=133)	6.0	2.3	9.0	72.2	10.5
	山岡町(n=113)	7.1	1.8	5.3	78.7	7.1
	明智町(n=178)	12.9	5.6	2.8	67.5	11.2
	串原(n=52)	17.3	3.8	3.8	53.9	21.2
	上矢作町(n=63)	7.9	3.2	7.9	71.5	9.5

(5) 今後の居住意向

① 居住意向の有無

【問 29】あなたは今後も恵那市で暮らしたいですか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

全体では「ずっと恵那市で暮らしたい(いったん市外に出ても恵那市に戻ってきたい場合を含む)」が63.5%となっている一方、「市外で暮らしたい」は5.1%となっています。

性別、居住地別でみると、いずれも「ずっと恵那市で暮らしたい(いったん市外に出ても恵那市に戻ってきたい場合を含む)」人の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、年代が上がるにつれて「ずっと恵那市で暮らしたい(いったん市外に出ても恵那市に戻ってきたい場合を含む)」の割合が高くなっています。また、20歳代では「何ともいえない(わからない)」割合が最も高く、「市外で暮らしたい」の割合も他の年代に比べて高くなっています。

居住地別でみると、岩村町で「ずっと恵那市で暮らしたい(いったん市外に出ても恵那市に戻ってきたい場合を含む)」、上矢作町で「市外で暮らしたい」の割合が最も高くなっています。

居住年数別でみると、1年未満で「何ともいえない(わからない)」、1～4年で「市外で暮らしたい」の割合が最も高くなっています。

図7-20 居住意向の有無 (単数回答)

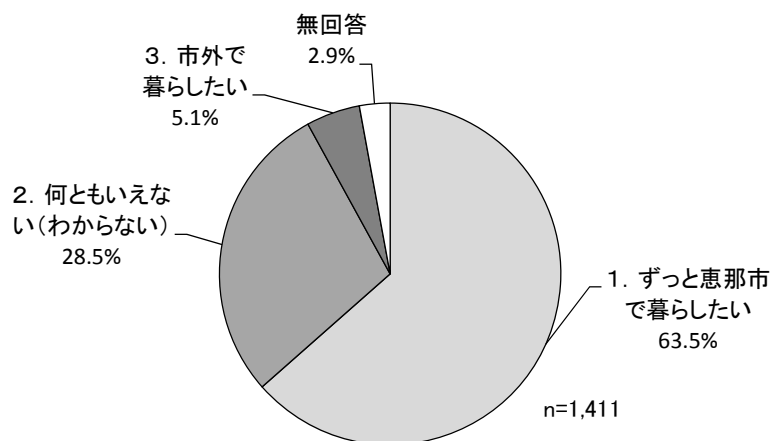


表7-20 性別、年齢別、居住地別、居住年数別にみた居住意向の有無（単数回答）

		1. にへ 戻いつ つと つた てん きた たい い外 場 合 を 含 む 市	2. 何 と わ か ら え な い)	3. 市 外 で 暮 ら し た い	無 回 答
全体(n=1,411)		63.5	28.5	5.1	2.9
性別	男性(n=613)	62.3	31.2	4.2	2.3
	女性(n=788)	64.9	26.1	5.8	3.2
年齢別	20歳代(n=105)	42.9	44.7	12.4	0.0
	30歳代(n=150)	53.4	41.3	5.3	0.0
	40歳代(n=195)	56.4	35.9	7.2	0.5
	50歳代(n=226)	54.0	36.7	8.0	1.3
	60歳代(n=324)	74.0	21.0	2.8	2.2
	70歳以上(n=398)	73.9	16.8	2.5	6.8
居住地別	大井町(n=280)	66.5	28.9	3.2	1.4
	長島町(n=241)	63.4	27.4	7.5	1.7
	東野(n=46)	63.1	28.3	4.3	4.3
	三郷町(n=68)	63.2	26.5	5.9	4.4
	武並町(n=77)	67.5	26.0	2.6	3.9
	笠置町(n=45)	68.9	26.7	2.2	2.2
	中野方町(n=58)	72.5	22.4	3.4	1.7
	飯地町(n=42)	64.2	28.6	2.4	4.8
	岩村町(n=133)	72.9	21.1	3.0	3.0
	山岡町(n=113)	58.3	31.9	8.0	1.8
	明智町(n=178)	54.5	36.5	5.6	3.4
	串原(n=52)	59.7	26.9	3.8	9.6
居住年数別	上矢作町(n=63)	58.7	30.2	9.5	1.6
	1年未満(n=13)	46.2	53.8	0.0	0.0
	1～4年(n=46)	32.6	45.6	19.6	2.2
	5～9年(n=51)	49.1	43.1	7.8	0.0
	10～14年(n=60)	46.6	40.0	11.7	1.7
	15～19年(n=70)	54.3	34.3	10.0	1.4
20年以上(n=1,153)	67.2	25.9	3.8	3.1	

②住み続けたい理由

【問 30】問 29 で 1 を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。該当する番号を 2 つ選んで○を付けてください。

全体では「家・土地があるから」が90.2%と最も多く、次いで「地域・人になじみがあるから」が48.5%、「居住環境が良いから」が15.3%の順となっています。

性別、年齢別、居住地別、居住年数別でみると、いずれも「家・土地があるから」が最も高くなっています。

性別でみると、男性では「居住環境が良いから」、女性では「地域・人になじみがあるから」の割合が他方より高くなっています。

年齢別でみると、年代が上がるにつれて「家・土地があるから」の割合が高くなる傾向がみられます。また、30歳代、40歳代で「仕事があるから」、60歳代で「居住環境が良いから」の割合が、他の年代に比べて高くなっています。

居住地別でみると、東野で「居住環境が良いから」、串原、上矢作町で「地域・人になじみがあるから」の割合が他の地区に比べて高くなっています。

図7-21 住み続けたい理由（定住意向あり、複数回答：2つまで）

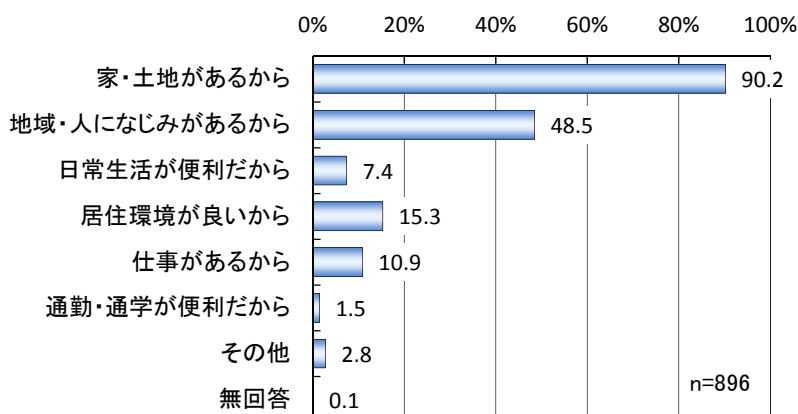


表7-21 性別、年齢別、居住地別、居住年数別にみた住み続けたい理由（定住意向あり、複数回答：2つまで）

		家・土地があるから	地域・人になじみがあるから	日常生活が便利だから	居住環境が良いから	仕事があるから	通勤・通学が便利だから	その他	無回答
全体 (n=896)		90.2	48.5	7.4	15.3	10.9	1.5	2.8	0.1
性別	男性 (n=382)	90.6	44.5	6.5	18.3	12.0	1.0	2.6	0.0
	女性 (n=511)	90.0	51.7	8.0	12.9	10.2	1.8	2.9	0.2
年齢別	20歳代 (n=45)	75.6	53.3	6.7	11.1	15.6	4.4	15.6	0.0
	30歳代 (n=80)	85.0	45.0	10.0	13.8	18.8	1.3	5.0	0.0
	40歳代 (n=110)	89.1	48.2	4.5	14.5	20.0	1.8	0.0	0.0
	50歳代 (n=122)	92.6	50.8	4.1	13.9	15.6	1.6	2.5	0.0
	60歳代 (n=240)	92.1	41.7	6.7	20.8	10.0	1.3	2.9	0.0
	70歳以上 (n=294)	92.2	53.7	9.9	11.9	3.7	1.0	1.4	0.3
居住地別	大井町 (n=186)	86.0	43.5	15.6	17.2	11.8	2.7	3.2	0.0
	長島町 (n=153)	84.3	39.2	15.0	17.0	14.4	2.0	3.9	0.0
	東野 (n=29)	89.7	27.6	10.3	27.6	13.8	0.0	6.9	0.0
	三郷町 (n=43)	90.7	46.5	2.3	16.3	9.3	0.0	4.7	0.0
	武並町 (n=52)	92.3	51.9	1.9	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0
	笠置町 (n=31)	93.5	54.8	6.5	9.7	12.9	0.0	3.2	3.2
	中野方町 (n=42)	97.6	35.7	2.4	9.5	14.3	0.0	0.0	0.0
	飯地町 (n=27)	92.6	55.6	0.0	18.5	7.4	0.0	0.0	0.0
	岩村町 (n=97)	91.8	52.6	5.2	20.6	11.3	0.0	3.1	0.0
	山岡町 (n=66)	93.9	60.6	1.5	9.1	4.5	3.0	3.0	0.0
	明智町 (n=97)	92.8	53.6	0.0	8.2	9.3	3.1	2.1	0.0
	串原 (n=31)	96.8	67.7	0.0	9.7	9.7	0.0	0.0	0.0
上矢作町 (n=37)	100.0	70.3	0.0	5.4	10.8	0.0	2.7	0.0	
居住年数別	1年未満 (n=6)	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	1～4年 (n=15)	60.0	20.0	6.7	33.3	20.0	0.0	13.3	0.0
	5～9年 (n=25)	80.0	40.0	24.0	20.0	28.0	0.0	0.0	0.0
	10～14年 (n=28)	92.9	35.7	3.6	14.3	25.0	7.1	0.0	0.0
	15～19年 (n=38)	81.6	39.5	10.5	28.9	10.5	5.3	7.9	0.0
20年以上 (n=774)	91.6	50.9	6.8	14.1	9.9	1.2	2.3	0.1	

③住み続けたくない理由

【問31】問29で3を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。該当する番号を2つ選んで○を付けてください。

全体では「日常生活が不便だから」が48.6%と最も多く、次いで「その他」が29.2%、「通勤・通学に不便だから」が27.8%の順となっています。「その他」の記述内容で多いものは、「医療機関が少ない」、「公共交通機関が不便」、「公共料金や物価が高い」などとなっています。

性別でみると、男女ともに「日常生活が不便だから」の割合が最も高く、次いで男性は「居住環境が悪いから」「その他」、女性は「通勤・通学に不便だから」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、40歳代以下は「通勤・通学に不便だから」の割合が高くなっています。

居住地別でみると、大井町、長島町、東野を除く、すべての町で「日常生活が不便だから」があげられています。

図7-22 住み続けたくない理由（定住意向なし、複数回答：2つまで）

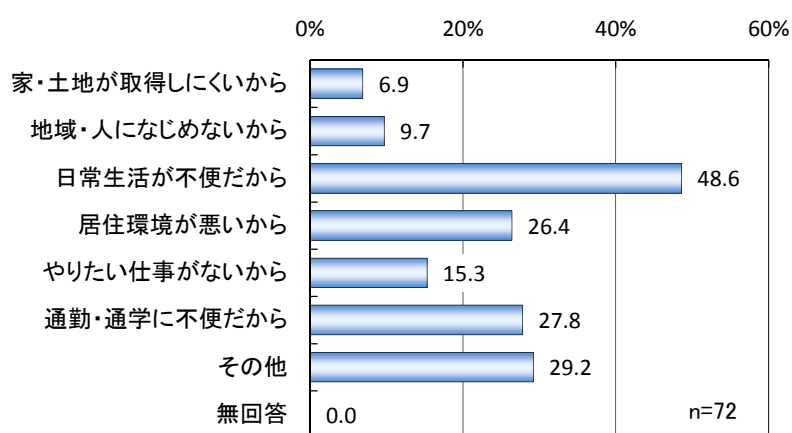


表7-22 性別、年齢別、居住地別、居住年数別にみた住み続けたくない理由（定住意向なし、複数回答：2つまで）

		家・土地が取得しにくいから	地域・人になじめないから	日常生活が不便だから	居住環境が悪いから	やりたい仕事がないから	通勤・通学に不便だから	その他	無回答
全体 (n=72)		6.9	9.7	48.6	26.4	15.3	27.8	29.2	0.0
性別	男性 (n=26)	7.7	11.5	46.2	30.8	15.4	23.1	30.8	0.0
	女性 (n=46)	6.5	8.7	50.0	23.9	15.2	30.4	28.3	0.0
年齢別	20歳代 (n=13)	7.7	15.4	61.5	23.1	23.1	30.8	15.4	0.0
	30歳代 (n=8)	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	62.5	62.5	0.0
	40歳代 (n=14)	14.3	7.1	50.0	7.1	7.1	50.0	28.6	0.0
	50歳代 (n=18)	0.0	11.1	38.9	44.4	22.2	16.7	27.8	0.0
	60歳代 (n=9)	0.0	11.1	66.7	33.3	0.0	11.1	33.3	0.0
	70歳以上 (n=10)	20.0	10.0	70.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0
居住地別	大井町 (n=9)	0.0	11.1	11.1	22.2	33.3	22.2	44.4	0.0
	長島町 (n=18)	5.6	5.6	38.9	16.7	11.1	44.4	44.4	0.0
	東野 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	三郷町 (n=4)	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	武並町 (n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	笠置町 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	中野方町 (n=2)	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	飯地町 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	岩村町 (n=4)	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	山岡町 (n=9)	0.0	22.2	77.8	11.1	22.2	44.4	0.0	0.0
	明智町 (n=10)	10.0	20.0	70.0	60.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	串原 (n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	上矢作町 (n=6)	16.7	0.0	66.7	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0
居住年数別	1年未満 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～4年 (n=9)	0.0	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2	55.6	0.0
	5～9年 (n=4)	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	10～14年 (n=7)	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3	42.9	57.1	0.0
	15～19年 (n=7)	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	42.9	71.4	0.0
	20年以上 (n=44)	6.8	9.1	63.6	34.1	15.9	22.7	13.6	0.0

平成24年度
市民意識調査結果報告書
恵那市役所 企画課
